
百間中学校B・C棟外壁改修工事

宮代町教育推進課

百間中学校B・C棟外壁改修工事
宮代町立百間中学校

【 意 匠 図 】

通番号	図面番号	図 面 名 称	通番号	図面番号	図 面 名 称	通番号	図面番号	図 面 名 称	通番号	図面番号	図 面 名 称
		図面リスト									
	A	【建築改修工事】					E	【電気設備改修工事】		M	【機械設備改修工事】
	A-01	特記仕様書（改修その1）		A-31	【B～C棟】外壁等改修詳細図5		E-01	電気設備工事特記仕様書		M-01	機械設備工事特記仕様書(1)
	A-02	特記仕様書（改修その2）		A-32	【B棟】立面図(劣化補修位置図)1		E-02	案内図・配置図		M-02	機械設備工事特記仕様書(2)
	A-03	特記仕様書（改修その3）		A-33	【B棟】立面図(劣化補修位置図)2		E-03	電気設備1階平面図		M-03	案内図・配置図
	A-04	特記仕様書（改修その4）		A-34	【B棟】立面図(劣化補修位置図)3		E-04	電気設備2階平面図		M-04	1階全体平面図(室外機位置図)
	A-05	特記仕様書（改修その5）		A-35	【C棟】立面図(劣化補修位置図)4		E-05	電気設備3階平面図			
	A-06	特記仕様書（改修その6）		A-36	1階建具 keyplan		E-06	電気設備立面図1			
	A-07	特記仕様書（改修その7）		A-37	2階建具 keyplan		E-07	電気設備立面図2			
	A-08	特記仕様書（改修その8）		A-38	3階建具 keyplan		E-08	電気設備立面図3			
	A-09	特記仕様書（石綿除去処理工事）参考図		A-39	4階・R階建具 keyplan		E-09	電気設備立面図4			
	A-10	案内図・配置図		A-40	【B棟】建具表1		E-10	電気設備立面図5			
	A-11	仮設計画図		A-41	【B棟】建具表2		E-11	電気設備立面図6			
	A-12	【B棟】外部仕上表		A-42	【C棟】建具表3		E-12	電気設備立面図7			
	A-13	【C棟】外部仕上表		A-43	【C棟】建具表4		E-13	電気設備立面図8			
	A-14	1階全体平面図		A-44	1階全体平面図(雨水排水)						
	A-15	2階全体平面図		A-45	2階全体平面図(雨水排水)						
	A-16	3階全体平面図		A-46	3階全体平面図(雨水排水)						
	A-17	4階全体平面図		A-47	4階全体平面図(雨水排水)						
	A-18	R階全体平面図		A-48	R階全体平面図(雨水排水)						
	A-19	1階天井伏図		A-49							
	A-20	2階天井伏図		A-50							
	A-21	3階天井伏図		A-51							
	A-22	4階・R階天井伏図		A-52							
	A-23	【B棟】立面図1		A-53							
	A-24	【B棟】立面図2		A-54							
	A-25	【B棟】立面図3		A-55							
	A-26	【C棟】立面図4		A-56							
	A-27	【B棟】外壁等改修詳細図1		A-57							
	A-28	【B棟】外壁等改修詳細図2		A-58							
	A-29	【B棟】外壁等改修詳細図3		A-59							
	A-30	【C棟】外壁等改修詳細図4		A-60							

工事名	百間中学校B・C棟外壁改修工事		
I 工事概要			
1. 工事場所	宮代町宮代三丁目7番38号		
2. 敷地面積	19,750 m ²		
3. 工事種目 (建物概要)	-1. B棟：RC造地上4階 延べ面積 2,114m ² -2. C棟：RC造地上2階 延べ面積 594m ²		
4. 工事内容	外壁改修工事 塗装改修工事 上記に付随する防水改修工事 上記に付随する建具改修工事		
5. 工期	契約工期	契約日から令和 年 月 日まで	
	共通仮設費の算定に用いる工期	令和 年 月 日から令和 年 月 日まで	
	主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	現場施工に着手するまで	
	現場代理人の現場への常駐を要しない期間	現場施工に着手するまで	
	現場施工期間	令和 年 月 日から令和 年 月 日まで	
	ただし、仮設工事等は施設との協議による		
6. 工事範囲	※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。 ※「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。		

工事項目	工事種目	
2 仮設工事		○
3 防水改修工事		○
4 外壁改修工事		○
-1 コンクリート打ち上げ外壁		○
-2 モルタル塗り仕上げ外壁		○
-3 タイル張り仕上げ外壁		
-4 塗り仕上げ外壁		○
-5 外壁用塗膜防水塗り		
5 建具改修工事		○
6 内装改修工事		○
7 塗装改修工事		○
8 耐震改修工事		
9 環境配慮改修工事		○
10 鉄筋工事		
11 コンクリート工事		

II 建築改修工事仕様

(1) 質問回答書、本特記仕様書(改修)及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)&国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。))による。
なお、新たな版が出版され、当該標準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。

(2) 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。

(3) 本特記仕様書の表記

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- 印と◎印の付いた場合は、共に適用する。◎印と※印の場合は、◎のみを適用する。
- 特記事項に記載の「. . .」内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
- 特記事項に記載の「. . .」内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
- 特記事項に記載の「. . .」内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
- 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、「()」内は製品名を示す。
- 本工事において、「環境物品等の調達に関する基本方針(最新版)」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針(最新版)」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境物品等(以下「特定調達物品等」という)を選択するよう努めるものとする。
なお、「◎」印は設計図書で定めのある品目を示す。
8) 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

章	項目	特記事項															
1	① 一般共通事項	<p>① 通用基準等</p> <p>※埼玉県建築工事実務要領に記載の要領等(参考図書) ※建築工事監理指針(国土交通省監修)(参考図書) ※建築工事標準仕様細目(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 令和4年版)なお、新たな版が出版され、当該標準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。</p> <p>② 条件明示事項</p> <p>保険の種類 [1.1.3] ※法定外の労災保険(工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの) ※建設工事保険等(工事目的物及び工事材料等を対象とするもの) ※請負業者賠償責任保険等 保険の期間 ※工事完成期日後14日を含む期間</p> <p>③ 工事実績情報の登録 [1.1.4][1.1.8]</p> <p>※行方(請負代金額500万円以上、10日以内に登録)を行わない</p> <p>4 適用区分</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速(Vo= m/s) 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ・積雪荷重 H12.5.31告示第1455号における区域 別表() ・大地震時の非構造部材の変形追随性能を確認する場合の層間変形角 ・1/200 ・1/150 ・1/120 ・図示() 確認箇所()</p> <p>⑤ 別契約の関連工事 [1.1.7]</p> <p>※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。 ・監督員指定の別契約工事を行う全体調整に全面的に協力する。</p> <p>6 施工に注意を要する区域等 [1.1.12, 13]</p> <p>本工事場所以は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地 ・史跡名勝天然記念物</p> <p>⑦ 工事の記録 [1.2.4][1.6.6]</p> <p>埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。 埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する(OD-R又はDVD-Rで1部提出) ・適用しない</p> <p>⑧ 電気保安技術者 [1.3.3][1.3.1]</p> <p>適用する</p> <p>9 施工条件 [1.3.5][1.3.5]</p> <p>施工時間 行政機関の休日に関する法律(S63第91号)に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督職員の承諾を受けた場合この限りでない。 ※公告に別に添付する「埼玉県営繕工事における「週休2日制モデル工事」特記仕様書」を参照のこと 施工時間以外の施工条件 ・図示による</p> <p>⑩ 施工中の安全確保</p> <p>⑪ 環境保全等 [1.3.11]</p> <p>建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。</p> <p>⑫ 発生材の処理等 [1.3.12][1.1.13]</p> <p>引渡しを要するもの ※無し(全て構外搬出適正処理) ・有り(※図示) 注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書添えて監督員に報告する。 b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c) 引き渡しを要しないものは、すべて構材に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る構材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。))「産業物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。</p> <p>⑬ 農産物の使用 [1.4.2]</p> <p>受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。</p> <p>⑭ 環境への配慮 [1.4.1][1.4.3]</p> <p>建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネ、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保溫材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びビスフェノールを含有しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスフェノールを含有しないか、発散が極めて少ない材料を使用しなものとす。</p> <p>⑮ 材料の品質等 [1.4.2]</p> <p>※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものである。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものである場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木製品等の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」(林野庁 H18.2.15)に準拠した証明書を監督員に提出する。</p> <p>⑯ 石綿含有建材の調査 [1.5.1]</p> <p>調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料() ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクテナライト、アモサイト、アンソファライト、クリソタイト、クロソライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析方法</th> <th>定量分析方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</td> <td></td> <td>JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>- 箇所</td> <td>- 箇所</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>- 箇所</td> <td>- 箇所</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>- 箇所</td> <td>- 箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示</p>	材料名	定性分析方法	定量分析方法	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2		JIS A 1481-3または JIS A 1481-4	-	- 箇所	- 箇所	-	- 箇所	- 箇所	-	- 箇所	- 箇所
材料名	定性分析方法	定量分析方法															
JIS A 1481-1または JIS A 1481-2		JIS A 1481-3または JIS A 1481-4															
-	- 箇所	- 箇所															
-	- 箇所	- 箇所															
-	- 箇所	- 箇所															

17 技能士 [1.6.2][1.3.3]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用技能士</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>・ﾌﾞﾗｯｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>・左官作業 ・左官作業 ・建築塗装作業 ・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td>・ビル用サッシ施工作業 ・自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>・ﾌﾗｽﾀｯｸ系床仕上げ工事作業 ・木質系仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁張り作業</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>・木工塗装作業</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td>・鉄筋組立て作業</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>・ｺﾝｸﾘｰﾄﾛｯｸ工事作業</td> </tr> </tbody> </table>	工事種別	適用技能士	仮設工事	・とび作業	防水改修工事	・ﾌﾞﾗｯｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業	外壁改修工事	・左官作業 ・左官作業 ・建築塗装作業 ・建築塗装作業	建具改修工事	・ビル用サッシ施工作業 ・自動ドア施工作業	内装改修工事	・ﾌﾗｽﾀｯｸ系床仕上げ工事作業 ・木質系仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁張り作業	塗装改修工事	・木工塗装作業	耐震改修工事	・鉄筋組立て作業	その他	・ｺﾝｸﾘｰﾄﾛｯｸ工事作業							
工事種別	適用技能士																									
仮設工事	・とび作業																									
防水改修工事	・ﾌﾞﾗｯｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業 ・ﾌﾗｸﾞ防水工事作業																									
外壁改修工事	・左官作業 ・左官作業 ・建築塗装作業 ・建築塗装作業																									
建具改修工事	・ビル用サッシ施工作業 ・自動ドア施工作業																									
内装改修工事	・ﾌﾗｽﾀｯｸ系床仕上げ工事作業 ・木質系仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁張り作業																									
塗装改修工事	・木工塗装作業																									
耐震改修工事	・鉄筋組立て作業																									
その他	・ｺﾝｸﾘｰﾄﾛｯｸ工事作業																									
18 化学物質の濃度測定 (1.5.9)[1.7.9]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象化学物質</th> <th>判定基準</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホルムアルデヒド</td> <td>100 μg/m³ (0.08ppm) 以下</td> <td>※厚生労働省</td> </tr> <tr> <td>トルエン</td> <td>260 μg/m³ (0.07ppm) 以下</td> <td>※指針</td> </tr> <tr> <td>キシレン</td> <td>200 μg/m³ (0.05ppm) 以下</td> <td>値、量単位</td> </tr> <tr> <td>エチルベンゼン</td> <td>3,800 μg/m³ (0.88ppm) 以下</td> <td>換算は25℃</td> </tr> <tr> <td>スチレン</td> <td>220 μg/m³ (0.05ppm) 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>パラジクロロベンゼン</td> <td>240 μg/m³ (0.04ppm) 以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。 ①検体の採取方法 ・吸引方式(アクティブ法) ・拡散方式(パッシブ法) ②アクティブ法 ホルムアルデヒドは、ジトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法(以下HPLC)により行う。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法(以下GC/MS)により行う。 ③パッシブ法 ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、HPLC又はガスクロマトグラフ法(以下GC)あるいはAHMT-吸光光度法のうち採取機器に適合した分析法による。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、パッシブ採取機器により採取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適合した分析法による。 測定対象室 ※監督員の指定する室(室) ・図示 測定箇所数 ※() ・図示 測定時期 ※工事着手前及び完了後 報告書 ※2部</p> <p>⑮ 中間検査 [1.7.2][1.5.1]</p> <p>中間検査 ※行方(埼玉県建設工事検査要綱第5条) ・行わない 中間検査実施回数(1) 実施段階(外壁改修後足場解体前) 監督員の指示による 中間検査成績評定 ※対象外 ・対象(埼玉県建築工事成績評定要綱第2)</p> <p>⑯ 完成図等 [1.8.1~3][1.6.1~3]</p> <p>監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱別表第1に示す書類を原則電子データで提出する。</p> <p>完成図等の種類及び記入内容 図面(竣工図)(※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの) 図面情報電子化媒体 ※OD-R又はDVD-R、1部 CADデータの形式 ※SXF(sfc) ・DXF ・OBJ (埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による。CADソフトのバージョンは監督員と協議する) 保全に関する資料 ※1部 ・部(通常取扱いに注意を要するもの使用法を解説する) 完成写真(埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成する) 埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する(OD-R又はDVD-Rで1部提出) ・適用しない 撮影者 ※監督員の承諾する撮影者 撮影箇所 ※外部() 内部() 工事時と完成時の状況を比較できるように撮影する ・埼玉県建築工事写真作成要領別表5 原本及びアルバムを各1部提出 原本(電子媒体:撮影時のJPEG)及びアルバム(紙媒体又は電子媒体)を各1部提出 パネル入り(外部全費)完成写真 ・要 ○不要 施設CADデータ ○更新して提出 ・更新しない</p> <p>21 保証書 [1.6.4]</p> <p>防水工事 ※屋上防水 ・外壁防水 ・金属屋根 建物引渡し日から10年間、受注者、施工者、材料メーカーの3者連名とし2部提出する。 上記以外 ・1部提出</p> <p>22 その他</p> <p>・予備材料 ※監督員の指示による ・下請契約 ※全体及び県内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する。</p>	対象化学物質	判定基準	備考	ホルムアルデヒド	100 μg/m ³ (0.08ppm) 以下	※厚生労働省	トルエン	260 μg/m ³ (0.07ppm) 以下	※指針	キシレン	200 μg/m ³ (0.05ppm) 以下	値、量単位	エチルベンゼン	3,800 μg/m ³ (0.88ppm) 以下	換算は25℃	スチレン	220 μg/m ³ (0.05ppm) 以下		パラジクロロベンゼン	240 μg/m ³ (0.04ppm) 以下					
対象化学物質	判定基準	備考																								
ホルムアルデヒド	100 μg/m ³ (0.08ppm) 以下	※厚生労働省																								
トルエン	260 μg/m ³ (0.07ppm) 以下	※指針																								
キシレン	200 μg/m ³ (0.05ppm) 以下	値、量単位																								
エチルベンゼン	3,800 μg/m ³ (0.88ppm) 以下	換算は25℃																								
スチレン	220 μg/m ³ (0.05ppm) 以下																									
パラジクロロベンゼン	240 μg/m ³ (0.04ppm) 以下																									
① 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]	<p>・防音パネル ○防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示</p>																									
② 足場等 [2.2.1][2.2.2]	<p>「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における(2)の手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>外部足場 ○設置する(設置範囲・図示) ・設置しない 防護シート ○設置する(設置範囲・図示) ・設置しない 内部足場 ・設置する(※脚立、足場板等) ・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別(A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種) C種: 利用可能なエレベーター(・図示) D種: 利用可能な階段(・図示)</p> <p>墜落制止用器具の使用は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」(厚生労働省 H30.6.22)による。 ○フルハネス型墜落制止用器具を用いる。</p> <p>幅が1メートル以上の箇所において足場を使用するときは、原則として本足場を使用する(労働安全衛生規則第501条の2)</p>																									
③ 既存部分の養生 [2.3.1]	<p>既存部分 養生の方法(※ビニルシート、合板等) ・() 既存家具、既存設備等 養生の方法(※ビニルシート等) ・() 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法(※ビニルシート等) ・() 養生場所(・図示) 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ○図示 ・()</p> <p>4 仮設間仕切り [2.3.2][2.3.1]</p> <p>仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 仮設間仕切りの種別と材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>・木</td> <td>・せっこうボード(9.5mm)</td> <td>・無し</td> <td>※有り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・種類()</td> <td>・片面</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> <td>・合板(9.0mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・材種()</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※C種 単管 防炎シート 充填材: グラスウール32k(厚:50mm以上)</p>	種別	下地	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材	・A種	・木	・せっこうボード(9.5mm)	・無し	※有り			・種類()	・片面		・B種		・合板(9.0mm)					・材種()		
種別	下地	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材																						
・A種	・木	・せっこうボード(9.5mm)	・無し	※有り																						
		・種類()	・片面																							
・B種		・合板(9.0mm)																								
		・材種()																								

5 監督員事務所 [2.4.1]	<p>仮設間仕切りには仮設扉の材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>設置箇所</th> <th>充填材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※木製</td> <td>※合板張り程度</td> <td>・無し</td> <td>※図示 箇所</td> <td>・有り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・片面</td> <td></td> <td>・無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>充填材: グラスウール32k(厚:50mm以上)</p> <p>規模: 既存建物内の一部を使用 ・構内に新設 m² ※設置しない(下記備品のみ用意する) 備品(名分相当) ・机 ・椅子 ・書棚 ・黒板 ・掛時計 ・寒暖計 ・長靴 ・雨合羽 ・保護帽 ・懐中電灯 ・墜落制止用器具 ・軍手 ・衣類ロッカー ・冷暖房機器 ・消火器 ・湯沸器 ・茶器 ・掃除用具 ・電話機 ・FAX ・電子メール通信機器 ・スキャナー ・プリンター</p> <p>※設置する((1.1.12)による表示 ・要 ・不要) ・設置しない [2.4.1][1.1.12]</p> <p>構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(※有償 ・無償)</p> <p>構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(別途施設調整を行うこと)</p> <p>※図示 ・() ※設置位置等は監督員の指示による ・図示</p> <p>必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。 配置箇所 ※監督員の指示による ・図示</p> <p>仕様 ※図示</p>	材質	仕上げ	塗装	設置箇所	充填材	※木製	※合板張り程度	・無し	※図示 箇所	・有り			・片面		・無し																																																			
材質	仕上げ	塗装	設置箇所	充填材																																																															
※木製	※合板張り程度	・無し	※図示 箇所	・有り																																																															
		・片面		・無し																																																															
③ 防水改修工事 [3.1.3][3.2.3, 4.6]	<p>1 施工数量調査 [1.6.2, 3]</p> <p>調査範囲 ・図示の範囲 調査方法 ・図示 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 調査報告書 提出部数 ・2部</p> <p>2 降雨等に対する養生方法(とい共) [3.1.3]</p> <p>※[3.1.3](5)(7)~(9)による</p> <p>3 既存防水の処理 [3.1.4][3.2.3, 4.6]</p> <p>既存保護層の撤去 ・行う(範囲・図示) ・() ・行わない 既存防水層の撤去 ・行う(範囲・図示) ・() ・行わない 既存露出防水層表面の仕上塗装除去 ・行う(・MA4S ・MA4S1 ・MA4 ・MA4I) ・行わない 既存塗膜防水層表面の仕上塗装除去 ・行う(L4X) ・行わない</p> <p>4 既存下地の処理 [3.2.6]</p> <p>既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・図示</p> <p>POS工法及びPOS工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※[3.2.6](4)(9)(g)①~③による</p> <p>設備機器架台、配管部、バラベテ、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ・図示</p> <p>5 アスファルト防水 [3.3.2~5]</p> <p>屋根保護防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>[9.2.1~3]</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ・A-2 ・A-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※JIS A 9521に基づく押出法 厚さ0.15mm以上 又はﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞ 70g/m²程度</td> <td>・乾式保護材 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ打込 ・れんが押え ・JIS R 1250 ・ﾓﾙﾀｰ押え(屋内)</td> </tr> <tr> <td>・P1B</td> <td>・B-1 ・B-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞ 70g/m²程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A1-1 ・A1-2 ・A1-3</td> <td>(材質)</td> <td>※JIS A 9521に基づく押出法 ※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞ断熱材3種a (※7層付き)</td> <td></td> <td>※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞ 70g/m²程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P1B</td> <td>・B1-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・T1B</td> <td>・B1-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(厚さ) ・ mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3.3.3]から[表3.3.9]による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・※R種 材料による区分 ・※R種 厚さ()mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3.3.3]から[表3.3.9]による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・※R種 材料による区分 ・※R種 厚さ()mm以上 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上 ・乾式保護材 窯業系パネル1類(厚さ mm、幅 mm)</p> <p>屋根露出防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞﾌﾗｯｸﾞ類 の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・POD</td> <td>・D-1 ・D-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞﾌﾗｯｸﾞ類 の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>・POD1 ・M3D1 ・M4D1</td> <td>・D1-1 ・D1-2</td> <td></td> <td>[3.3.2(9)] (種類)</td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞﾌﾗｯｸﾞ類 の製造所の仕様 (改修用ﾄﾗｯｸ) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾗｯｸ) ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・適用しない 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3.3.3]から[表3.3.9]による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・※R種 材料による区分 ・※R種 厚さ()mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3.3.3]から[表3.3.9]による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・※R種 材料による区分 ・※R種 厚さ()mm以上 絶縁断熱工法のルーフトレンドレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・図示 絶縁工法及び絶縁断熱工法の断熱材の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	[9.2.1~3]	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3				※JIS A 9521に基づく押出法 厚さ0.15mm以上 又はﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞ 70g/m ² 程度	・乾式保護材 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ打込 ・れんが押え ・JIS R 1250 ・ﾓﾙﾀｰ押え(屋内)	・P1B	・B-1 ・B-2				※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞ 70g/m ² 程度		・P2A	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3	(材質)	※JIS A 9521に基づく押出法 ※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞ断熱材3種a (※7層付き)		※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞ 70g/m ² 程度		・P1B	・B1-1						・T1B	・B1-2				(厚さ) ・ mm		工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考	・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4				(種類・使用量) ※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞﾌﾗｯｸﾞ類 の製造所の仕様	・M3D ・POD	・D-1 ・D-2				(種類・使用量) ※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞﾌﾗｯｸﾞ類 の製造所の仕様	・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ・D1-2		[3.3.2(9)] (種類)		(種類・使用量) ※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞﾌﾗｯｸﾞ類 の製造所の仕様 (改修用ﾄﾗｯｸ) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾗｯｸ) ・設ける ・設けない
工法	種別	施工箇所	断熱材	[9.2.1~3]	絶縁用シート	立上り部の保護																																																													
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3				※JIS A 9521に基づく押出法 厚さ0.15mm以上 又はﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞ 70g/m ² 程度	・乾式保護材 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ打込 ・れんが押え ・JIS R 1250 ・ﾓﾙﾀｰ押え(屋内)																																																													
・P1B	・B-1 ・B-2				※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞ 70g/m ² 程度																																																														
・P2A	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3	(材質)	※JIS A 9521に基づく押出法 ※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞ断熱材3種a (※7層付き)		※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞ 70g/m ² 程度																																																														
・P1B	・B1-1																																																																		
・T1B	・B1-2				(厚さ) ・ mm																																																														
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考																																																														
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4				(種類・使用量) ※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞﾌﾗｯｸﾞ類 の製造所の仕様																																																														
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2				(種類・使用量) ※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞﾌﾗｯｸﾞ類 の製造所の仕様																																																														
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ・D1-2		[3.3.2(9)] (種類)		(種類・使用量) ※ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞﾌﾗｯｸﾞ類 の製造所の仕様 (改修用ﾄﾗｯｸ) ・設ける ・設けない (改修用ﾄﾗｯｸ) ・設ける ・設けない																																																														

百間中学校

8 合板等	<p>「合板の日本農林規格」による普通合板 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td></td> <td>※1類・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上・1等針葉樹 ※C-D以上</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上・1等針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない				
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用															
		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上・1等針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない																
	<p>「合板の日本農林規格」による構造用合板 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※2級以上・1級</td> <td></td> <td>※1類・特類</td> <td>※C-D以上</td> <td>※12</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用		※2級以上・1級		※1類・特類	※C-D以上	※12	・適用する ・適用しない	
施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用														
	※2級以上・1級		※1類・特類	※C-D以上	※12	・適用する ・適用しない																
<p>「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・特類</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用				・特類	・適用する ・適用しない							
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用																	
			・特類	・適用する ・適用しない																		
9 接合具等	<p>「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table>					施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用				・1類 ・2類	・適用する ・適用しない							
	施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用																	
				・1類 ・2類	・適用する ・適用しない																	
	<p>「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない					
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用																	
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない																	
<p>パーティクルボード [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> <td>※15</td> </tr> </table>					施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)			※13タイプ	※P又はM		※15						
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																	
		※13タイプ	※P又はM		※15																	
<p>JAS 0360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	寸法 (mm)																
施工箇所	寸法 (mm)																					
<p>MDF [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分												
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																	
10 接着剤	<p>接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.3.4]</p>																					
	<p>薬剤の加圧注入による防虫、防蟻処理 [6.5.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> </table>					適用部材	保存処理性能区分		・K2 ・K3 ・K4													
適用部材	保存処理性能区分																					
	・K2 ・K3 ・K4																					
11 防虫、防蟻処理	<p>薬剤の塗布等による防虫、防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td>※薬剤の製造所の仕様による</td> <td></td> <td>※JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> </table>					適用部材	処理の方法	薬剤の種類	※薬剤の製造所の仕様による		※JIS K 1571に適合又は同等品											
	適用部材	処理の方法	薬剤の種類																			
※薬剤の製造所の仕様による		※JIS K 1571に適合又は同等品																				
<p>薬剤の接着剤への混入による防虫、防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>合板等の加圧注入処理等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>					適用部位	合板等の加圧注入処理等の適用																
適用部位	合板等の加圧注入処理等の適用																					
12 内部間仕切輪組及び床組み	<p>間仕切輪組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.6]</p> <p>※杉又は松</p> <p>床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)</p> <p>※杉又は松</p>																					
	<p>窓、出入口その他 [6.5.7]</p> <p>窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)</p> <p>吊元枠、水掛りの下枠及び敷居 ※杉又は松</p> <p>その他</p>																					
⑭ 軽量鉄骨天井下地	<p>野縁等の種類 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形) [6.6.2~4]</p> <p>屋外の形式及び寸法</p> <p>野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔</p> <p>野縁の端からの間隔</p> <p>野縁の間隔</p> <p>既存の埋込みインサート</p> <p>あと施工アンカーの施工後の確認試験</p> <p>○行う</p> <p>試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 () 箇所</p> <p>引張試験にて確認する強度</p> <p>※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400mm程度 () N</p> <p>・行わない</p> <p>・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示</p> <p>・天井のふところ3.0mを超える場合の補強方法 ※図示</p> <p>・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示</p> <p>補強方法 ※図示</p>																					

15 軽量鉄骨壁下地	<p>スタッド、ランナーの種類 [6.7.3.4][表6.7.1]</p> <p>※表6.7.1により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類</p> <p>スタッドの高さが9mを超える場合 ※図示</p> <p>出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4](5)による</p>																																																																										
	<p>16 ビニル床シート [6.8.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※FS(複層ビニル床シート)</td> <td>無地・柄物</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>接合部の処理 ※熱溶接工法</p>					種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※FS(複層ビニル床シート)	無地・柄物	※2.0																																																															
種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																																																																								
※FS(複層ビニル床シート)	無地・柄物	※2.0																																																																									
17 ビニル床タイル [6.8.2]	<p>種類の記号 色柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備考</p> <p>※KT(複層ビニル床タイル) ・無地・柄物 ・300×300・450×450 ・2.0・3.0</p> <p>・TT(単層ビニル床タイル) ・無地・柄物 ・300×300・450×450 ・2.0</p> <p>・FT(複層ビニル床タイル) ・無地・柄物 ・300×300・450×450 ・2.0・2.5・3.0</p> <p>・FOA(置敷きビニル床タイル) ・無地・柄物 ・500×500 ・4.0</p> <p>・FOB(薄型置敷きビニル床タイル) ・無地・柄物</p>																																																																										
	<p>18 特殊機能床材 [6.8.2]</p> <p>・帯電防止床シート</p> <p>種類 () 性能 () 厚さ (mm) ()</p> <p>・帯電防止床タイル</p> <p>種類 () 性能 () 寸法 (mm) (×) 厚さ (mm) ()</p> <p>・視覚障害者用床タイル</p> <p>視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。</p> <p>種類 () 形状 ()</p> <p>・耐動荷重性床シート</p> <p>種類 () 厚さ (mm) ()</p> <p>・防滑性床シート</p> <p>種類 () 厚さ (mm) ()</p> <p>・防滑性床タイル</p> <p>種類 () 寸法 (mm) (×) 厚さ (mm) ()</p>																																																																										
19 ビニル幅木	<p>材質の種類 ・軟質 ・硬質 ・床シート巻上げ(端部の処理は図示による) [6.8.2]</p> <p>高さ (mm) ※60 ・75 ・100</p> <p>厚さ (mm) ※1.5以上</p>																																																																										
	<p>20 ゴム床タイル [6.8.2]</p> <p>種類 ・単層品 ・積層品</p> <p>色柄 ()</p> <p>厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0</p> <p>寸法 (mm) () × ()</p>																																																																										
21 カーペット敷き [6.9.2.3][表6.9.1]	<p>・織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>織り方</th> <th>パイル形状</th> </tr> <tr> <td>・ウィルトンカーペット</td> <td>・カットパイル</td> </tr> <tr> <td>・ダブルフェースカーペット</td> <td>・ループパイル</td> </tr> <tr> <td>・アキスミンスターカーペット</td> <td>・カット/ループパイル</td> </tr> </table> <p>色柄 ※模様のない無地</p> <p>パイル系の織種等 ※無地の織りじゅうたんの種類 (・A種 ・B種 ・C種)</p> <p>帯電性 ・適用する</p> <p>織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い</p> <p>下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p> <p>・タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・カットパイル</td> <td>・5~7</td> <td>・全面接着工法</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループパイル</td> <td>・4~6</td> <td>・クリカ工法</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>下敷き材(グリッパ工法の場合)</p> <p>※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p> <p>タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>・タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ループパイル</td> <td>※第一種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第一種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第一種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					織り方	パイル形状	・ウィルトンカーペット	・カットパイル	・ダブルフェースカーペット	・ループパイル	・アキスミンスターカーペット	・カット/ループパイル	パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考	・カットパイル	・5~7	・全面接着工法	・適用する		・ループパイル	・4~6	・クリカ工法	・適用しない		・カット、ループ併用					パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考	※ループパイル	※第一種		※500×500	※6.5			・第二種						・第一種		※500×500	※6.5			・第二種						・第一種		※500×500	※6.5			・第二種				
	織り方	パイル形状																																																																									
・ウィルトンカーペット	・カットパイル																																																																										
・ダブルフェースカーペット	・ループパイル																																																																										
・アキスミンスターカーペット	・カット/ループパイル																																																																										
パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考																																																																							
・カットパイル	・5~7	・全面接着工法	・適用する																																																																								
・ループパイル	・4~6	・クリカ工法	・適用しない																																																																								
・カット、ループ併用																																																																											
パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考																																																																						
※ループパイル	※第一種		※500×500	※6.5																																																																							
	・第二種																																																																										
	・第一種		※500×500	※6.5																																																																							
	・第二種																																																																										
	・第一種		※500×500	※6.5																																																																							
	・第二種																																																																										
22 合成樹脂塗床 [6.10.2.3]	<p>種類 施工箇所 工法 仕上げの種類</p> <p>・厚膜型塗床材 (弾性ウレタン樹脂系塗床) ※平滑仕上げ</p> <p>防虫処理 ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</p> <p>・厚膜型塗床材 (ウレタン樹脂系塗床) ・薄膜流しのペ工法 ・平滑仕上げ</p> <p>・厚膜流しのペ工法 ・防滑仕上げ</p> <p>樹脂材料工法</p> <p>・薄膜型塗床材 (ウレタン樹脂系塗床) ※平滑仕上げ</p> <p>・アクリル樹脂塗床 (防塵塗料塗り) ※製造所の指定による</p> <p>表面仕上げ ※平滑</p> <p>溶剤 ※水性</p> <p>塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>																																																																										
	<p>23 フローリング張り [6.11.2~6]</p> <p>フローリングのホルムアルデヒドの放散量等</p> <p>※改修標準仕様書6.11.2.(2)による</p> <p>各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>単層フローリング (フローリングボード1等)</p> <p>工法 ・釘止め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法</p> <p>樹種 ※なら ・しない</p> <p>間伐材等の適用 (フローリングブロック1等)</p> <p>樹種 ・する ・しない</p> <p>厚さ (mm) ・</p> <p>大きさ ・</p> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない</p> <p>接合フローリング</p> <p>工法 ・釘止め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法</p> <p>樹種 ※なら ・しない</p> <p>種類 ・A種 ・B種 ・C種</p> <p>間伐材等の適用 ・する ・しない</p> <p>接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート</p> <p>・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り</p> <p>・オイルステインの上、ワックス塗り</p> <p>・生地のままワックス塗り</p>																																																																										

24 畳敷き [6.12.2]	<p>種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)</p> <p>下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.11による床組</p> <p>・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン ☑)</p> <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>衝撃緩和型畳 (畳表: ・C1 ・C2)</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2.3]</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>合板のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※改修標準仕様書6.13.2(2)(f)の(a)~(d)のいずれか</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>木モセメント板 [6.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・硬質 (HW)</td> <td>・15 ・20</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・中質 (MW)</td> <td>・15 ・20</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・普通 (NW)</td> <td>・15 ・20</td> <td>・25</td> </tr> </table> <p>木片セメント板 [6.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・硬質 (HF)</td> <td>・12 ・15 ・18 ・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通 (NF)</td> <td>・30</td> <td></td> </tr> </table> <p>繊維強化セメント板</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>○ けい酸カルシウム板</td> <td>普通ボード0.8FKタイプ2 (無石綿) ・6 ・8</td> <td>○5</td> </tr> <tr> <td>・化粧けい酸カルシウム板</td> <td>普通ボード0.8FKタイプ2 (無石綿) ・6 ・8</td> <td></td> </tr> </table> <p>表面への化粧張り等の加工 ・アクリル樹脂系系統付け</p> <p>火山性ガラス質複層板</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・火山性ガラス質複層板</td> <td></td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>繊維板 [6.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>ハードボード</td> <td>・素地ハードボード (未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS))</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタンダードボード (無処理)</td> <td>・内装用化粧ハードボード (D1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハードボード (処理)</td> <td>・素地ハードボード (未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS))</td> <td></td> </tr> <tr> <td>テンパーボード (処理)</td> <td>・外装用化粧ハードボード (DE)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) [6.13.2.3]</td> <td>厚さ ・3 ・7 ・9 ・12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・インシュレーションボード [6.13.2.3]</td> <td>A級 (・天井仕上げ ・内装仕上げ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・9 ・12 ・15 ・18</td> <td></td> </tr> </table> <p>パーティクルボード [6.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・単板張りパーティクルボード</td> <td>・無研磨板 (VN) ・研磨板 (VS)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・10 ・12 ・15 ・18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・化粧パーティクルボード</td> <td>・単板パーティクル (DV)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・フラスカパーティクル (DO)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・塗装 (DC)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・10 (難燃) ・12 (難燃)</td> <td></td> </tr> </table> <p>吸音材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・ロックウール化粧吸音板 (DR)</td> <td>・フラットタイプ (・9(不燃) ・12(不燃) ・凹凸タイプ (・12(不燃) ・15(不燃))</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ロックウール吸音ボード1号</td> <td>・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・グラスウール吸音ボード32K</td> <td>・25 (ガラスクロス包)</td> <td></td> </tr> </table> <p>せっこうボード製品</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・せっこうボード (GB-R)</td> <td>・12.5 (不燃) ・15 (不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せっこうボード (GB-NC)</td> <td>9.5 (不燃) ・化粧無 (下地張り用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・化粧有 (トラバーチン模様)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・シージングせっこうボード (GB-S)</td> <td>12.5 (※不燃・準不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・強化せっこうボード (GB-F)</td> <td>・12.5 (不燃) ・15 (不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・せっこうラスボード (GB-L)</td> <td>9.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード (GB-D)</td> <td>・木目12.5 (不燃) 幅40mm程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・模様 (・柱目 ・板目) 専用下地材有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・トワイワ模様 9.5 (準不燃)</td> <td></td> </tr> </table> <p>合板 [6.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・不透明塗料塗り (※しな合板程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>板面の品質</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚さ (mm) ※図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>防虫処理 ・行う ・行わない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>化粧板の樹種名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚さ (mm) ※図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>防虫処理 ・行う ・行わない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>表面性能 (タイプ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚さ (mm) ※図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>防虫処理 ・行う ・行わない</td> <td></td> </tr> </table> <p>化粧板</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂化粧板</td> <td>JIS K 6903 による (※1.2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ポリエステル樹脂化粧板</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※図示による</p> <p>合板類の張付け ・A種 ・B種</p> <p>せっこうボードの目地工法等</p> <p>目地工法の種類 ※仕上表による</p> <p>突付け工法及び目透し工法のエッジの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>突付け工法のエッジの種類</th> <th>ペベルエッジ</th> <th>スクエアエッジ</th> </tr> <tr> <td>目透かし工法のエッジの種類</td> <td>・ペベルエッジ</td> <td>・スクエアエッジ</td> </tr> </table> <p>化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装)</p> <p>壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.14.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>紙</th> <th>織物</th> <th>壁紙</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> <th>防火種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・不燃・準不燃・難燃</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル及びせっこうプラスチック面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種</p> <p>コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種</p> <p>せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種</p>					種類	厚さ (mm)	規格等	・硬質 (HW)	・15 ・20	・25	・中質 (MW)	・15 ・20	・25	・普通 (NW)	・15 ・20	・25	種類	厚さ (mm)	規格等	・硬質 (HF)	・12 ・15 ・18 ・21		・普通 (NF)	・30		種類	厚さ (mm)	規格等	○ けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FKタイプ2 (無石綿) ・6 ・8	○5	・化粧けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FKタイプ2 (無石綿) ・6 ・8		種類	厚さ (mm)	規格等	・火山性ガラス質複層板		・図示による	種類	厚さ (mm)	規格等	ハードボード	・素地ハードボード (未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS))		スタンダードボード (無処理)	・内装用化粧ハードボード (D1)			厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7		ハードボード (処理)	・素地ハードボード (未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS))		テンパーボード (処理)	・外装用化粧ハードボード (DE)			厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7		・ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) [6.13.2.3]	厚さ ・3 ・7 ・9 ・12		・インシュレーションボード [6.13.2.3]	A級 (・天井仕上げ ・内装仕上げ)			・9 ・12 ・15 ・18		種類	厚さ (mm)	規格等	・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 (VN) ・研磨板 (VS)			・10 ・12 ・15 ・18		・化粧パーティクルボード	・単板パーティクル (DV)			・フラスカパーティクル (DO)			・塗装 (DC)			・10 (難燃) ・12 (難燃)		種類	厚さ (mm)	規格等	・ロックウール化粧吸音板 (DR)	・フラットタイプ (・9(不燃) ・12(不燃) ・凹凸タイプ (・12(不燃) ・15(不燃))		・ロックウール吸音ボード1号	・25		・グラスウール吸音ボード32K	・25 (ガラスクロス包)		種類	厚さ (mm)	規格等	・せっこうボード (GB-R)	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)		・不燃積層せっこうボード (GB-NC)	9.5 (不燃) ・化粧無 (下地張り用)			・化粧有 (トラバーチン模様)		・シージングせっこうボード (GB-S)	12.5 (※不燃・準不燃)		・強化せっこうボード (GB-F)	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)		・せっこうラスボード (GB-L)	9.5		・化粧せっこうボード (GB-D)	・木目12.5 (不燃) 幅40mm程度			・模様 (・柱目 ・板目) 専用下地材有り			・トワイワ模様 9.5 (準不燃)		種類	厚さ (mm)	規格等	・普通合板	表面の樹種			生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度)			・不透明塗料塗り (※しな合板程度)			板面の品質			厚さ (mm) ※図示による			防虫処理 ・行う ・行わない		・天然木化粧合板	化粧板の樹種名			厚さ (mm) ※図示による			防虫処理 ・行う ・行わない		・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装			表面性能 (タイプ)			厚さ (mm) ※図示による			防虫処理 ・行う ・行わない		種類	厚さ (mm)	規格等	・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による (※1.2)		・ポリエステル樹脂化粧板			突付け工法のエッジの種類	ペベルエッジ	スクエアエッジ	目透かし工法のエッジの種類	・ペベルエッジ	・スクエアエッジ	施工箇所	紙	織物	壁紙	無機質	その他	防火種別	備考							・不燃・準不燃・難燃	
	種類	厚さ (mm)	規格等																																																																																																																																																																																																												
・硬質 (HW)	・15 ・20	・25																																																																																																																																																																																																													
・中質 (MW)	・15 ・20	・25																																																																																																																																																																																																													
・普通 (NW)	・15 ・20	・25																																																																																																																																																																																																													
種類	厚さ (mm)	規格等																																																																																																																																																																																																													
・硬質 (HF)	・12 ・15 ・18 ・21																																																																																																																																																																																																														
・普通 (NF)	・30																																																																																																																																																																																																														
種類	厚さ (mm)	規格等																																																																																																																																																																																																													
○ けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FKタイプ2 (無石綿) ・6 ・8	○5																																																																																																																																																																																																													
・化粧けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FKタイプ2 (無石綿) ・6 ・8																																																																																																																																																																																																														
種類	厚さ (mm)	規格等																																																																																																																																																																																																													
・火山性ガラス質複層板		・図示による																																																																																																																																																																																																													
種類	厚さ (mm)	規格等																																																																																																																																																																																																													
ハードボード	・素地ハードボード (未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS))																																																																																																																																																																																																														
スタンダードボード (無処理)	・内装用化粧ハードボード (D1)																																																																																																																																																																																																														
	厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7																																																																																																																																																																																																														
ハードボード (処理)	・素地ハードボード (未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS))																																																																																																																																																																																																														
テンパーボード (処理)	・外装用化粧ハードボード (DE)																																																																																																																																																																																																														
	厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7																																																																																																																																																																																																														
・ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) [6.13.2.3]	厚さ ・3 ・7 ・9 ・12																																																																																																																																																																																																														
・インシュレーションボード [6.13.2.3]	A級 (・天井仕上げ ・内装仕上げ)																																																																																																																																																																																																														
	・9 ・12 ・15 ・18																																																																																																																																																																																																														
種類	厚さ (mm)	規格等																																																																																																																																																																																																													
・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 (VN) ・研磨板 (VS)																																																																																																																																																																																																														
	・10 ・12 ・15 ・18																																																																																																																																																																																																														
・化粧パーティクルボード	・単板パーティクル (DV)																																																																																																																																																																																																														
	・フラスカパーティクル (DO)																																																																																																																																																																																																														
	・塗装 (DC)																																																																																																																																																																																																														
	・10 (難燃) ・12 (難燃)																																																																																																																																																																																																														
種類	厚さ (mm)	規格等																																																																																																																																																																																																													
・ロックウール化粧吸音板 (DR)	・フラットタイプ (・9(不燃) ・12(不燃) ・凹凸タイプ (・12(不燃) ・15(不燃))																																																																																																																																																																																																														
・ロックウール吸音ボード1号	・25																																																																																																																																																																																																														
・グラスウール吸音ボード32K	・25 (ガラスクロス包)																																																																																																																																																																																																														
種類	厚さ (mm)	規格等																																																																																																																																																																																																													
・せっこうボード (GB-R)	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																																																																																																																																																														
・不燃積層せっこうボード (GB-NC)	9.5 (不燃) ・化粧無 (下地張り用)																																																																																																																																																																																																														
	・化粧有 (トラバーチン模様)																																																																																																																																																																																																														
・シージングせっこうボード (GB-S)	12.5 (※不燃・準不燃)																																																																																																																																																																																																														
・強化せっこうボード (GB-F)	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																																																																																																																																																														
・せっこうラスボード (GB-L)	9.5																																																																																																																																																																																																														
・化粧せっこうボード (GB-D)	・木目12.5 (不燃) 幅40mm程度																																																																																																																																																																																																														
	・模様 (・柱目 ・板目) 専用下地材有り																																																																																																																																																																																																														
	・トワイワ模様 9.5 (準不燃)																																																																																																																																																																																																														
種類	厚さ (mm)	規格等																																																																																																																																																																																																													
・普通合板	表面の樹種																																																																																																																																																																																																														
	生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度)																																																																																																																																																																																																														
	・不透明塗料塗り (※しな合板程度)																																																																																																																																																																																																														
	板面の品質																																																																																																																																																																																																														
	厚さ (mm) ※図示による																																																																																																																																																																																																														
	防虫処理 ・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																														
・天然木化粧合板	化粧板の樹種名																																																																																																																																																																																																														
	厚さ (mm) ※図示による																																																																																																																																																																																																														
	防虫処理 ・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																														
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装																																																																																																																																																																																																														
	表面性能 (タイプ)																																																																																																																																																																																																														
	厚さ (mm) ※図示による																																																																																																																																																																																																														
	防虫処理 ・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																														
種類	厚さ (mm)	規格等																																																																																																																																																																																																													
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による (※1.2)																																																																																																																																																																																																														
・ポリエステル樹脂化粧板																																																																																																																																																																																																															
突付け工法のエッジの種類	ペベルエッジ	スクエアエッジ																																																																																																																																																																																																													
目透かし工法のエッジの種類	・ペベルエッジ	・スクエアエッジ																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	紙	織物	壁紙	無機質	その他	防火種別	備考																																																																																																																																																																																																								
						・不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																																																									
26 壁紙張り [6.14.2.3]	<p>壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>紙</th> <th>織物</th> <th>壁紙</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> <th>防火種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・不燃・準不燃・難燃</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル及びせっこうプラスチック面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種</p> <p>コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種</p> <p>せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種</p>					施工箇所	紙	織物	壁紙	無機質	その他	防火種別	備考							・不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																																											
	施工箇所	紙	織物	壁紙	無機質	その他	防火種別	備考																																																																																																																																																																																																							
						・不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																																																									

27 モルタル塗り [6.15.3.5.6]	<p>モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 () 形状 (※図示)</p> <p>既製目地材 ・設ける 施工箇所 ()</p> <p>・設けない</p> <p>床目地 ・設ける 目地割り ※2m程度(最大目地間隔3m程度)</p> <p>・設けない</p> <p>種類 ※押し目地</p> <p>壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ※図示による</p> <p>伸縮調整目地の位置 [6.16.2~4]</p> <p>床タイル (※縦、横とも4m以内ごと) ・図示</p> <p>床タイル以外 (・図示)</p> <p>伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改訂記仕様書第3章による</p> <p>試験張り ・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない</p> <p>見本焼き ・行う (施工箇所) ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>タイルの形状・寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状/寸法 (mm)</th> <th>再生材料の適用 ☑</th> <th>取組による区分</th> <th>うがすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐震害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>I類II類III類</td> <td>○</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準特注</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>既調合モルタル</p> <p>モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <p>既調合目地材</p> <p>壁タイル張りの工法</p> <p>内装タイル ・密着張り ・改良接着張り</p> <p>内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>タイルの形状・寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状/寸法 (mm)</th> <th>再生材料の適用 ☑</th> <th>取組による区分</th> <th>うがすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐震害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>I類II類III類</td> <td>○</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準特注</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>29 セルフレベリング材塗り [6.17.2.3]</p> <p>29 セルフレベリング材塗り [6.17.2.3]</p> <p>30 フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重 (N)</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1.0G</td> <td>・3,000</td> <td>・帯電防止床タイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・0.6G</td> <td>・5,000</td> <td>・タイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1.0G</td> <td>・3,000</td> <td>・帯電防止床タイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・0.6G</td> <td>・5,000</td> <td>・タイル</td> <td></td> </tr> </table> <p>フリーアクセスフロアフロアの試験方法</p> <p>※標準仕様書20.2.2(2)(4)(a)~(d)による</p> <p>寸法精度</p> <p>※標準仕様書20.2.2(2)(4)(a)~(c)による</p> <p>・以下による</p> <p>パネルの長さの寸法精度 ()</p> <p>パネルの平面形状 (角度) の寸法精度 ()</p> <p>フリーアクセスフロアの寸法精度 ()</p> <p>帯電防止性能</p> <p>・評価値 (U) ≥0.6以上</p> <p>・評価値 (U) ≥1.2以上</p> <p>感電防止性能</p> <p>漏えい抵抗 (R) ≥1×10⁶Ω</p> <p>31 可動間仕切 (20.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>構成部材の種類</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性 (db/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・かたど式 (内蔵)</td> <td>・メタリウム樹脂焼付又は</td> <td>・0</td> <td>・不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・かたど式 (露出)</td> <td>・アクリル樹脂焼付</td> <td>・0</td> <td>・12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・パネル式</td> <td>・壁紙張り</td> <td>・20</td> <td>・28</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・スタッドパネル式</td> <td></td> <td>・36</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける器具 ・あり (※図示)</p> <p>パネル内に取付ける器具のドアクローザ、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書16章8節の器具用金物に対応する材質とする。</p> <p>表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。</p> <p>32 移動間仕切 (20.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>操作方法</th> <th>圧接装置の操作方法</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>パネル表面材</th> <th>遮音性 (db/500Hz)</th> </tr> <tr> <td>・平行方向移動式</td> <td>・手動式</td> <td>・プッシュ式</td> <td></td> <td>・鋼板</td> <td>・36未満</td> </tr> <tr> <td>・二方向移動式</td> <td>・電動式</td> <td>・ハンドル式</td> <td></td> <td>・壁紙張り</td> <td>・36以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・部分電動式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの種類及び品質、性能は、標準仕様書19章による。</p> <p>遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。</p> <p>ハンガーレールの取付け下地の補強</p> <p>※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。</p> <p>・図示</p> <p>パネルをランナーに取り付ける部品</p> <p>※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの</p> <p>ハンガーレール及びランナー</p> <p>※パネル重量の5倍の重量を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値にして、耐力及び変形量で使用上支障のないもの</p> <p>33 トイレブース (20.2.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の種類</th> <th>脚部種類</th> <th>ドアエッジの材質</th> <th>ドアエッジの形状</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ</td> <td>※製造所の標準仕様</td> <td>・標準</td> </tr> <tr> <td>・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td></td> <td>・アルミニウム製</td> <td>・Rタイプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ステンレス製</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・表面材と同材</td> <td></td> </tr> </table> <p>材料の種類及び仕上げ [6.14.2.3]</p> <p>○SUS304 表面処理</p> <p>・銅製 表面処理 溶接部めっき (※標準仕様書 表14.2.2による種別 ())</p> <p>○アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書 表14.2.11による種別 ())</p> <p>色合等 ○標準色 () ・特注色 ()</p> <p>手すりの廻り部分</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・集成材 (材種:)</td> <td>・リブ加工</td> <td>・30程度・35程度・45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビニル製ハードレール</td> <td></td> <td>・30程度・35程度・45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・樹脂被覆タイプ</td> <td></td> <td>・34φ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用 ☑	取組による区分	うがすり	役物	色	耐震害性	耐滑り性	備考					I類II類III類	○	有	無	標準特注	有	無	施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用 ☑	取組による区分	うがすり	役物	色	耐震害性	耐滑り性	備考					I類II類III類	○	有	無	標準特注	有	無	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (N)	表面仕上げ材	備考					・1.0G	・3,000	・帯電防止床タイル						・0.6G	・5,000	・タイル						・1.0G	・3,000	・帯電防止床タイル						・0.6G	・5,000	・タイル		構造形式	構成部材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (db/500Hz)	防火性能	・かたど式 (内蔵)	・メタリウム樹脂焼付又は	・0	・不燃		・かたど式 (露出)	・アクリル樹脂焼付	・0	・12		・パネル式	・壁紙張り	・20	・28		・スタッドパネル式		・36			構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材	遮音性 (db/500Hz)	・平行方向移動式	・手動式	・プッシュ式		・鋼板	・36未満	・二方向移動式	・電動式	・ハンドル式		・壁紙張り	・36以上		・部分電動式					表面材の種類	脚部種類	ドアエッジの材質	ドアエッジの形状	・メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	※製造所の標準仕様	・標準	・ポリエステル樹脂系化粧板		・アルミニウム製	・Rタイプ			・ステンレス製				・表面材と同材		材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考	・集成材 (材種:)	・リブ加工	・30程度・35程度・45程度			・ビニル製ハードレール		・30程度・35程度・45程度			・樹脂被覆タイプ		・34φ		
	施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用 ☑	取組による区分	うがすり	役物	色	耐震害性	耐滑り性	備考																																																																																																																																																																							
				I類II類III類	○	有	無	標準特注	有	無																																																																																																																																																																								
施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用 ☑	取組による区分	うがすり	役物	色	耐震害性	耐滑り性	備考																																																																																																																																																																								
				I類II類III類	○	有	無	標準特注	有	無																																																																																																																																																																								
施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (N)	表面仕上げ材	備考																																																																																																																																																																											
				・1.0G	・3,000	・帯電防止床タイル																																																																																																																																																																												
				・0.6G	・5,000	・タイル																																																																																																																																																																												
				・1.0G	・3,000	・帯電防止床タイル																																																																																																																																																																												
				・0.6G	・5,000	・タイル																																																																																																																																																																												
構造形式	構成部材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (db/500Hz)	防火性能																																																																																																																																																																														
・かたど式 (内蔵)	・メタリウム樹脂焼付又は	・0	・不燃																																																																																																																																																																															
・かたど式 (露出)	・アクリル樹脂焼付	・0	・12																																																																																																																																																																															
・パネル式	・壁紙張り	・20	・28																																																																																																																																																																															
・スタッドパネル式		・36																																																																																																																																																																																
構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材	遮音性 (db/500Hz)																																																																																																																																																																													
・平行方向移動式	・手動式	・プッシュ式		・鋼板	・36未満																																																																																																																																																																													
・二方向移動式	・電動式	・ハンドル式		・壁紙張り	・36以上																																																																																																																																																																													
	・部分電動式																																																																																																																																																																																	
表面材の種類	脚部種類	ドアエッジの材質	ドアエッジの形状																																																																																																																																																																															
・メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	※製造所の標準仕様	・標準																																																																																																																																																																															
・ポリエステル樹脂系化粧板		・アルミニウム製	・Rタイプ																																																																																																																																																																															
		・ステンレス製																																																																																																																																																																																
		・表面材と同材																																																																																																																																																																																
材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考																																																																																																																																																																														
・集成材 (材種:)	・リブ加工	・30程度・35程度・45程度																																																																																																																																																																																
・ビニル製ハードレール		・30程度・35程度・45程度																																																																																																																																																																																
・樹脂被覆タイプ		・34φ																																																																																																																																																																																

35 階段滑り止め	材種 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 (20.2.7) 形状 ※タイヤ型(タイヤの材質・ゴム又は合成樹脂等) ・タイヤレス製 端部の形状 フラットエンド ・あり ・なし 寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度 取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法
36 黒板及びホワイトボード	・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ・ほうろう ・鋼製 色 ・緑 ・ホワイトボード ()
37 表示	衝突防止表示 ・設置場所 ※図示による 形状・寸法 (・30) 材質 (・ステンレス製 ・塩ビシート) ・設置しない 誘導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用記号はJIS Z 8210による) ※図示による
38 タラップ	材質及び仕上げ (20.2.12) ・SUS304(スリップ止め加工 ※あり ・なし) ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表 14.2.2による種別 ※C種 ・種)
39 ブラインド	(20.2.14) 形式 操作 操作方法的種類 スラットの材質 スラット幅(mm) カッター・レードの材質 幅・高さ取付箇所 ・横形 ・手動 ※ギヤ式 ・コード式 ・電動 ※アルミニウム合金製 G ※25 ※鋼製 ・図示 ・電動 ・縦形 ・手動 ※2本操作コード式 ・7&8スラット ・80 ※7&8ミウM 合金製 ・図示 ・1本操作コード式 ・4&5スラット ・100 縦型ブラインドのスラットの材質 アルミスラット 焼付け塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防災性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 G とする 操作方法 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 (20.2.15) 幅、高さ、取付箇所 ・図示 材質 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 品質等 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による スクリーンの仕様 消防法で定める防災性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする
40 ロールスクリーン	(20.2.16) 形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付け箇所 備考 ・シングル・片引き ・手引き ・つまみひだ ・ダブル・引分け ・ひも引き ・箱ひだ、片ひだ ・電動 ・アーンひだ 生地の仕様 消防法で定める防災性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、G とする 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上
41 カーテン	(20.2.16) 材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材 (20.2.16) ・ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形
42 カーテンレール	清幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材種 ・集材材(仕上げ) ・アルミニウム製 押し出し型材(市販品) 種別(標準仕様書表14.2.1) ・B0-1種 ・B0-2種 色合い 標準色() ・特注色() ・鋼製(仕上げ)
43 ブラインドボックス及びカーテンボックス	材質 寸法 形式 備考 ・アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・縦線タイプ ・ステンレス製 ・600×600 ・密閉形 ・屋内用 ・目地タイプ ・鋼製 ・気密形
44 天井点検口	材質 寸法 形式 備考 ・アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・縦線タイプ ・ステンレス製 ・600×600 ・密閉形 ・屋内用 ・目地タイプ ・鋼製 ・気密形
45 床点検口	材質 寸法 形式 備考 ・アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・縦線タイプ ・ステンレス製 ・600×600 ・密閉形 ・屋内用 ・目地タイプ ・鋼製 ・気密形
46 くつふきマット	材質 受け枠 備考 ・塩化ビニル又はゴム製 ・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金製 ・硬質アルミニウム合金 ・ステンレス鋼(SUS304)製
47 流し台ユニット	材質 寸法(mm) 備考 W D H ・流し台 ・1200 ・550 ・800 市販品 ・1500 ・600 ・850 トラップ付き ・1800 ・650 天板ステンレス製 ・コンロ台 ・600 ・550 ・620 市販品 ・600 ・600 天板ステンレス製 ・650 ・つり戸棚 ・1200 ・450 ・500 市販品 ・900 ・700 ・水切り ・1200 ・— ・— 市販品 ・900 ・600
48 鋼製架及び物品棚	品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 構成材は、JIS A 4420の8 により試験を行ったとき、表1の規定による。 ※図示 形状 種類 規格等 JIS による種類 ・鋼製架架 JIS S 1039の規格による ・1種 ・2種 ・3種 ・鋼製物品棚 ・4種 ・5種 ・6種

49 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り
50 洗面カウンター	材種 ・メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) ・人工大理石 奥行き(mm) ・約450 ・約600
51 防煙垂れ壁	・固定式 材質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備考 ※納入り磨板ガラス ※6.8 ※500 アルミ製砕付き ・納入り磨板ガラス ・可動式 種類 材質 高さ(mm) 備考 ・垂直降下式(巻取り型) ※不燃布(不燃認定品) ※500 ガイドレール ・800 ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型) ・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※500 表面仕上げ ・800 ※天井張り
52 収納家具	降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型) 材質、形状、寸法 ※図示 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
7 塗装改修工事	① 材料 ② 下地調整 ③ 素地ごしらえ ④ 錆止め塗料塗り ⑤ 塗装 G [7.1.3] 屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [7.2.1~7] 塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 [7.3.2~7] 下地調整の種類 塗替え [7.4.2,3] 錆止め塗料塗りの種別 [7.5.2~7.12.2] 塗装の種類 塗装面 塗装面 塗替え 新規

8 耐震改修工事	特記仕様書(改修その7~8)による
9 環境配慮改修工事	① 石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 [9.1.1] 適用規格 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 ※ ※ 測定1 処理作業前 処理作業室内 (処理作業室ごと) ※ ※ 測定2 施工区画周辺又は敷地境界 ※各2又は3点()点 ※ ※ 測定3 処理作業室内 ※各2点()点 ※ ※ 測定4 仕上り作業入口 ※各1点()点 ※ ※ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の出口吹出し位置 1m/s以下の位置 ※ ※ 測定6 処理作業室内の場合 ※各1点()点 ※ ※ 測定7 施工区画周辺又は敷地境界 ※各2点(※A3は各1点) ※ ※ 測定8 処理作業後(隔離シート撤去前) 施工区画周辺又は敷地境界 ()点 ※ ※ 測定9 処理作業後(シート撤去後) 処理作業室内 ()点 ※ ※ 測定10 去後1週間以降 施工区画周辺又は敷地境界 (4)点 さいたま市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。 測定方法 ・自動測定器による測定 測定4.5 ※A1/A2/A3/A4/A5/A6/A7/A8/A9/A10/A11/A12/A13/A14/A15/A16/A17/A18/A19/A20/A21/A22/A23/A24/A25/A26/A27/A28/A29/A30/A31/A32/A33/A34/A35/A36/A37/A38/A39/A40/A41/A42/A43/A44/A45/A46/A47/A48/A49/A50/A51/A52/A53/A54/A55/A56/A57/A58/A59/A60/A61/A62/A63/A64/A65/A66/A67/A68/A69/A70/A71/A72/A73/A74/A75/A76/A77/A78/A79/A80/A81/A82/A83/A84/A85/A86/A87/A88/A89/A90/A91/A92/A93/A94/A95/A96/A97/A98/A99/A100/A101/A102/A103/A104/A105/A106/A107/A108/A109/A110/A111/A112/A113/A114/A115/A116/A117/A118/A119/A120/A121/A122/A123/A124/A125/A126/A127/A128/A129/A130/A131/A132/A133/A134/A135/A136/A137/A138/A139/A140/A141/A142/A143/A144/A145/A146/A147/A148/A149/A150/A151/A152/A153/A154/A155/A156/A157/A158/A159/A160/A161/A162/A163/A164/A165/A166/A167/A168/A169/A170/A171/A172/A173/A174/A175/A176/A177/A178/A179/A180/A181/A182/A183/A184/A185/A186/A187/A188/A189/A190/A191/A192/A193/A194/A195/A196/A197/A198/A199/A200/A201/A202/A203/A204/A205/A206/A207/A208/A209/A210/A211/A212/A213/A214/A215/A216/A217/A218/A219/A220/A221/A222/A223/A224/A225/A226/A227/A228/A229/A230/A231/A232/A233/A234/A235/A236/A237/A238/A239/A240/A241/A242/A243/A244/A245/A246/A247/A248/A249/A250/A251/A252/A253/A254/A255/A256/A257/A258/A259/A260/A261/A262/A263/A264/A265/A266/A267/A268/A269/A270/A271/A272/A273/A274/A275/A276/A277/A278/A279/A280/A281/A282/A283/A284/A285/A286/A287/A288/A289/A290/A291/A292/A293/A294/A295/A296/A297/A298/A299/A300/A301/A302/A303/A304/A305/A306/A307/A308/A309/A310/A311/A312/A313/A314/A315/A316/A317/A318/A319/A320/A321/A322/A323/A324/A325/A326/A327/A328/A329/A330/A331/A332/A333/A334/A335/A336/A337/A338/A339/A340/A341/A342/A343/A344/A345/A346/A347/A348/A349/A350/A351/A352/A353/A354/A355/A356/A357/A358/A359/A360/A361/A362/A363/A364/A365/A366/A367/A368/A369/A370/A371/A372/A373/A374/A375/A376/A377/A378/A379/A380/A381/A382/A383/A384/A385/A386/A387/A388/A389/A390/A391/A392/A393/A394/A395/A396/A397/A398/A399/A400/A401/A402/A403/A404/A405/A406/A407/A408/A409/A410/A411/A412/A413/A414/A415/A416/A417/A418/A419/A420/A421/A422/A423/A424/A425/A426/A427/A428/A429/A430/A431/A432/A433/A434/A435/A436/A437/A438/A439/A440/A441/A442/A443/A444/A445/A446/A447/A448/A449/A450/A451/A452/A453/A454/A455/A456/A457/A458/A459/A460/A461/A462/A463/A464/A465/A466/A467/A468/A469/A470/A471/A472/A473/A474/A475/A476/A477/A478/A479/A480/A481/A482/A483/A484/A485/A486/A487/A488/A489/A490/A491/A492/A493/A494/A495/A496/A497/A498/A499/A500/A501/A502/A503/A504/A505/A506/A507/A508/A509/A510/A511/A512/A513/A514/A515/A516/A517/A518/A519/A520/A521/A522/A523/A524/A525/A526/A527/A528/A529/A530/A531/A532/A533/A534/A535/A536/A537/A538/A539/A540/A541/A542/A543/A544/A545/A546/A547/A548/A549/A550/A551/A552/A553/A554/A555/A556/A557/A558/A559/A560/A561/A562/A563/A564/A565/A566/A567/A568/A569/A570/A571/A572/A573/A574/A575/A576/A577/A578/A579/A580/A581/A582/A583/A584/A585/A586/A587/A588/A589/A590/A591/A592/A593/A594/A595/A596/A597/A598/A599/A600/A601/A602/A603/A604/A605/A606/A607/A608/A609/A610/A611/A612/A613/A614/A615/A616/A617/A618/A619/A620/A621/A622/A623/A624/A625/A626/A627/A628/A629/A630/A631/A632/A633/A634/A635/A636/A637/A638/A639/A640/A641/A642/A643/A644/A645/A646/A647/A648/A649/A650/A651/A652/A653/A654/A655/A656/A657/A658/A659/A660/A661/A662/A663/A664/A665/A666/A667/A668/A669/A670/A671/A672/A673/A674/A675/A676/A677/A678/A679/A680/A681/A682/A683/A684/A685/A686/A687/A688/A689/A690/A691/A692/A693/A694/A695/A696/A697/A698/A699/A700/A701/A702/A703/A704/A705/A706/A707/A708/A709/A710/A711/A712/A713/A714/A715/A716/A717/A718/A719/A720/A721/A722/A723/A724/A725/A726/A727/A728/A729/A730/A731/A732/A733/A734/A735/A736/A737/A738/A739/A740/A741/A742/A743/A744/A745/A746/A747/A748/A749/A750/A751/A752/A753/A754/A755/A756/A757/A758/A759/A760/A761/A762/A763/A764/A765/A766/A767/A768/A769/A770/A771/A772/A773/A774/A775/A776/A777/A778/A779/A780/A781/A782/A783/A784/A785/A786/A787/A788/A789/A790/A791/A792/A793/A794/A795/A796/A797/A798/A799/A800/A801/A802/A803/A804/A805/A806/A807/A808/A809/A810/A811/A812/A813/A814/A815/A816/A817/A818/A819/A820/A821/A822/A823/A824/A825/A826/A827/A828/A829/A830/A831/A832/A833/A834/A835/A836/A837/A838/A839/A840/A841/A842/A843/A844/A845/A846/A847/A848/A849/A850/A851/A852/A853/A854/A855/A856/A857/A858/A859/A860/A861/A862/A863/A864/A865/A866/A867/A868/A869/A870/A871/A872/A873/A874/A875/A876/A877/A878/A879/A880/A881/A882/A883/A884/A885/A886/A887/A888/A889/A890/A891/A892/A893/A894/A895/A896/A897/A898/A899/A900/A901/A902/A903/A904/A905/A906/A907/A908/A909/A910/A911/A912/A913/A914/A915/A916/A917/A918/A919/A920/A921/A922/A923/A924/A925/A926/A927/A928/A929/A930/A931/A932/A933/A934/A935/A936/A937/A938/A939/A940/A941/A942/A943/A944/A945/A946/A947/A948/A949/A950/A951/A952/A953/A954/A955/A956/A957/A958/A959/A960/A961/A962/A963/A964/A965/A966/A967/A968/A969/A970/A971/A972/A973/A974/A975/A976/A977/A978/A979/A980/A981/A982/A983/A984/A985/A986/A987/A988/A989/A990/A991/A992/A993/A994/A995/A996/A997/A998/A999/A1000/A1001/A1002/A1003/A1004/A1005/A1006/A1007/A1008/A1009/A1010/A1011/A1012/A1013/A1014/A1015/A1016/A1017/A1018/A1019/A1020/A1021/A1022/A1023/A1024/A1025/A1026/A1027/A1028/A1029/A1030/A1031/A1032/A1033/A1034/A1035/A1036/A1037/A1038/A1039/A1040/A1041/A1042/A1043/A1044/A1045/A1046/A1047/A1048/A1049/A1050/A1051/A1052/A1053/A1054/A1055/A1056/A1057/A1058/A1059/A1060/A1061/A1062/A1063/A1064/A1065/A1066/A1067/A1068/A1069/A1070/A1071/A1072/A1073/A1074/A1075/A1076/A1077/A1078/A1079/A1080/A1081/A1082/A1083/A1084/A1085/A1086/A1087/A1088/A1089/A1090/A1091/A1092/A1093/A1094/A1095/A1096/A1097/A1098/A1099/A1100/A1101/A1102/A1103/A1104/A1105/A1106/A1107/A1108/A1109/A1110/A1111/A1112/A1113/A1114/A1115/A1116/A1117/A1118/A1119/A1120/A1121/A1122/A1123/A1124/A1125/A1126/A1127/A1128/A1129/A1130/A1131/A1132/A1133/A1134/A1135/A1136/A1137/A1138/A1139/A1140/A1141/A1142/A1143/A1144/A1145/A1146/A1147/A1148/A1149/A1150/A1151/A1152/A1153/A1154/A1155/A1156/A1157/A1158/A1159/A1160/A1161/A1162/A1163/A1164/A1165/A1166/A1167/A1168/A1169/A1170/A1171/A1172/A1173/A1174/A1175/A1176/A1177/A1178/A1179/A1180/A1181/A1182/A1183/A1184/A1185/A1186/A1187/A1188/A1189/A1190/A1191/A1192/A1193/A1194/A1195/A1196/A1197/A1198/A1199/A1200/A1201/A1202/A1203/A1204/A1205/A1206/A1207/A1208/A1209/A1210/A1211/A1212/A1213/A1214/A1215/A1216/A1217/A1218/A1219/A1220/A1221/A1222/A1223/A1224/A1225/A1226/A1227/A1228/A1229/A1230/A1231/A1232/A1233/A1234/A1235/A1236/A1237/A1238/A1239/A1240/A1241/A1242/A1243/A1244/A1245/A1246/A1247/A1248/A1249/A1250/A1251/A1252/A1253/A1254/A1255/A1256/A1257/A1258/A1259/A1260/A1261/A1262/A1263/A1264/A1265/A1266/A1267/A1268/A1269/A1270/A1271/A1272/A1273/A1274/A1275/A1276/A1277/A1278/A1279/A1280/A1281/A1282/A1283/A1284/A1285/A1286/A1287/A1288/A1289/A1290/A1291/A1292/A1293/A1294/A1295/A1296/A1297/A1298/A1299/A1300/A1301/A1302/A1303/A1304/A1305/A1306/A1307/A1308/A1309/A1310/A1311/A1312/A1313/A1314/A1315/A1316/A1317/A1318/A1319/A1320/A1321/A1322/A1323/A1324/A1325/A1326/A1327/A1328/A1329/A1330/A1331/A1332/A1333/A1334/A1335/A1336/A1337/A1338/A1339/A1340/A1341/A1342/A1343/A1344/A1345/A1346/A1347/A1348/A1349/A1350/A1351/A1352/A1353/A1354/A1355/A1356/A1357/A1358/A1359/A1360/A1361/A1362/A1363/A1364/A1365/A1366/A1367/A1368/A1369/A1370/A1371/A1372/A1373/A1374/A1375/A1376/A1377/A1378/A1379/A1380/A1381/A1382/A1383/A1384/A1385/A1386/A1387/A1388/A1389/A1390/A1391/A1392/A1393/A1394/A1395/A1396/A1397/A1398/A1399/A1400/A1401/A1402/A1403/A1404/A1405/A1406/A1407/A1408/A1409/A1410/A1411/A1412/A1413/A1414/A1415/A1416/A1417/A1418/A1419/A1420/A1421/A1422/A1423/A1424/A1425/A1426/A1427/A1428/A1429/A1430/A1431/A1432/A1433/A1434/A1435/A1436/A1437/A1438/A1439/A1440/A1441/A1442/A1443/A1444/A1445/A1446/A1447/A1448/A1449/A1450/A1451/A1452/A1453/A1454/A1455/A1456/A1457/A1458/A1459/A1460/A1461/A1462/A1463/A1464/A1465/A1466/A1467/A1468/A1469/A1470/A1471/A1472/A1473/A1474/A1475/A1476/A1477/A1478/A1479/A1480/A1481/A1482/A1483/A1484/A1485/A1486/A1487/A1488/A1489/A1490/A1491/A1492/A1493/A1494/A1495/A1496/A1497/A1498/A1499/A1500/A1501/A1502/A1503/A1504/A1505/A1506/A1507/A1508/A1509/A1510/A1511/A1512/A1513/A1514/A1515/A1516/A1517/A1518/A1519/A1520/A1521/A1522/A1523/A1524/A1525/A1526/A1527/A1528/A1529/A1530/A1531/A1532/A1533/A1534/A1535/A1536/A1537/A1538/A1539/A1540/A1541/A1542/A1543/A1544/A1545/A1546/A1547/A1548/A1549/A1550/A1551/A1552/A1553/A1554/A1555/A1556/A1557/A1558/A1559/A1560/A1561/A1562/A1563/A1564/A1565/A1566/A1567/A1568/A1569/A1570/A1571/A1572/A1573/A1574/A1575/A1576/A1577/A1578/A1579/A1580/A1581/A1582/A1583/A1584/A1585/A1586/A1587/A1588/A1589/A1590/A1591/A1592/A1593/A1594/A1595/A1596/A1597/A1598/A1599/A1600/A1601/A1602/A1603/A1604/A1605/A1606/A1607/A1608/A1609/A1610/A1611/A1612/A1613/A1614/A1615/A1616/A1617/A1618/A1619/A1620/A1621/A1622/A1623/A1624/A1625/A1626/A1627/A1628/A1629/A1630/A1631/A1632/A1633/A1634/A1635/A1636/A1637/A1638/A1639/A1640/A1641/A1642/A1643/A1644/A1645/A1646/A1647/A1648/A1649/A1650/A1651/A1652/A1653/A1654/A1655/A1656/A1657/A1658/A1659/A1660/A1661/A1662/A1663/A1664/A1665/A1666/A1667/A1668/A1669/A1670/A1671/A1672/A1673/A1674/A1675/A1676/A1677/A1678/A1679/A1680/A1681/A1682/A1683/A1684/A1685/A1686/A1687/A1688/A1689/A1690/A1691/A1692/A1693/A1694/A1695/A1696/A1697/A1698/A1699/A1700/A1701/A1702/A1703/A1704/A1705/A1706/A1707/A1708/A1709/A1710/A1711/A1712/A1713/A1714/A1715/A1716/A1717/A1718/A1719/A1720/A1721/A1722/A1723/A1724/A1725/A1726/A1727/A1728/A1729/A1730/A1731/A1732/A1733/A1734/A1735/A1736/A1737/A1738/A1739/A1740/A1741/A1742/A1743/A1744/A1745/A1746/A1747/A1748/A1749/A1750/A1751/A1752/A1753/A1754/A1755/A1756/A1757/A1758/A1759/A1760/A1761/A1762/A1763/A1764/A1765/A1766/A1767/A1768/A1769/A1770/A1771/A1772/A1773/A1774/A1775/A1776/A1777/A1778/A1779/A1780/A1781/A1782/A1783/A1784/A1785/A1786/A1787/A1788/A1789/A1790/A1791/A1792/A1793/A1794/A1795/A1796/A1797/A1798/A1799/A1800/A1801/A1802/A1803/A1804/A1805/A1806/A1807/A1808/A1809/A1810/A1811/A1812/A1813/A1814/A1815/A1816/A1817/A1818/A1819/A1820/A1821/A1822/A1823/A1824/A1825/A1826/A1827/A1828/A1829/A1830/A1831/A1832/A1833/A1834/A1835/A1836/A1837/A1838/A1839/A1840/A1841/A1842/A1843/A1844/A1845/A1846/A1847/A1848/A1849/A1850/A1851/A1852/A1853/A1854/A1855/A1856/A1857/A1858/A1859/A1860/A1861/A1862/A1863/A1864/A1865/A1866/A1867/A1868/A1869/A1870/A1871/A1872/A1873/A1874/A1875/A1876/A1877/A1878/A1879/A1880/A1881/A1882/A1883/A1884/A1885/A1886/A1887/A1888/A1889/A1890/A1891/A1892/A1893/A1894/A1895/A1896/A1897/A1898/A1899/A1900/A1901/A1902/A1903/A1904/A1905/A1906/A1907/A1908/A1909/A1910/A1911/A1912/A1913/A1914/A1915/A1916/A1917/A1918/A1919/A1920/A1921/A1922/A1923/A1924/A1925/A1926/A1927/A1928/A1929/A1930/A1931/A1932/A1933/A1934/A1935/A1936/A1937/A1938/A1939/A1940/A1941/A1942/A1943/A1944/A1945/A1946/A1947/A1948/A1949/A1950/A1951/A1952/A1953/A1954/A1955/A1956/A1957/A1958/A1959/A1960/A1961/A1962/A1963/A1964/A1965/A1966/A1967/A1968/A1969/A1970/A1971/A1972/A1973/A1974/A1975/A1976/A1977/A1978/A1979/A1980/A1981/A1982/A1983/A1984/A1985/A1986/A1987/A1988/A1989/A1990/A1991/A1992/A1993/A1994/A1995/A1996/A1997/A1998/A1999/A2000/A2001/A2002/A2003/A2004/A2005/A2006/A2007/A2008/A2009/A2010/A2011/A2012/A2013/A2014/A2015/A2016/A2017/A2018/A2019/A2020/A2021/A2022/A2023/A2024/A2025/A2026/A2027/A2028/A2029/A2030/A2031/A2032/A2033/A2034/A2035/A2036/A2037/A2038/A2039/A2040/A2041/A2042/A2043/A2044/A2045/A2046/A2047/A2048/A2049/A2050/A2051/A2052/A2053/A2054/A2055/A2056/A2057/A2058/A2059/A2060/A2061/A2062/A2063/A2064/A2065/A2066/A2067/A2068/A2069/A2070/A2071/A2072/A2073/A2074/A2075/A2076/A2077/A2078/A2079/A2080/A2081/A2082/A2083/A2084/A2085/A2086/A2087/A2088/A2089/A2090/A2091/A2092/A2093/A2094/A2095/A2096/A2097/A2098/A2099/A2100/A2101/A2102/A2103/A2104/A2105/A2106/A2107/A2108/A2109/A2110/A2111/A2112/A2113/A2114/A2115/A2116/A2117/A2118/A2119/A2120/A21

10 鉄筋工事	1 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類 種類の記号 呼び径 (mm) 備考 ・SD295 ※D16以下 ・SD345 ※D19以上
	2 溶接金網	形状等 (5.2.2) 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 ・溶接金網 ・鉄筋格子
	3 鉄筋の継手	鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 継手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ・重ね継手 ・ガス圧接 その他の鉄筋() ・重ね継手
	4 鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ (5.3.4) ・図示による () 機械式定着工法 適用箇所 ・図示による () 種類 ・摩擦圧接接合 ・螺合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による
	5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)	鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。 最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5) ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm
	6 各部配筋	※図示による (5.3.7)
	7 ガス圧接	圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 外観試験 ※行う(全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(a)による) ・引張試験 ※標準仕様書5.4.10(4)(b)による 試験方法
	8 機械式継手	適用箇所 (5.5.3.5) ・図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 種類 ・ねじ式鉄筋継手 ・充填方式 ・螺合グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき /※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ・ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置
	9 溶接継手	適用箇所 (5.5.3.5) ・図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 ・図示による () 鉄筋相互のあき ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による ()

11 コンクリート工事	1 コンクリートの種類等 (6.2.1)	施工完了後の溶接部の試験 ・外観試験 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ・ロット ・1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置
	2 セメント	種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 (・1FLより下部(立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ()
	3 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下)
	4 混和材料	・混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による
	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)	打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スランの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()
	6 湿潤養生 (6.7.2)	打継ぎ目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による ()
	7 コンクリートの仕上がり (6.2.5)(6.8.2)	ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による () 打増し厚さ (6.8.1) ・打増し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打増し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による ()
	8 打増し厚さ(打増し仕上げ部) (6.8.1)	合板せき板を用いるコンクリートの打増し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) 種別 適用箇所 ・A種 ※図示による () ・B種 ※図示による () ・C種 ※図示による () コンクリートの仕上りの平たんさ 種別/ 適用箇所 ・a種 ※図示による () ・b種 ※図示による () ・c種 ※図示による ()
	9 型枠 (6.8.2)	打増し厚さ (6.8.1) 打増し厚さ ・打増し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打増し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による ()
	10 軽量コンクリート (6.10.1.2)	せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ・合板(※12mm) [G] コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による () ・M/C工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による () 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による () スリーブの材種・規格等 ・図示による () 存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合(※図示による ())

11 コンクリート	11 寒中コンクリート (6.11.1.2)	適用期間(月日～月日) (6.11.1.2) 構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合 ・図示による ()、S=()
	12 暑中コンクリート (6.12.2)	適用期間(月日～月日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm ² ・図示による ()、S=()
	13 マスコンクリート (6.13.1.2)	適用箇所 (6.13.1.2) ・図示による () セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中庸熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり (・標準仕様書6.13.2(2)(7)による、標準仕様書6.13.2(2)(4)による)
	14 無筋コンクリート (6.14.1)	スランプ (6.14.1) ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書表6.13.1による コンクリートの種類 (6.14.1) ・普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランプ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による ()
	15 コンクリートの単位水量測定	実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込み前に持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、177法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

8 耐震 改修 工事	(一般事項) 1 適用範囲	<p>・改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事 ・改修標準仕様書における第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分</p> <p>工事内容 ・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・鉄骨プレースの設置工事 ・柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き工法) ・柱補強工事(連続繊維補強工法) ・耐震スリット新設工事 ・免震改修工事 ・制振改修工事 ・土工事及び地業工事</p>	2 セメント	<p>種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所()</p>	5 普通ボルト	<p>ボルト及びナットの材料 (7.2.3) ・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による ボルトの規格は JIS B 1180 とする。 (ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.8又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナット-0とし、材料は鋼とする。)</p> <p>ボルトのねじの呼び ・ 図示による () 座金 ※ JIS B 1256 による () 戻り止め ※二重ナット ()</p>	18 アンカーボルト等の設置 (7.10.3)	<p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・ 図示による () 構造用アンカープレームの形状及び寸法 ・ 図示による () 建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの保持及び埋込み工法(表7.10.1) 各種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類(表7.10.2) 厚さ 種類 ※A種 ・B種</p>																																																																					
	2 既存部分の処理等	<p>既存構造体の撤去 [8.21.2][8.22.2][8.24.4][8.25.2] 撤去範囲 ・ 図示による () はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・ 図示による () [8.21.3][8.22.3][8.23.3][8.26.6][8.27.3]</p> <p>既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲 ・ 既存柱、梁面 ・ 打継ぎ面の15~30%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける ・ 既存壁 ・ 打継ぎ面の10~15%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける</p>	3 骨材	<p>アルカリシリカ反応性による区分 [8.2.5] ※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³以下)</p>	6 アンカーボルト	<p>・ 構造用アンカーボルト (JIS B 1220) (7.2.4)(7.10.3) 種類 ・ ABR400 ・ ABR490 ・ 建方用アンカーボルト (JIS G 3101) 種類 ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書表7.2.3による</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2] ・ 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔)</p>	19 溶融亜鉛めっき (基礎、主要構造部及びその他構造部上主要部分に限る。)	<p>亜鉛めっきの種類 材料 適用部位 ・ A種 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板 ・ B種 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 ・ C種 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</p> <p>外観検査 ※行う ・行わない</p>																																																																					
	3 撤去工事の施工内容	<p>※耐震壁等の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構面内既存仕上げ・躯体の撤去と土間等の一部を撤去する。 ※増設部材と接する既存コンクリート面は充分に目荒らしを行う。 ※塗り仕上げ又はこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。なお、躯体を撤去する場合は、両面からカッター切込みを付けてから撤去する。 ※撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。</p>	4 撤去工事における注意事項	<p>※コンクリート及び塗り仕上げを部分的に撤去する場合は、既存部分の仕上げに損傷を与えないよう充分注意する。特に塗り仕上げ、増設部材設置構面内の壁コンクリート及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護を図る。 ※増設する部材に接する既存コンクリートは、充分に目荒らしを行い増設部材との一体化を図る。なお、目荒らしは、深さ5mm程度の凹凸で全体を荒らすようにする。はつり工事は構造全体に影響を与えない方法で丁寧に行うこと。(電気ビックを用いる等) ※コンクリート打設前に粉塵、はつり粉等を清掃し、数日前から充分に水湿めを行う。 ※既存の躯体状態の確認及び補修 ・ 石膏ボードについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に従い、原形のまま運搬し管理型最終処分場へ処分すること。 ・ 石綿スレート、フレキシブルボード等石綿製品の撤去にあたっては、関係法令に従い、部材が破損しないようにはずすで行い、原形のまま運搬処分すること。 ・ 以下の天井材の撤去にあたっては、ボードが破損しないように、手はずで行うこと。 ・ 床：ビニル系タイルの撤去にあたっては、関係法令に従い部材が破損しないように温湿後、手はずで行い、原形のまま飛散防止をし運搬処分すること。</p>	7 構造体コンクリートの仕上り	<p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4][8.2.7]</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ a種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ b種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ c種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table>	種 別	適用箇所	・ A種	※図示による ()	・ B種	※図示による ()	・ C種	※図示による ()	種 別	適用箇所	・ a種	※図示による ()	・ b種	※図示による ()	・ c種	※図示による ()	7 溶接材料	<p>[8.2.10](1)、(2)による [8.2.10](1)、(2)以外の溶接材料 [8.2.10] 材料及び使用箇所 ・ 図示による ()</p>	2 あと施工アンカー工事	<p>仕様等 [8.2.4] ・ 金属系アンカー (耐震補強用) ・ 引張耐力 ※図示による () ・ セン断耐力 ※図示による () ・ アンカー本体の径及び埋込み長さ ・ 図示による () ・ セット方式 ※本体打込み式改良型 ・ 接合部の種類、径、長さ ・ 図示による () ・ 接着系アンカー ・ 引張耐力 ※図示による () ・ セン断耐力 ※図示による () ・ アンカーの種類 ※カプセル方式回転・打撃式 ・ カプセル方式打込み型 ・ 接着剤の品質 ※有機系 ・ 無機系 ・ アンカー筋の径及び埋込み深さ ・ 図示による (「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項)</p> <p>性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による ()</p>																																																			
	種 別	適用箇所																																																																											
・ A種	※図示による ()																																																																												
・ B種	※図示による ()																																																																												
・ C種	※図示による ()																																																																												
種 別	適用箇所																																																																												
・ a種	※図示による ()																																																																												
・ b種	※図示による ()																																																																												
・ c種	※図示による ()																																																																												
1 鉄筋	<p>種類 [8.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ SD295</td> <td>※D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び径(mm)	備 考	・ SD295	※D16以下		・ SD345	※D19以上		・			・			・			2 溶接金網	<p>形状等 [8.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・ 溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 別	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位	・ 溶接金網				・ 鉄筋格子				11 溶接作業者の技量付加試験	<p>試験の要領 [8.15.3] ・ 図示による ()</p>	2 あと施工アンカー工事	<p>穿孔機械(金属検知により電源供給が停止出来る付属装置等を使用する) [8.12.4.7] ※ハンマードリル ・ コアドリル 穿孔前の埋込み配管等の探査方法 ・ JASS 11.10.0に規定された非破壊検査を行う ・ 鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う 探査方式 ・ 電磁波レーダ法(3D表示対応型) ・ 電磁波レーダ法又は電磁波誘導法 鉄筋探知器の性能 ・ OD管及び非金属類の探査が可能である機器とする ・ はつり出しによる</p>																																								
種類の記号	呼び径(mm)	備 考																																																																											
・ SD295	※D16以下																																																																												
・ SD345	※D19以上																																																																												
・																																																																													
・																																																																													
・																																																																													
種 別	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位																																																																										
・ 溶接金網																																																																													
・ 鉄筋格子																																																																													
2 溶接金網	<p>形状等 [8.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・ 溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 別	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位	・ 溶接金網				・ 鉄筋格子				12 溶接接合	<p>開先の形状 [8.15.4] ・ 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準)</p> <p>鋼製エンドタブの切断する部分 [8.15.7] 切断する場所 ・ 図示による () 切断範囲 ・ 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から5mm以下残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。</p> <p>切断面の仕上げ [8.15.7](1)(a)(b)による スカロップの形状 ・ 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4(4)改良型スカロップ)</p>	1 グラウト工事	<p>1 柱底均しモルタル及びグラウト材 [8.2.12] ・ 柱底均しモルタル ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び割合 ※[8.2.12](1)(7)から(1)による ・ グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 種類 ・ プレミックス形又は現場調合形とする セメント JIS R 5210(ポルトランドセメント)に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 製造所の仕様による。 混和材 セメント系膨張剤(酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミニウム等)とする。 配合比(質量比) (セメント+混和材) : (砂) 製造所の仕様による</p> <p>無収縮グラウト材の品質及び試験方法 J-ローによる落下時間 コンシステンシー 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒 ブリーディング率 練り混ぜ2時間後のブリーディング率 : 2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 : 1時間以上 最終時間 : 10時間以内 膨張収縮 (無収縮性) 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20.0 N/mm² 以上 材齢 28日 40.0 N/mm² 以上 付着強度 材齢 28日 2.5 N/mm² 以上 塩化物量 0.30kg/kg 以下</p> <p>試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。 2) プレミックス形と現場調合形と混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 3) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</p>																																																												
種 別	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位																																																																										
・ 溶接金網																																																																													
・ 鉄筋格子																																																																													
3 継手及び定着	<p>継手方法等 [8.3.4][8.4.2~3]</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>継手の方法</th> <th>呼び径(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 柱、梁の主筋</td> <td>・ ガス圧接 ・ 機械式継手</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・ ガス圧接</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td> <td>・ ガス圧接 ・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上記以外()</td> <td>・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>継手位置 図示による (構造関係共通図(配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) ・ 図示による (基礎梁主筋の継手位置 ・ 図5.2 ・ 図5.3 ・ 図5.4) 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ ・ 図示による () 耐力壁の重ね継手の長さ ・ 図示による (構造関係共通図(配筋標準図) 3(1)(7)) ・ 図示による (構造関係共通図(配筋標準図) 表3.1) ・ 図示による () 鉄筋の定着長さ ※図示による ()</p>	部 位	継手の方法	呼び径(mm)	・ 柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手	※D19以上		・ 溶接継手			・ 重ね継手		耐力壁の鉄筋	・ ガス圧接		基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・ ガス圧接 ・ 重ね継手		上記以外()	・ 重ね継手		10 型枠の加工及び組立	<p>シアコネクタをセパレーターとして使用 [8.7.8] 適用箇所 ・ 図示による ()</p>	11 無筋コンクリート	<p>コンクリートの種類 [8.11.1] ・ 普通コンクリート セメントの種類 [8.2.5] ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 () ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・ 図示による () 設計基準強度 ※18 (N/mm²) [8.11.1] スランブ ※15cm又は18cm</p>	12 コンクリートの打込み工法等	<p>コンクリートの打設工法の種類 [8.21.8][8.23.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>補強工事</th> <th>工法の種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 現場打ちコンクリート壁の増設工事</td> <td>・ 工法指定なし ・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による () ・ 全ての増設壁 ・ 図示による () ・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ 柱補強工事</td> <td>・ 工法指定なし ・ 溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td> <td>・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ 圧入工法</td> <td>・ 圧入工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)</td> <td>・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)</td> <td>・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ()</td> </tr> </table>	補強工事	工法の種類	適用箇所	・ 現場打ちコンクリート壁の増設工事	・ 工法指定なし ・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による () ・ 全ての増設壁 ・ 図示による () ・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・ 柱補強工事	・ 工法指定なし ・ 溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ()	・ 圧入工法	・ 圧入工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)	・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ()	・ 工法指定なし	・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)	・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ()	13 入熱、バスの間温度の管理	<p>適用箇所 ・ 図示による ()</p>	14 溶接部の試験	<p>H12報告第1464号第二号に関する外観試験方法等 [8.15.12] ・ [突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル] 3.5.2 受入検査による抜き取り検査② ※抜き取り検査②</p> <p>JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する確認方法等 ・ JASS 6 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。</p> <p>完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 ※全数 ・ 工事現場溶接の場合 ※全数</p>	15 錆止め塗装	<p>塗装の範囲 [8.17.2] 耐火被覆材の接着する面 () 耐火被覆材の接着する面以外 ※[8.17.2](1)(7)~(4)以外の範囲 ・ 図示による () [7.4.3][8.17.4]</p> <p>塗料の種類 ・ 鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ・ [表7.4.1] A種 屋内 ・ [表7.4.1] ()種 ・ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ・ [表7.4.2] ()種 ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ※[表7.4.1] A種 ・ 耐火被覆材の接着する面へ塗装する場合の錆止め塗料 ・ [表7.4.1] ()種 [表7.4.2] ()種</p>	16 耐火被覆	<p>種類、材料、工法等 [8.18.2~8]</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>・ 耐火材吹付け</td> <td>・ 乾式吹付けロウカール ・ 湿式ロウカール ・ 半乾式吹付けロウカール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火板張り</td> <td>・ 繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火材巻付け</td> <td>・ 高断熱ロウカール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ラス張りモルタル塗り</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火塗料</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする</p>	種 別	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロウカール ・ 湿式ロウカール ・ 半乾式吹付けロウカール			・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板			・ 耐火材巻付け	・ 高断熱ロウカール			・ ラス張りモルタル塗り	・			・ 耐火塗料	・			17 建方精度	<p>※JASS6 付則6[鉄骨精度検査基準]付表5[工事現場]による (7.10.2)</p>
部 位	継手の方法	呼び径(mm)																																																																											
・ 柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手	※D19以上																																																																											
	・ 溶接継手																																																																												
	・ 重ね継手																																																																												
耐力壁の鉄筋	・ ガス圧接																																																																												
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・ ガス圧接 ・ 重ね継手																																																																												
上記以外()	・ 重ね継手																																																																												
補強工事	工法の種類	適用箇所																																																																											
・ 現場打ちコンクリート壁の増設工事	・ 工法指定なし ・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による () ・ 全ての増設壁 ・ 図示による () ・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																																																											
・ 柱補強工事	・ 工法指定なし ・ 溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ()																																																																											
・ 圧入工法	・ 圧入工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)	・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ()																																																																											
・ 工法指定なし	・ 流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・ 圧入工法8.21.8(1)(4)、(3)	・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による () ・ 全ての柱補強部分 ・ 図示による ()																																																																											
種 別	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																																										
・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロウカール ・ 湿式ロウカール ・ 半乾式吹付けロウカール																																																																												
・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板																																																																												
・ 耐火材巻付け	・ 高断熱ロウカール																																																																												
・ ラス張りモルタル塗り	・																																																																												
・ 耐火塗料	・																																																																												
1 鉄筋	<p>種類 [8.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ SD295</td> <td>※D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び径(mm)	備 考	・ SD295	※D16以下		・ SD345	※D19以上		・			・			・			1 鉄骨製作工場	<p>鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5] ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の能力のある工場 評価の区分 ※ () グレード ・ 指定しない ・ 監督員の承諾する工場(標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)</p>	2 鉄骨製作工場における施工管理技術者	<p>配置する [8.1.6]</p>	3 鋼材	<p>種類等 [8.2.8]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所(主要な部分)</th> <th>規 格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による ()</td> </tr> </table>	種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規 格			※JIS規格による ()			※JIS規格による ()			※JIS規格による ()	4 高力ボルト	<p>ボルトの種類 [8.2.9] ・ トルシヤ形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト</p> <p>ボルトのねじの呼び ・ 図示による () [8.13.2] ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔)</p> <p>摩擦面の処理方法等 [8.14.2][8.20.5] 溶融亜鉛めっき以外 ※[8.14.2](1)による 溶融亜鉛めっき面 ・ プラスト処理(表面粗度50µm Rz以上) ・ プラスト処理以外の特別な処理方法 ・ 図示による () すべり試験 ・ 行う(※すべり係数試験 ・ すべり耐力試験) 試験の方法等 ・ 図示による ()</p>																																						
種類の記号	呼び径(mm)	備 考																																																																											
・ SD295	※D16以下																																																																												
・ SD345	※D19以上																																																																												
・																																																																													
・																																																																													
・																																																																													
種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規 格																																																																											
		※JIS規格による ()																																																																											
		※JIS規格による ()																																																																											
		※JIS規格による ()																																																																											
1 コンクリートの種類等	<p>コンクリートの種類 [8.1.3、4][8.2.5] ※1類 (JIS A 5308への適合を認められたコンクリート) ・ Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) ※普通コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>気乾単位容積質量(t/m³)</th> <th>スランブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 24</td> <td>2.3程度</td> <td>・ 15又は18</td> <td>・ 18</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※[表8.2.4]による ()</p>	設計基準強度(N/mm ²)	気乾単位容積質量(t/m ³)	スランブ	適用箇所	・ 24	2.3程度	・ 15又は18	・ 18	・				・				・				・				1 鉄骨製作工場	<p>鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5] ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の能力のある工場 評価の区分 ※ () グレード ・ 指定しない ・ 監督員の承諾する工場(標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)</p>	2 鉄骨製作工場における施工管理技術者	<p>配置する [8.1.6]</p>	3 鋼材	<p>種類等 [8.2.8]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所(主要な部分)</th> <th>規 格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による ()</td> </tr> </table>	種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規 格			※JIS規格による ()			※JIS規格による ()			※JIS規格による ()	4 高力ボルト	<p>ボルトの種類 [8.2.9] ・ トルシヤ形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト</p> <p>ボルトのねじの呼び ・ 図示による () [8.13.2] ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔)</p> <p>摩擦面の処理方法等 [8.14.2][8.20.5] 溶融亜鉛めっき以外 ※[8.14.2](1)による 溶融亜鉛めっき面 ・ プラスト処理(表面粗度50µm Rz以上) ・ プラスト処理以外の特別な処理方法 ・ 図示による () すべり試験 ・ 行う(※すべり係数試験 ・ すべり耐力試験) 試験の方法等 ・ 図示による ()</p>																																
設計基準強度(N/mm ²)	気乾単位容積質量(t/m ³)	スランブ	適用箇所																																																																										
・ 24	2.3程度	・ 15又は18	・ 18																																																																										
・																																																																													
・																																																																													
・																																																																													
・																																																																													
種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規 格																																																																											
		※JIS規格による ()																																																																											
		※JIS規格による ()																																																																											
		※JIS規格による ()																																																																											
1 コンクリートの種類等	<p>コンクリートの種類 [8.1.3、4][8.2.5] ※1類 (JIS A 5308への適合を認められたコンクリート) ・ Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) ※普通コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>気乾単位容積質量(t/m³)</th> <th>スランブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 24</td> <td>2.3程度</td> <td>・ 15又は18</td> <td>・ 18</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※[表8.2.4]による ()</p>	設計基準強度(N/mm ²)	気乾単位容積質量(t/m ³)	スランブ	適用箇所	・ 24	2.3程度	・ 15又は18	・ 18	・				・				・				・				1 鉄骨製作工場	<p>鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5] ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の能力のある工場 評価の区分 ※ () グレード ・ 指定しない ・ 監督員の承諾する工場(標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)</p>	2 鉄骨製作工場における施工管理技術者	<p>配置する [8.1.6]</p>	3 鋼材	<p>種類等 [8.2.8]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所(主要な部分)</th> <th>規 格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による ()</td> </tr> </table>	種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規 格			※JIS規格による ()			※JIS規格による ()			※JIS規格による ()	4 高力ボルト	<p>ボルトの種類 [8.2.9] ・ トルシヤ形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト</p> <p>ボルトのねじの呼び ・ 図示による () [8.13.2] ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔)</p> <p>摩擦面の処理方法等 [8.14.2][8.20.5] 溶融亜鉛めっき以外 ※[8.14.2](1)による 溶融亜鉛めっき面 ・ プラスト処理(表面粗度50µm Rz以上) ・ プラスト処理以外の特別な処理方法 ・ 図示による () すべり試験 ・ 行う(※すべり係数試験 ・ すべり耐力試験) 試験の方法等 ・ 図示による ()</p>																																
設計基準強度(N/mm ²)	気乾単位容積質量(t/m ³)	スランブ	適用箇所																																																																										
・ 24	2.3程度	・ 15又は18	・ 18																																																																										
・																																																																													
・																																																																													
・																																																																													
・																																																																													
種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規 格																																																																											
		※JIS規格による ()																																																																											
		※JIS規格による ()																																																																											
		※JIS規格による ()																																																																											

〈免震改修工事〉	・別添の免震工事特記仕様書による								
〈制振改修工事〉	・別添の制振工事特記仕様書による								
〈土工事及び地業工事〉	<p>1 既存杭の撤去等 [8. 28. 2]</p> <ul style="list-style-type: none"> 撤去範囲及び撤去方法 ・ 図示による () 杭頭部の処理 ・ 図示による () 既存杭の補強 ・ 図示による () 健全性の確認試験 ・ 図示による () <p>2 土工事 [8. 28. 3]</p> <ul style="list-style-type: none"> 埋戻し及び盛土の種類 <ul style="list-style-type: none"> A種 適用場所 () B種 適用場所 () C種 適用場所 () 土質 () 受浸場所 () D種 適用場所 () 品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。 六価クロム溶出試験 ・ 行う 建設発生土の処理 ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構内指示の場所に敷均し 鋼矢板等の抜き跡の処理 ※※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる 山留め壁等の存置 ・ 行う (存置範囲 ※図示) <p>3 地業工事 [8. 2. 15][8. 28. 4]</p> <ul style="list-style-type: none"> 杭地業 <ul style="list-style-type: none"> 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) <ul style="list-style-type: none"> 図示による () 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 <ul style="list-style-type: none"> 図示による () 試験杭の位置、本数、寸法、施工方法 <ul style="list-style-type: none"> 図示による () 杭の載荷試験 ・ 適用(鉛直・水平) <ul style="list-style-type: none"> 試験杭(位置、本数、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示) 地盤の載荷試験 ・ 適用(※平板) <ul style="list-style-type: none"> 試験位置、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示 杭の溶接継手 ・ あり(継手の箇所数、材料、工法等 ※図示) <ul style="list-style-type: none"> 技能資格者の技量及び溶接部の確認 ※図示 杭頭の処理等 ・ する(処理方法(切断にともなう補強方法含む)※図示) 記録する施工状況等 ・ 図示による () 砂利地業 [8. 2. 15][8. 28. 4] <ul style="list-style-type: none"> 材料 ・ 再生クラッシュラン ☑ ・ 切込砂利又は切込砕石 施工範囲 ・ 図示による () 厚さ ※60mm 砂地業 [8. 2. 15][8. 28. 4] <ul style="list-style-type: none"> 材料 ・ シルト ・ 有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂 施工範囲 ・ 図示による () 厚さ ※60mm 捨コンクリート地業 [8. 11. 1~3][8. 28. 4] <ul style="list-style-type: none"> 材料 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm² スランプ ※15cm又は18cm 施工範囲 ・ 図示による () 厚さ ※50mm(※平たん仕上げ) 								

特記事項

【アスベスト含有仕上塗材・下地調整材除去工事】

- （1）令和3年3月「厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課/環境省水・大気環境局大気環境課「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（以下マニュアル）により、下記工法の併用工法とする。
 [一般部] (7)集塵装置付き超高压水洗工法(100MPa以上)・同時吸引式(ウォータークリーン工法)
 [狭あい部] (4)(湿式)集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法・同時吸引式(ウォータークリーンSG工法)
 (4)(湿式)集塵装置併用手工具ケレン工法または剥離剤併用手工具ケレン工法
- （2）石綿除去処理工事に際しては、通常の工事と異なる側面があるため、工事の特殊性を十分確認した上で、専門業者で行うこと。ここでいう専門業者とは、建設技術審査証明（(財)日本建築センター）により確立された、「石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術」を取得している業者のことを指す。

（3）本施工は以下の項目を遵守して行うこと。

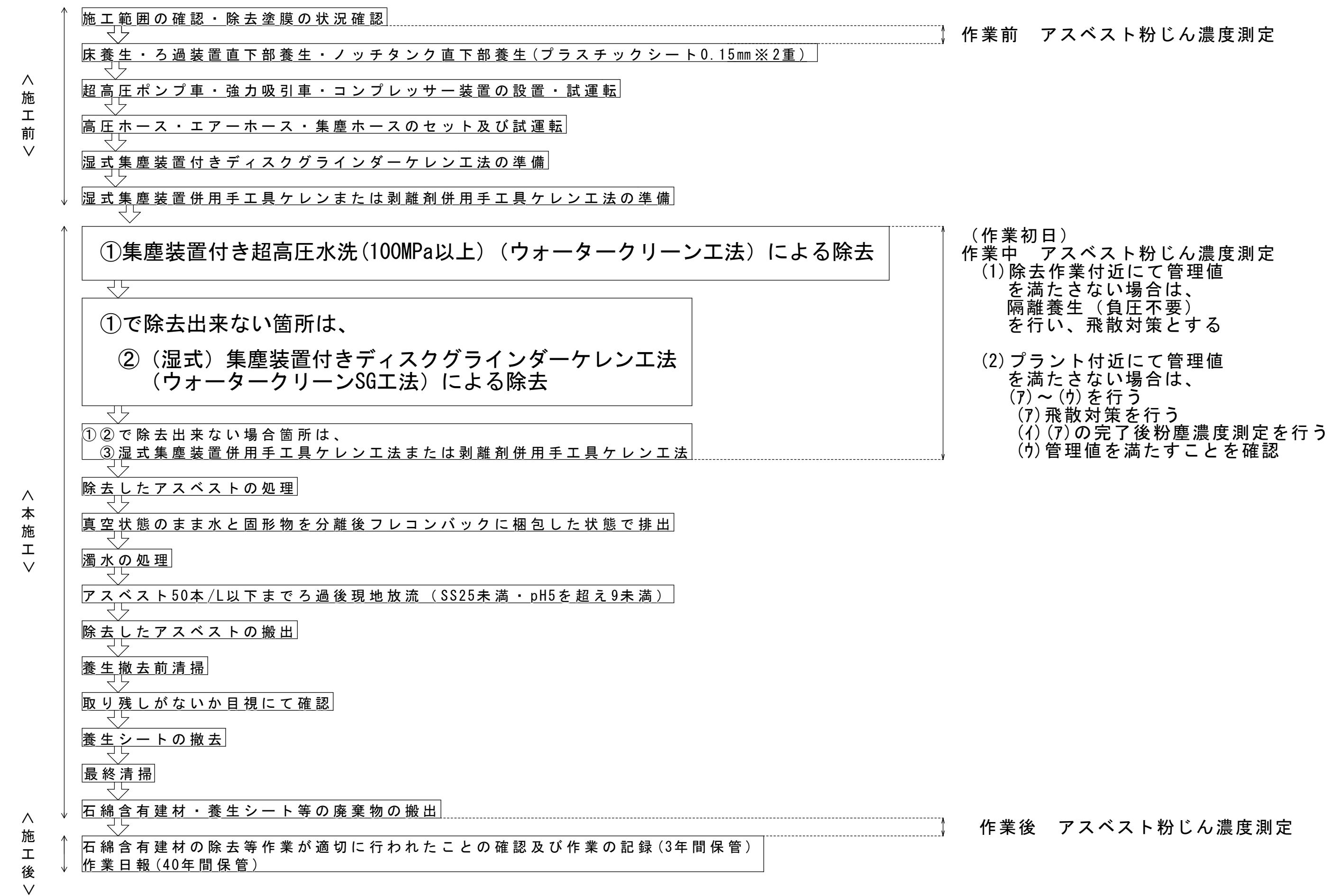
項目	特記仕様	管理方法																					
工事計画	「特定石綿含有建材調査者」の参画を前提とする。																						
吸引機の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 -60～-90kPa 風量 30～40m ³ /分	撮影 臨機に仕様書提出																					
吸引時の排気濾過	ジェットスクラバ方式及びHEPAフィルター	撮影																					
水処理（濁水処理内容）	上澄み水は最終0.2μmフィルターを透過させ以下の値を遵守する。 ・アスベスト含有量 50本/L以下(検出限界値) ・pH pH5を超え9未満 ・浮遊物質質量(SS) 25mg/L未満	(放流前)pH調整器にて確認・撮影 (放流前)簡易透視度計にて確認・撮影																					
アスベスト粉じん濃度測定	速報値で管理値（10本/L以下）を満たしていることを確認する。 本施工時 <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定箇所</th> <th>測定時間</th> </tr> <tr> <td>作業前</td> <td>敷地境界 4方向各1点</td> <td>計4点 240分</td> </tr> <tr> <td>作業中</td> <td>敷地境界 4方向各1点</td> <td>240分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プラント設置付近 1点</td> <td>120分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>除去作業付近 1点</td> <td>計6点 120分</td> </tr> <tr> <td>作業後</td> <td>敷地境界 4方向各1点</td> <td>計4点 240分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合計14点</td> </tr> </table>	測定時期	測定箇所	測定時間	作業前	敷地境界 4方向各1点	計4点 240分	作業中	敷地境界 4方向各1点	240分		プラント設置付近 1点	120分		除去作業付近 1点	計6点 120分	作業後	敷地境界 4方向各1点	計4点 240分			合計14点	第三者機関にて測定
測定時期	測定箇所	測定時間																					
作業前	敷地境界 4方向各1点	計4点 240分																					
作業中	敷地境界 4方向各1点	240分																					
	プラント設置付近 1点	120分																					
	除去作業付近 1点	計6点 120分																					
作業後	敷地境界 4方向各1点	計4点 240分																					
		合計14点																					
廃材処理	(1)除去したアスベスト含有材等を搬出するまでの間現場に保管する場合は、石綿含有産業廃棄物として一定の保管場所を定め、他の建設副産物等と分別して保管する。 (2)一時保管場所はシートで覆うなどの飛散対策を講じ、アスベスト含有材等の保管場所であることを掲示する。 (3)アスベスト含有材等の運搬車及び運搬容器は、アスベスト含有材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。 (4)運搬車の荷台には覆いをかけるなど飛散防止措置を講じる。 (5)除去したアスベスト含有材の処分はマニュアル基準にて適正に最終処分場の一定の場所で埋め立て処分する。	撮影																					
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等		撮影																					

（4）特記仕様に記載された以下の項目は施工完了後報告書として提出すること。

項目	特記仕様	報告方法
吸引時の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 -60～-90kPa 風量 30～40m ³ /分	写真 臨機に仕様書提出
吸引時の排気濾過	ジェットスクラバ方式及びHEPAフィルター	写真
水処理（濁水処理内容）	アスベスト含有量 50本/L以下 pH pH5を超え9未満 浮遊物質質量(SS) 25mg/L未満	第三者機関の報告書 写真および第三者機関の報告書
アスベスト粉じん濃度測定	管理値（10本/L）以下	第三者機関の報告書
廃材処理	(1)飛散防止状況 (2)二重梱包状況	写真 写真
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1)一時保管庫での保管状況 (2)一時保管庫および看板設置状況 (3)石綿含有産業廃棄物搬出状況 (4)石綿含有産業廃棄物シート掛け状況 (5)石綿含有産業廃棄物最終処分場	写真 写真 写真 写真 写真

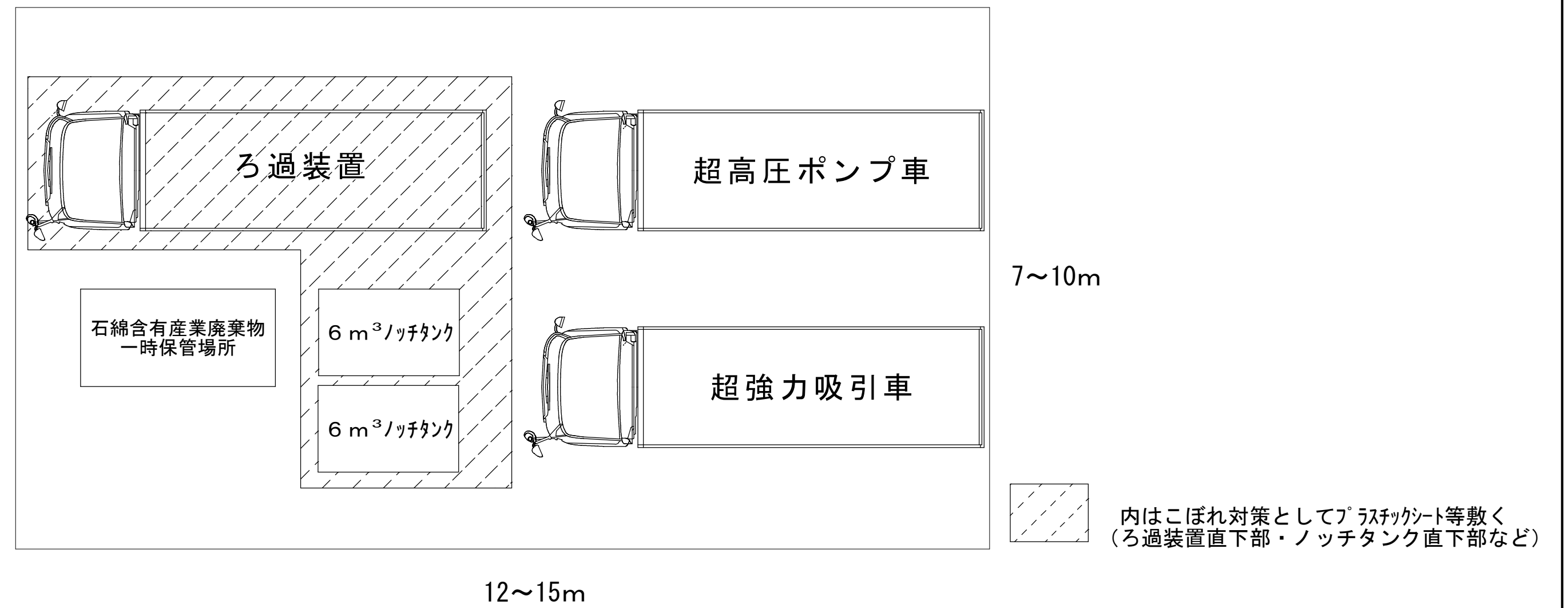
- （5）石綿含有建材の除去等作業が適切に行われたことの確認及び作業の記録
 石綿の取り残しがないこと等の確認・記録の手順として、マニュアルの4.15(p.225)に従って行う。
 ・4.15.1 作業が適切に行われたことの確認の流れ
 ・4.15.2 作業の記録、確認及び記録の保存
 ・4.15.3 石綿の取り残しがないこと等の確認方法
 ・4.15.5 発注者への報告

【アスベスト含有仕上塗材除去工事フロー図】



【同時吸引式プラント設置例（平面図）】

- (1) 機材設置場所から除去面の最長距離は100m程度。
 (2) 機材設置位置は縦に1列縦列も可能。

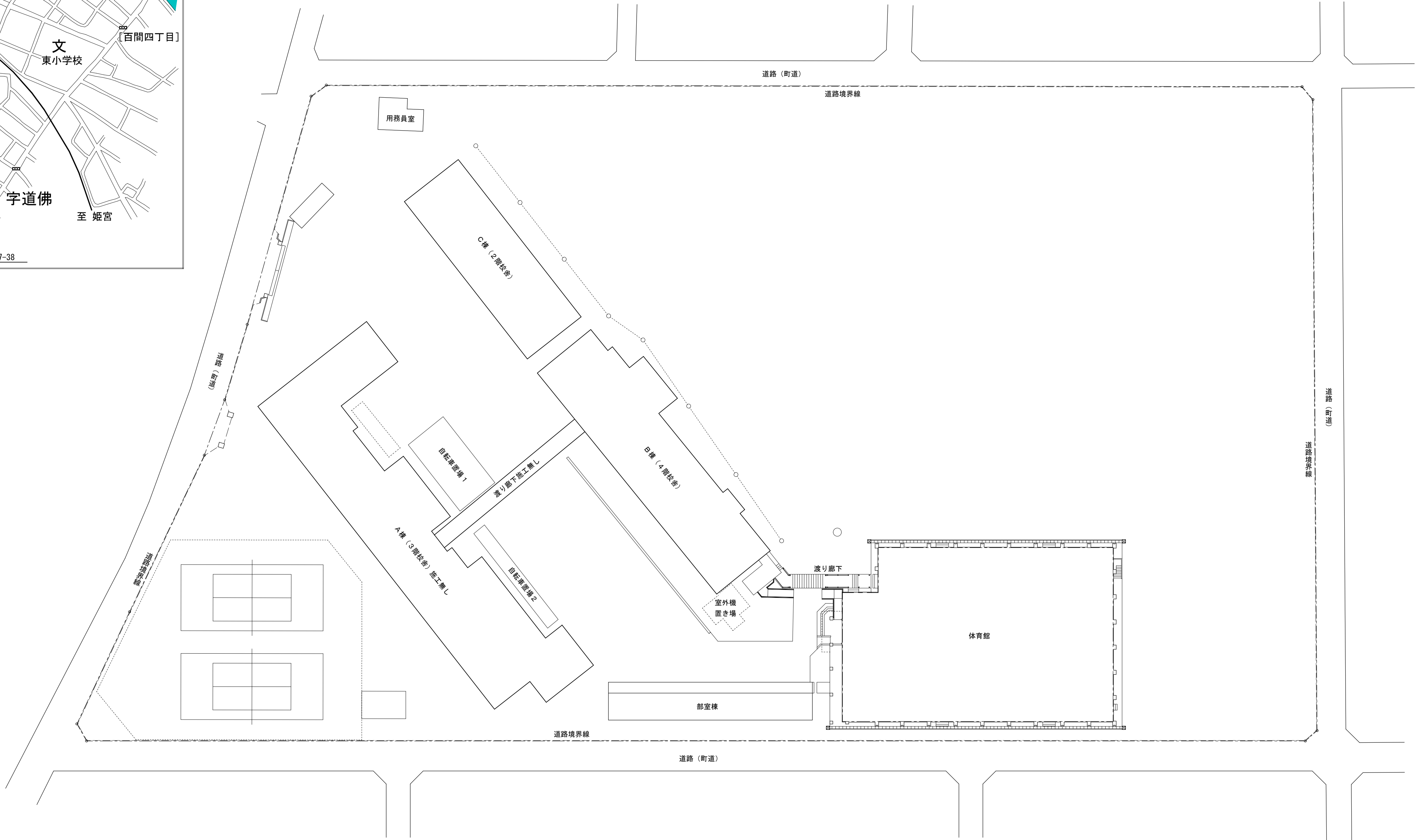


案内図

配置図



案内図



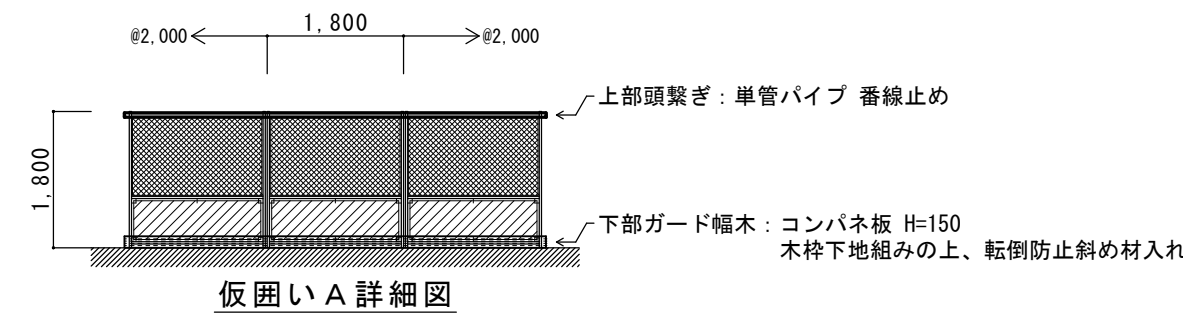
配置図 S=1/400

百間中学校

百間中学校B・C棟外壁改修工事		案内図・配置図	
SCALE A1 1/400		宮代町教育推進課	A-10

配置図

凡例	設計数量	仕様
-----	206.3	仮囲いA：ガードフェンス H=1.8m + 下部ガード幅木付け
- - - - -	8.0	仮囲いB：A型バリケード
■ ■ ■ ■ ■	1.0	仮設ゲート：キャスターゲート W6.0m x H2.0m
□ □ □ □ □	430	車路部分仮設鉄板敷き：1.524 x 6.096 x 22mm
▨ ▨ ▨ ▨ ▨	610	工事完了後、校庭整地
.....		外部足場 ※参考位置



- ・外壁改修のための樹木撤去、剪定
注記) 樹木撤去は以下の数量を参考数量とする。
- ⑦ 剪定: 6m級中木 x 2 4m中木 x 2
- ⑧ 剪定: 4m級中木 x 1
- ⑨ 剪定: 4m級中木 x 3
- ⑩ 剪定: 6m級中木 x 1 4m中木 x 3

※1 仮設事務所位置、規模は参考位置とする。

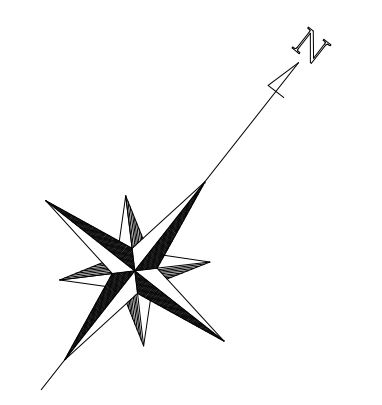
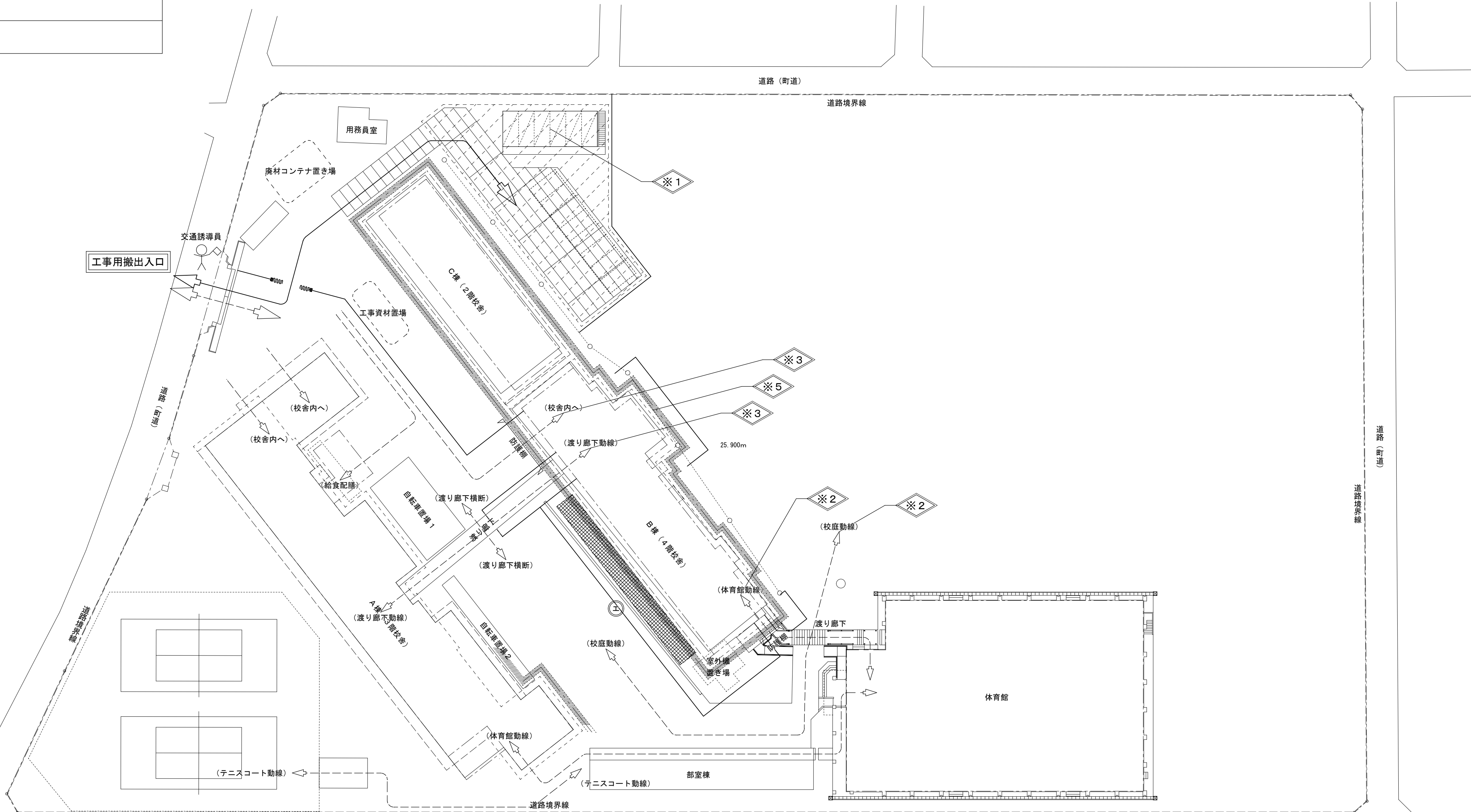
※2 外部動線: 体育館、テニスコート、校庭への生徒移動経路を確保する事

※3 内部動線: 校舎内への動線経路を確保する事

※4 外来動線: 学校給食配膳車両の動線を確保する事

※5 足場設置影響部: 既存防球ネット一時取外し、再取付 (既存再使用する)
参考数量: L=15m H=8m

※6 足場設置影響部: 既存駐輪場屋根 撤去、再設置 (既存再使用しない)
参考数量: ポリカーボネート波板 50.0㎡



特記事項

- ※登下校時間は、原則、工事車両搬出入禁止とし、時間については、学校との打合せによる。
- ※敷地内の車両の走行は、最徐行とし細心の注意を図ること。
- ※工事用搬出入口は既存正門を利用とする。
生徒、及び来校者との兼用利用となる為、交通誘導員を配置させ十分に安全を確保する事。
- ※学校運営をしながらの改修工事のため、校舎およびグラウンド等を生徒が使用する為、安全に十分配慮することは勿論、不用意に生徒が工事範囲内に侵入しないように十分管理を徹底すること。
- ※周辺部材に損傷を与えた場合は、請負業者の責任において現況復旧すること。
- ※仮囲いの位置は、別途学校との打合せによるものとする。
- ※図中記載無きものについても工事に干渉する植栽の伐採等については、別途学校との打合せによるものとする。
- ※図中記載無きものについても資材搬入時などについては必要に応じ交通警備員を配置し、事故のないよう十分に安全を確保する事。

配置図 S=1/400

【 B 棟 】 ■ 外 部 仕 上 表

部 位	既 存 部 仕 上 表			改 修 後 仕 上 表			
	改 修 前	備 考		下 地 処 理	改 修 後	備 考	
外 壁	一 般	コンクリート打放し、アクリルリシン吹付	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、劣化補修(Uカットシール材充填、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：C-2 仕上：防水形複層塗材E	外壁改修1
	軒天・上裏	コンクリート打放し、アクリルリシン吹付	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、劣化補修(Uカットシール材充填、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：C-1 仕上：外装薄塗材E	外壁改修2
	立上り巾木	モルタル金隠仕上げ	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、劣化補修(Uカットシール材充填、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	樹脂モルタル薄塗り	外壁改修3
	梁型側面・底面	コンクリート打放し、アクリルリシン吹付	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、劣化補修(Uカットシール材充填、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：C-2 仕上：防水形複層塗材E	外壁改修1
	梁型天端	防水モルタル金隠仕上げ	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	ウレタン塗膜防水 X-2	防水改修
R 階屋上	バラベツト外壁	コンクリート打放し、アクリルリシン吹付	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、劣化補修(Uカットシール材充填、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：C-2 仕上：防水形複層塗材E	外壁改修1
	バラベツト内壁	防水モルタル金隠仕上げ	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	ウレタン塗膜防水 X-2	防水改修
	笠木天端	アルミ製笠木 W=250	撤去 ● 既存処理	下地金物共	高圧水洗浄(30MPa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	既製品カラーアルミ製笠木 W=250	
	床 面	アスファルト防水 押えコンクリート仕上げ	撤去 ● 既存処理		(既存のまま)	(既存のまま)	
3 階庇屋根	幕 板	コンクリート打放し、アクリルリシン吹付	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、劣化補修(Uカットシール材充填、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：C-2 仕上：防水形複層塗材E	外壁改修1
	笠木天端	ウレタン塗膜防水(既改修済み)	(既存のまま)		(既存のまま)	(既存のまま)	防水改修
	屋上立上り	ウレタン塗膜防水(既改修済み)	(既存のまま)		(既存のまま)	(既存のまま)	防水改修
	屋上床面	ウレタン塗膜防水(既改修済み)	(既存のまま)		(既存のまま)	(既存のまま)	
ベランダ	手摺壁(内外)	コンクリート打放し、アクリルリシン吹付	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、劣化補修(Uカットシール材充填、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：C-2 仕上：防水形複層塗材E	外壁改修1
	手摺壁天端	防水モルタル金隠仕上げ	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	ウレタン塗膜防水 X-2	防水改修
	手 摺	アルミ製手摺 縦格子付き	(既存のまま)		(既存のまま)	(既存のまま)	
	床 面	防水モルタル金隠仕上げ	(既存のまま)		(既存のまま)	(既存のまま)	
増築部分	外 壁	コンクリート打放し、吹付タイル	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、劣化補修(Uカットシール材充填、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：C-2 仕上：防水形複層塗材E	外壁改修1
	屋 根	塩ビ系シート防水	(既存のまま)		(既存のまま)	(既存のまま)	
外部建具	サッシ	アルミ製	(既存のまま)			点検調整、清掃	
	※一部水切り	モルタル金隠仕上	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	ウレタン塗膜防水 X-2	防水改修
目地類	打継、化粧目地	シーリング W=20	撤去 ● 既存処理			ポリウレタン系シーリング(PU-2)	
	建具周囲シーリング	シーリング W=10	撤去 ● 既存処理			変性シリコン系シーリング(MS-2)	
と い	堅 種	VP管φ100 VP塗装	撤去 ● 既存処理	樋受け金物共		カラーVP φ100	樋受け金物：SUS製
	養生管	SGP管 150A H=1.8m SOP塗装	撤去 ● 既存処理		鉄部RB種	錆止め+DP(1級)塗装	
	ルーフトレン	鋼鉄製	(既存のまま)		(既存のまま)	(既存のまま)	
その他	外流し	人研ぎ石仕上げ	撤去 ● 既存処理		(既存のまま)	洗浄清掃	
	目隠しルーバー	スチール製 SOP塗装	撤去 ● 既存処理		鉄部RB種	錆止め+DP(1級)塗装	
	外部階段	スチール製 SOP塗装	撤去 ● 既存処理		鉄部RB種	錆止め+DP(1級)塗装	
	耐震ブレース	鉄骨H形鋼	撤去 ● 既存処理		鉄部RB種	錆止め+DP(1級)塗装	
建築物	屋上フェンス	スチールメッシュフェンス H=2.400	(既存のまま)		(既存のまま)	(既存のまま)	

注 記
・その他本表に記載無き詳細部については以降各図を参照の事

【 B 棟 】 ■ 外壁劣化補修箇所 数量集計表

		設計時調査						施工時調査					
名 称	単 位	東 面	西 面	南 面	北 面	調査数量	係数	設計数量	東 面	西 面	南 面	北 面	施工数量
クラック	m		Σ 244.9			244.9	1.5	367.3					
欠 損	箇所		Σ 3			3	1.5	5					
爆 裂	箇所		Σ 128			128	1.5	192					

■ 劣化補修特記事項
 ・施工数量調査は既存塗膜脆弱部を除去した状況にて行う事。
 ・劣化部補修仕様は特記無き限り下記とする。
 クラック：【A・B棟】Uカットシーリング材充填工法 ※ポリマーセメントモルタル充填
 【C棟】 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ※注入間隔4本/m
 欠 損：ポリマーセメントモルタル充填工法
 爆 裂：周囲研り出しの上、錆止め塗装処理、ポリマーセメントモルタル充填工法
 浮 き：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※アンカーピン本数は特記仕様による

注 記
・調査数量は既存塗膜有りの状況調査の為、各係数を乗じた数量を設計数量として算出する。

【 C 棟 】 ■ 外 部 仕 上 表

部 位	既 存 部 仕 上 表			改 修 後 仕 上 表			
		改 修 前	備 考	下 地 処 理	改 修 後	備 考	
外 壁	一 般	コンクリート打放し、プラスターリシン吹付 <small>※石綿含有建材</small>	撤去 ● 既存処理	既存塗膜全面除去	吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：CM-2 仕上：防水形複層塗材E	外壁改修4
	軒天・上裏	コンクリート打放し、プラスターリシン吹付 <small>※石綿含有建材</small>	撤去 ● 既存処理	既存塗膜全面除去	吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：CM-2 仕上：外装薄塗材E	外壁改修5
	立上り巾木	モルタル金隠仕上げ	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、劣化補修(Uカットシーリング材充填、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	樹脂モルタル薄塗り	外壁改修3
	梁型側面・底面	コンクリート打放し、プラスターリシン吹付 <small>※石綿含有建材</small>	撤去 ● 既存処理	既存塗膜全面除去	吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：CM-2 仕上：防水形複層塗材E	外壁改修4
	梁型天端	防水モルタル金隠仕上げ	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	ウレタン塗膜防水 X-2	防水改修
R 階屋上	屋根葺板	コンクリート打放し、プラスターリシン吹付 <small>※石綿含有建材</small>	撤去 ● 既存処理	既存塗膜全面除去	吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材：CM-2 仕上：防水形複層塗材E	外壁改修4
	屋上立上り	ウレタン塗膜防水(既改修済み)	(既存のまま)		(既存のまま)	(既存のまま)	
	笠木天端	ウレタン塗膜防水(既改修済み)	(既存のまま)		(既存のまま)	(既存のまま)	
	床 面	ウレタン塗膜防水(既改修済み)	(既存のまま)		(既存のまま)	(既存のまま)	
ベランダ	立上り天端	防水モルタル金隠仕上げ	撤去 ● 既存処理		高圧水洗浄(30MPa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	ウレタン塗膜防水 X-2	防水改修
	手 摺	鋼製製作手摺 縦格子付き	撤去 ● 既存処理		鉄部R B種	錆止め + DP(1級)塗装	
	床 面	防水モルタル金隠仕上げ	(既存のまま)		(既存のまま)	(既存のまま)	
	壁種(化粧柱)	SGP管 100A SOP塗装	撤去 ● 既存処理		鉄部R B種	錆止め + DP(1級)塗装	
外部建具	サッシ	スチール製	撤去 ● 既存処理	※建具枠残し	スチール部分防錆処理	カバー工法アルミサッシ	
	水切り	スチール製	撤去 ● 既存処理		スチール部分防錆処理	カバー工法アルミ製水切り	
目地類	打継、化粧目地	シーリング N=20	撤去 ● 既存処理			ポリウレタン系シーリング(PU-2)	
	建具周囲シーリング	シーリング N=10	撤去 ● 既存処理			変性シリコン系シーリング(MS-2)	
と い	壁 種	VP管φ100 VP塗装	撤去 ● 既存処理	樋受け金物共		カラーVP φ100	樋受け金物：SUS製
		SGP管 100A SOP塗装	撤去 ● 既存処理		鉄部R B種	錆止め + DP(1級)塗装	
	ルーフトレン	鍍鉄製	(既存のまま)		(既存のまま)	(既存のまま)	
	雑排水管	VP管φ75	撤去 ● 既存処理	※外壁露出面		VP φ75	支持金物：SUS製
その他	西面化粧窓枠	人研ぎ石仕上げ	撤去 ● 既存処理		(既存のまま)	洗浄清掃	
建築物	屋上タラップ	スチール製 梯子型	撤去 ● 既存処理		鉄部R B種	錆止め + DP(1級)塗装	

注 記

- ・その他本表に記載無き詳細部については以降各図を参照の事
 - ・外壁塗装吹付材はアスベスト含有建材となるため、吹付下地材全撤去工法を採用する。
採用工法：集塵装置付き超高压水洗工法(100Mpa以上)、及び湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法 参考)ウォータークリーン工法
 - ・上記工法に応じた養生、作業を行う事。
 - ・足場床面、及び壁面、開口部については汚れ防止養生シートにて養生施工を行う事。
 - ・施工計画書を作成の上、監督員の承認の上施工を行う事。
 - ・関係法令に基づく書類の作成、届出を行う事。
- ※その他詳細は「特記仕様書(アスベスト撤去)参考図」参照の事

【 C 棟 】 ■ 外壁劣化補修箇所 数量集計表

名 称	単 位	設計時調査							施工時調査				
		東 面	西 面	南 面	北 面	調査数量	係数	設計数量	東 面	西 面	南 面	北 面	施工数量
クラック	m	4.8	32.2	17.3	231.1	77.4	2.0	154.8					
欠 損	箇所		5	8		13	20	260					
爆 裂	箇所				2	2	10	20					
浮 き	m	0.35				3.17	2.0	6.3					

■ 劣化補修特記事項
 ・施工数量調査は石綿除去作業後、吹付材、既存塗膜を全撤去した状況にて行う事。
 ・劣化部補修仕様は特記無き限り下記とする。
 クラック：【A・B棟】Uカットシーリング材充填工法 ※ポリマーセメントモルタル充填
 【C棟】自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ※注入間隔4本/m
 欠 損：ポリマーセメントモルタル充填工法
 爆 裂：周囲所り出しの上、錆止め塗装処理、ポリマーセメントモルタル充填工法
 浮 き：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※アンカーピン本数は特記仕様による

注 記

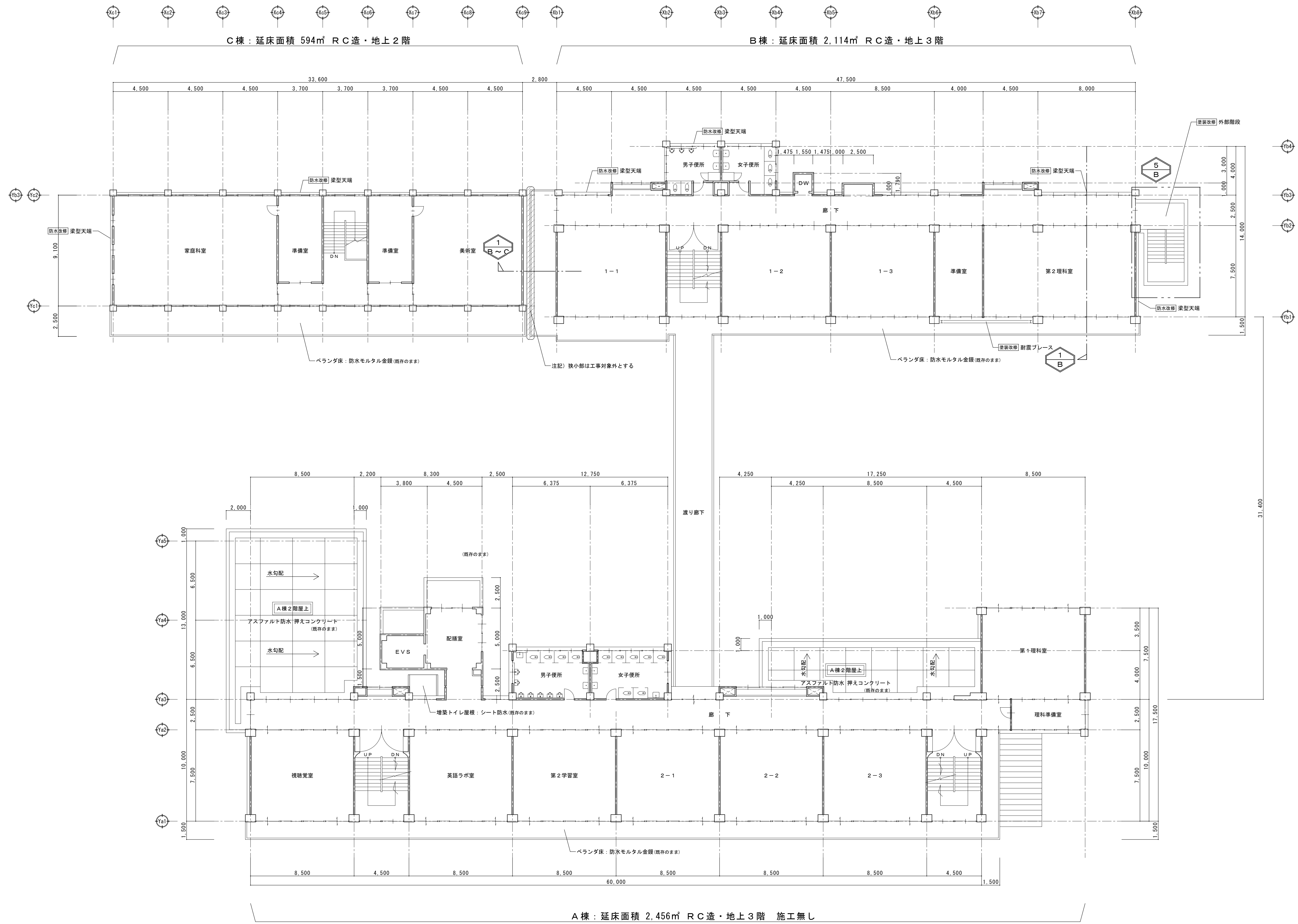
- ・調査数量は既存塗膜有りの状況調査の為、各係数を乗じた数量を設計数量として算出する。



注記)
 ・本図に記載事項については、外壁改修に伴う関連部位、その他部位についての代表的な改修概要を示す
 本図に記載無き項目、内容を含め、各部詳細な改修内容については以降各図参照の事

1階全体平面図 S=1/150

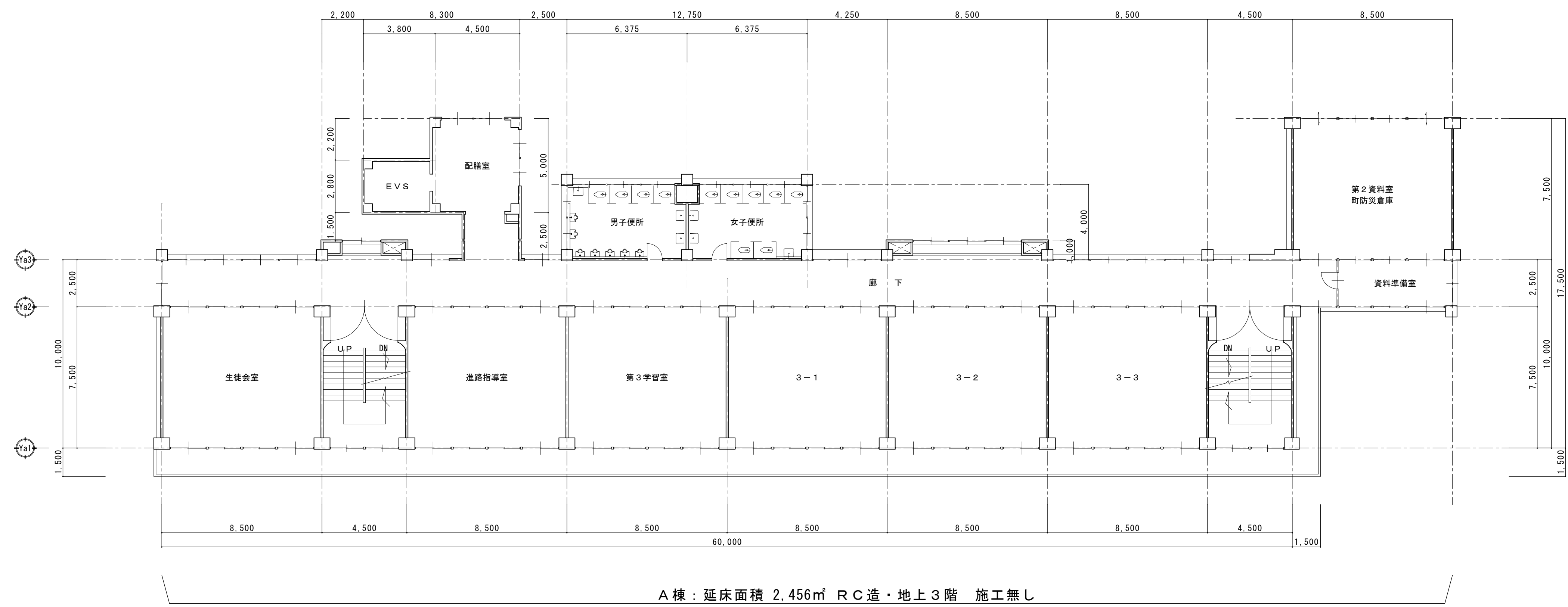
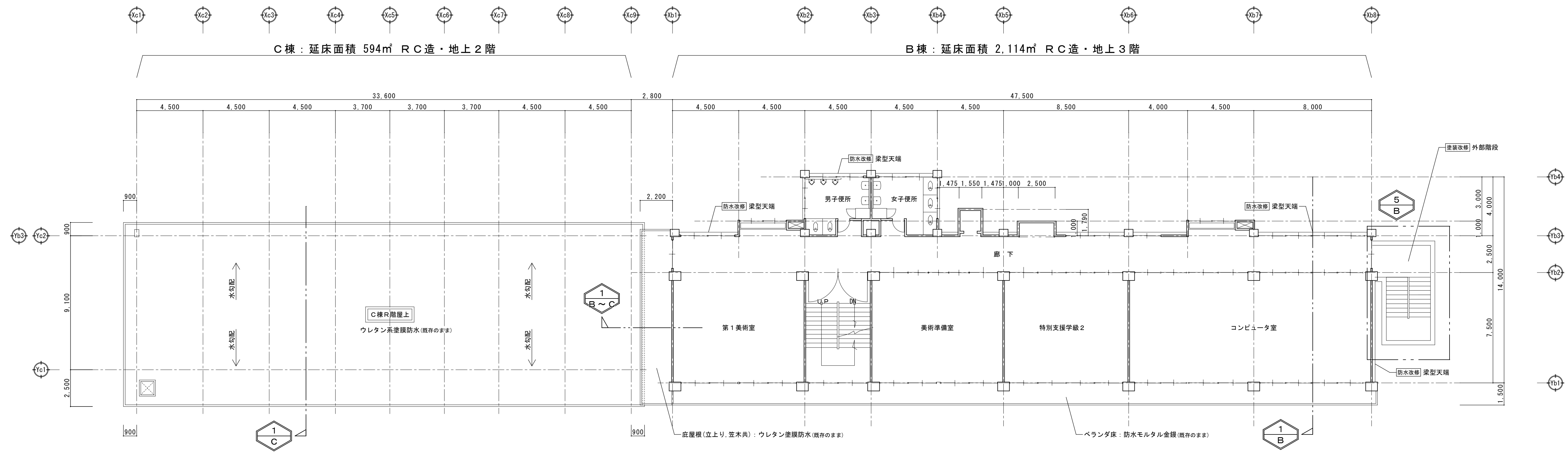
百間中学校B・C棟外壁改修工事		1階全体平面図	
SCALE A1 1/150		宮代町教育推進課	A-14



注記)
 ・本図に記載事項については、外壁改修に伴う関連部位、その他部位についての代表的な改修概要を示す
 本図に記載無き項目、内容を含め、各部詳細な改修内容については以降各図参照の事

2階全体平面図 S=1/150

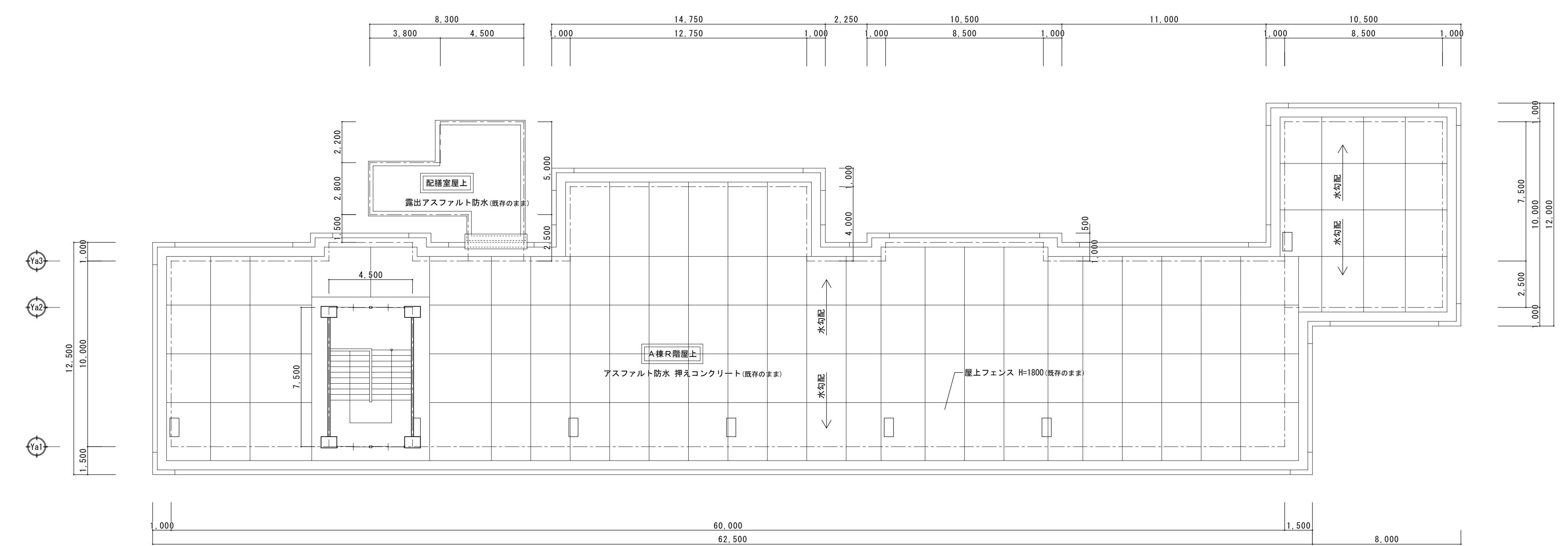
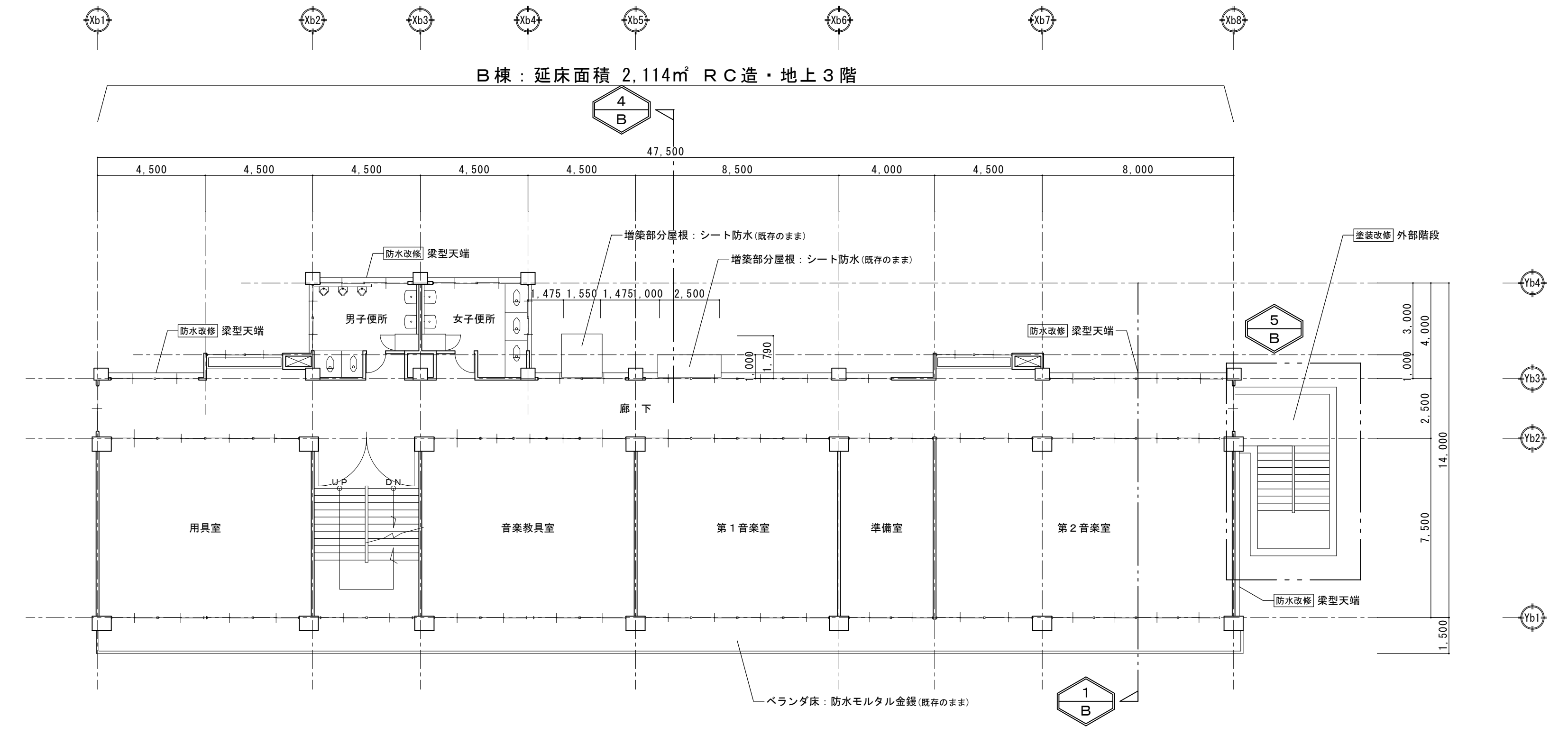
百間中学校B・C棟外壁改修工事		2階全体平面図	
SCALE A1 1/150		宮代町教育推進課	A-15



注記)
 ・本図に記載事項については、外壁改修に伴う関連部位、その他部位についての代表的な改修概要を示す
 本図に記載無き項目、内容を含め、各部詳細な改修内容については以降各図参照の事

3階全体平面図 S=1/150

百間中学校B・C棟外壁改修工事		3階全体平面図	
SCALE A1 1/150		宮代町教育推進課	A-16

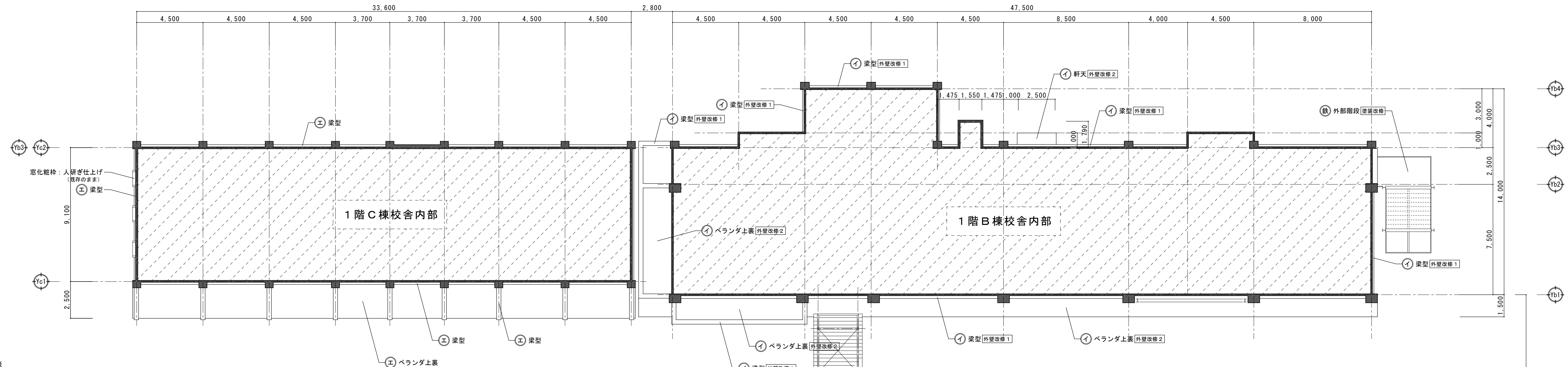


注記)
 ・本図中記載事項については、外壁改修に伴う関連部位、その他部位についての代表的な改修概要を示す
 本図に記載無き項目、内容を含め、各部詳細な改修内容については以降各図参照の事

4階全体平面図 S=1/150

百間中学校B・C棟外壁改修工事		4階全体平面図	
SCALE A1 1/150		宮代町教育推進課	A-17

C棟：延床面積 594㎡ RC造・地上2階
B棟：延床面積 2,114㎡ RC造・地上3階



■ 既存外部仕上表

記号	仕上	石綿含有の有無	下地
ア	フレキシブルボード t=5 目透し張り EP塗装	有り	軽量鉄骨天井下地(屋外用)
イ	コンクリート打放し、アクリルリシン吹付	(無し)	RC
ロ	コンクリート打放し、吹付タイル	(無し)	RC
ハ	コンクリート打放し、プasterリシン吹付	有り	RC
ニ	鉄部 SOP塗装		

■ 改修概要凡例

- 外部天井ボード面：下地、仕上共 撤去、新設範囲を示す
下地 軽量鉄骨天井下地(屋外用)、インサート共
仕上 ケイカル板 t=5 目透し張り EP塗装
- コンクリート全ハツリ落とし t=20 範囲を示す
※改修詳細図参照
- 内部天井：※改修対象外

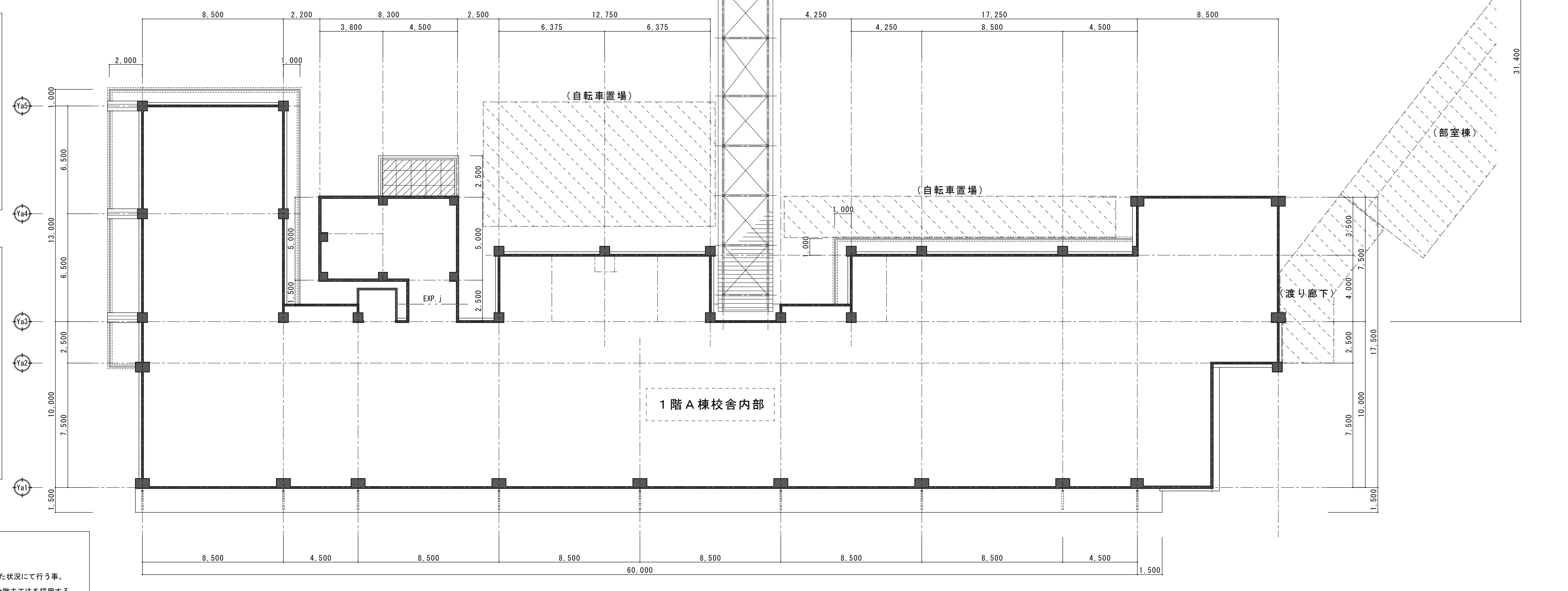
注記
・その他改修事項は図中記載の表現による

■ 改修共通凡例

- 外壁改修1・外壁面一般仕様
下地処理 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2
仕上 防水形複層塗材 E
- 外壁改修2・見上面一般仕様
下地処理 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1
仕上 外装薄塗材 E
- 外壁改修4・外壁面仕様(石綿除去)
下地処理 吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事
劣化部補修の上、下地調整材塗り CM-2
仕上 防水形複層塗材 E
- 外壁改修5・見上面仕様(石綿除去)
下地処理 吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事
劣化部補修の上、下地調整材塗り CM-2
仕上 外装薄塗材 E
- 塗装改修・鉄部面仕様
下地調整 鉄部RB種
塗装 錆止め + DP(1級)塗装

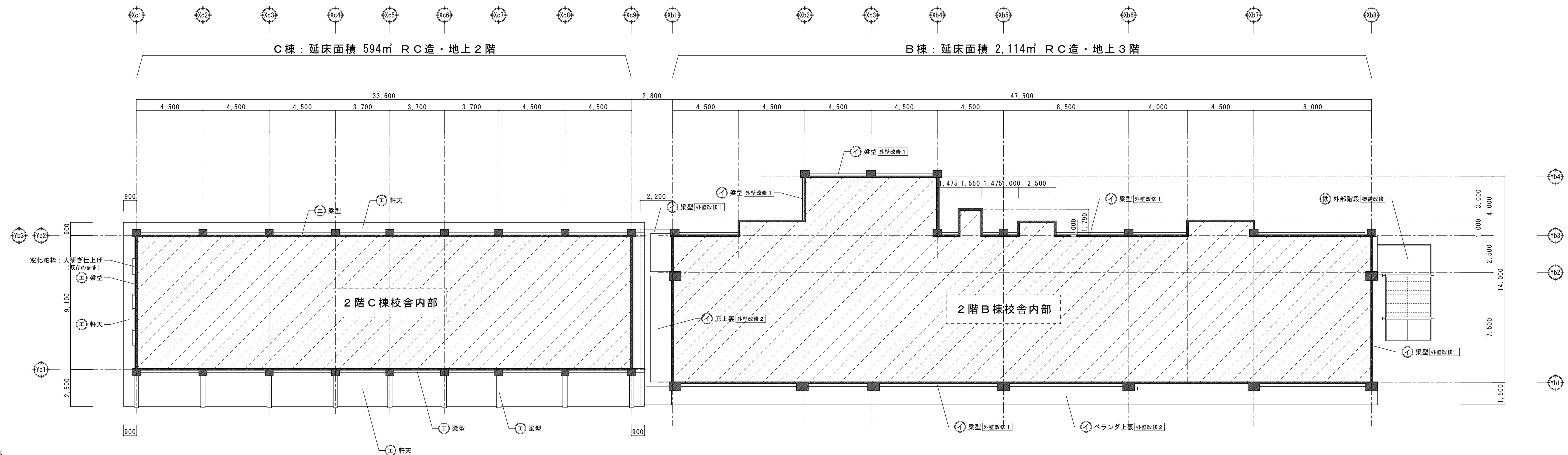
注記

- 既存RC面塗装改修対象箇所は施工数量調査を実施の事。
- 石綿含有箇所については石綿除去作業後、吹付材、既存塗膜を全撤去した状況にて行う事。
- 「C棟」の塗装吹付材はアスベスト含有建材となるため、吹付下地材全撤去工法を採用する。
 - 集塵装置付き超高压水洗工法(100Mpa以上)、及び湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法を実施する事。
 - 上記工法に応じた養生、作業を行う事。
 - 足場床面、及び壁面、開口部については汚れ防止養生シートにて養生施工を行う事。
 - 施工計画書を作成の上、監督員の承認の上施工を行う事。
 - 関係法令に基づく書類の作成、届出を行う事。



A棟：延床面積 2,456㎡ RC造・地上3階 施工無し

1階天井伏図 S=1/150



■ 既存外部仕上表

記号	仕上	石綿含有の有無	下地
㊦	フレキシブルボード t=5 目透し張り EP塗装	有り	軽量鉄骨天井下地(屋外用)
㊧	コンクリート打放し、アクリルリシン吹付	(無し)	RC
㊨	コンクリート打放し、吹付タイル	(無し)	RC
㊩	コンクリート打放し、プasterリシン吹付	有り	RC
鉄	鉄部 S O P 塗装		

■ 改修概要凡例

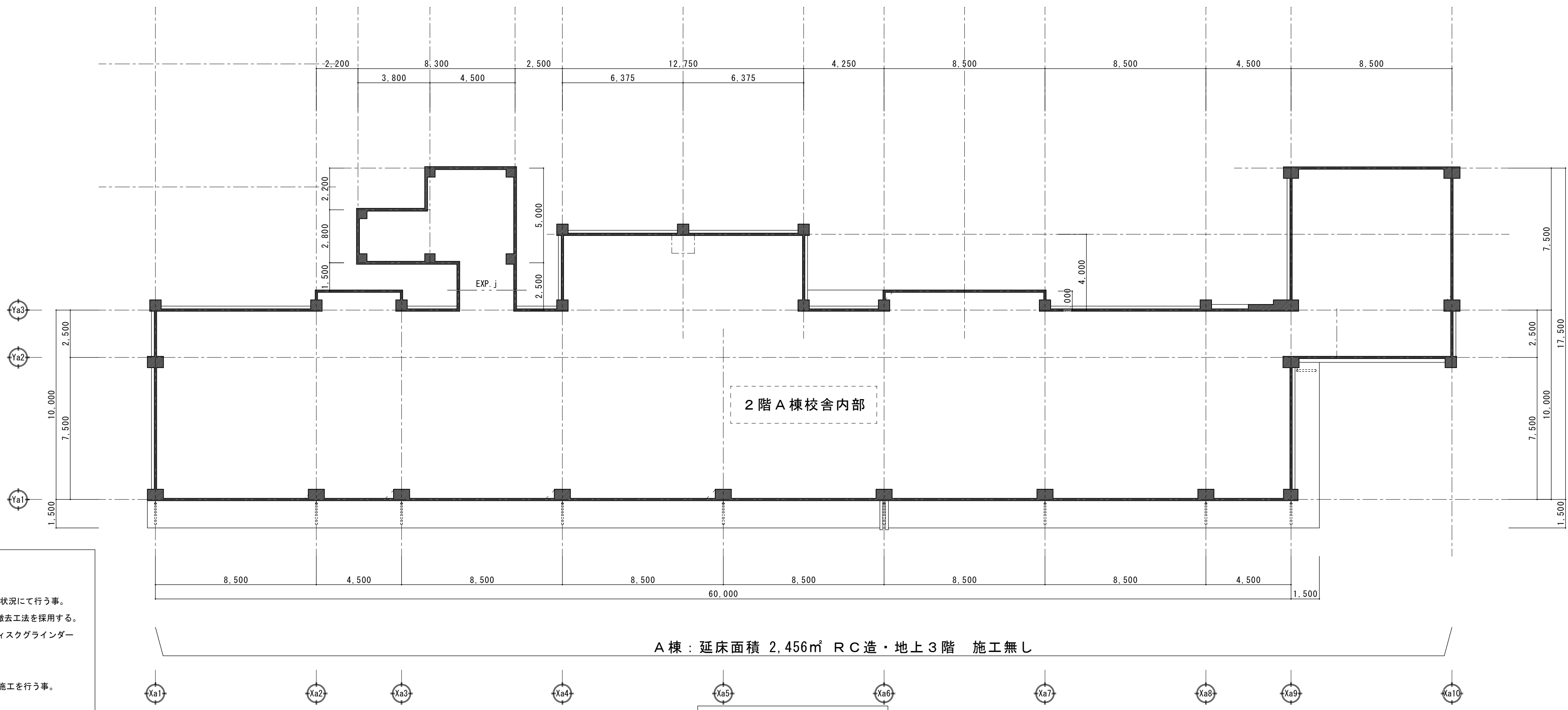
- 外部天井ボード面：下地 仕上共 撤去、新設範囲を示す
下地 軽量鉄骨天井下地(屋外用)、インサート共
仕上 ケイカル板 t=5 目透し張り EP塗装
- コンクリート全ハツリ落とし t=20 範囲を示す
※改修詳細図参照
- 内部天井：※改修対象外

注記)
・その他改修事項は図中記載の表現による

■ 改修共通凡例

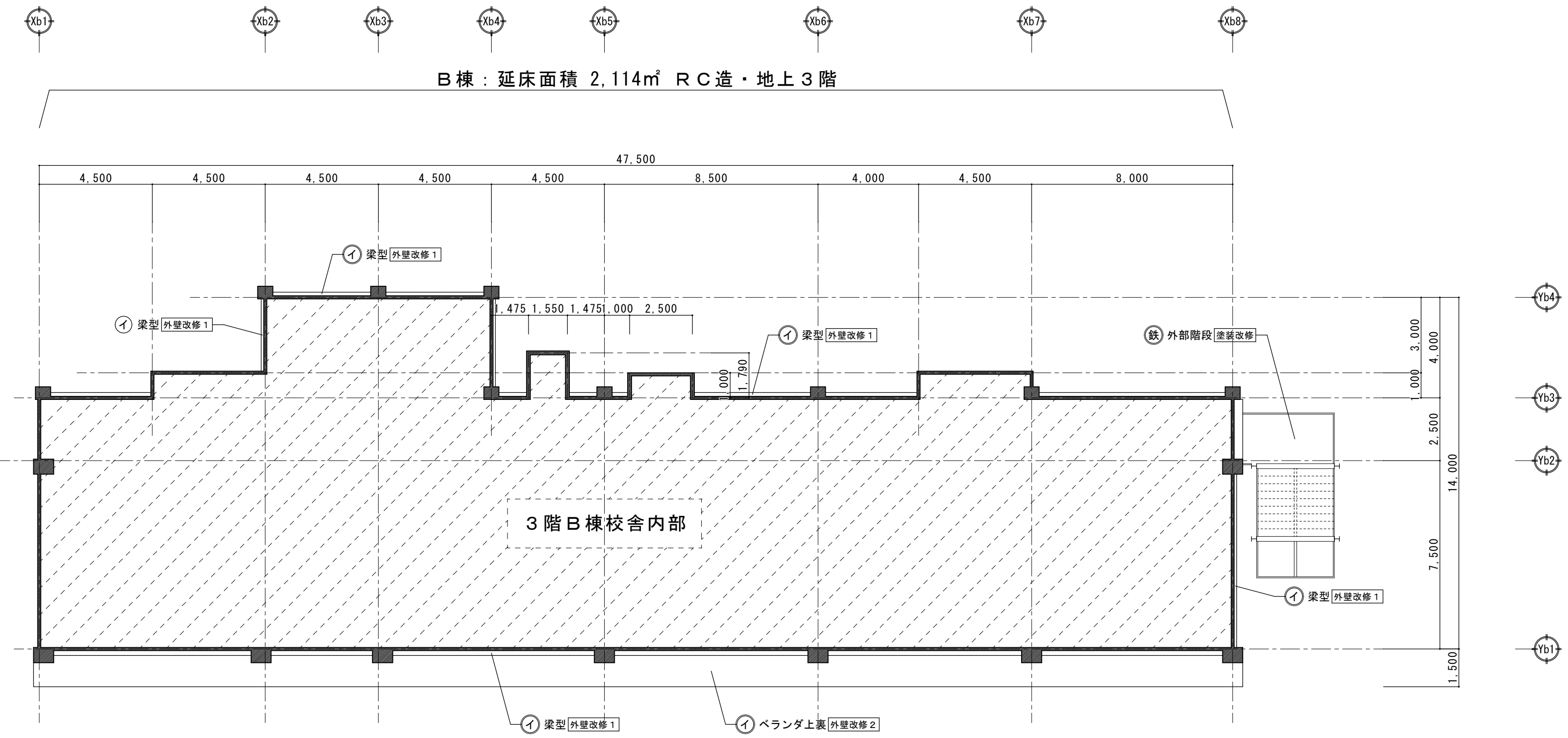
- 外壁改修1・外壁面一般仕様
下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2
仕上) 防水形複層塗材 E
- 外壁改修2・見上面一般仕様
下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1
仕上) 外装薄塗材 E
- 外壁改修4・外壁面仕様(石綿除去)
下地処理) 吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事
劣化部補修の上、下地調整材塗り CM-2
仕上) 防水形複層塗材 E
- 外壁改修5・見上面仕様(石綿除去)
下地処理) 吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事
劣化部補修の上、下地調整材塗り CM-2
仕上) 外装薄塗材 E
- 塗装改修・鉄部面仕様
下地調整) 鉄部 R B 種
塗装) 錆止め + DP (1級) 塗装

注記)
 既存RC面塗装改修対象箇所は施工数量調査を実施の事。
 石綿含有箇所については石綿除去作業後、吹付材、既存塗膜を全撤去した状況にて行う事。
 「C棟」の塗装吹付材はアスベスト含有建材となるため、吹付下地材全撤去工法を採用する。
 ・集塵装置付き超高压水洗工法(100Mpa以上)、及び湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法を実施する事。
 ・上記工法に応じた養生、作業を行う事。
 ・足場床面、及び壁面、開口部については汚れ防止養生シートにて養生施工を行う事。
 ・施工計画書を作成の上、監督員の承認の上施工を行う事。
 ・関係法令に基づく書類の作成、届出を行う事。



A棟：延床面積 2,456㎡ RC造・地上3階 施工無し

2階天井伏図 S=1/150



■ 既存外部仕上表

記号	仕上	石綿含有の有無	下地
ア	フレキシブルボード t=5 目透し張り EP塗装	有り	軽量鉄骨天井下地(屋外用)
イ	コンクリート打放し、アクリルリシン吹付	(無し)	RC
ウ	コンクリート打放し、吹付タイル	(無し)	RC
エ	コンクリート打放し、プラスチック吹付	有り	RC
鉄	鉄部 SOP塗装		

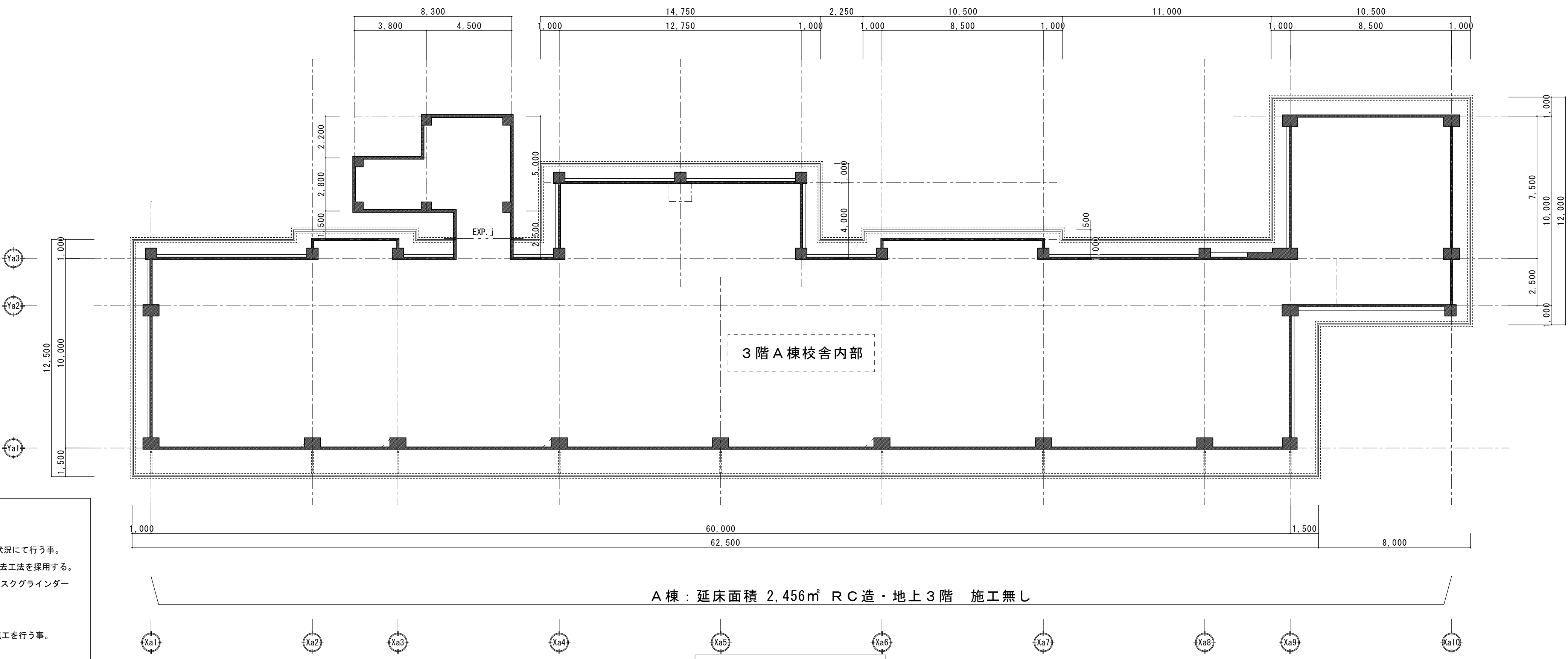
■ 改修概要凡例

- 外部天井ボード面：下地 仕上共 撤去、新設範囲を示す
下地 軽量鉄骨天井下地(屋外用)、インサート共
仕上 ケイカル板 t=5 目透し張り EP塗装
- コンクリート全ハツリ落とし t=20 範囲を示す
※改修詳細図参照
- 内部天井：※改修対象外

注記
・その他改修事項は図中記載の表現による

■ 改修共通凡例

- 外壁改修1・外壁面一般仕様
下地処理 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2
仕上 防水形複層塗材 E
- 外壁改修2・見上面一般仕様
下地処理 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1
仕上 外装薄塗材 E
- 外壁改修4・外壁面仕様(石綿除去)
下地処理 吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事
劣化部補修の上、下地調整材塗り CM-2
仕上 防水形複層塗材 E
- 外壁改修5・見上面仕様(石綿除去)
下地処理 吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事
劣化部補修の上、下地調整材塗り CM-2
仕上 外装薄塗材 E
- 塗装改修・鉄部面仕様
下地調整 鉄部RB種
塗装 錆止め + DP(1級)塗装

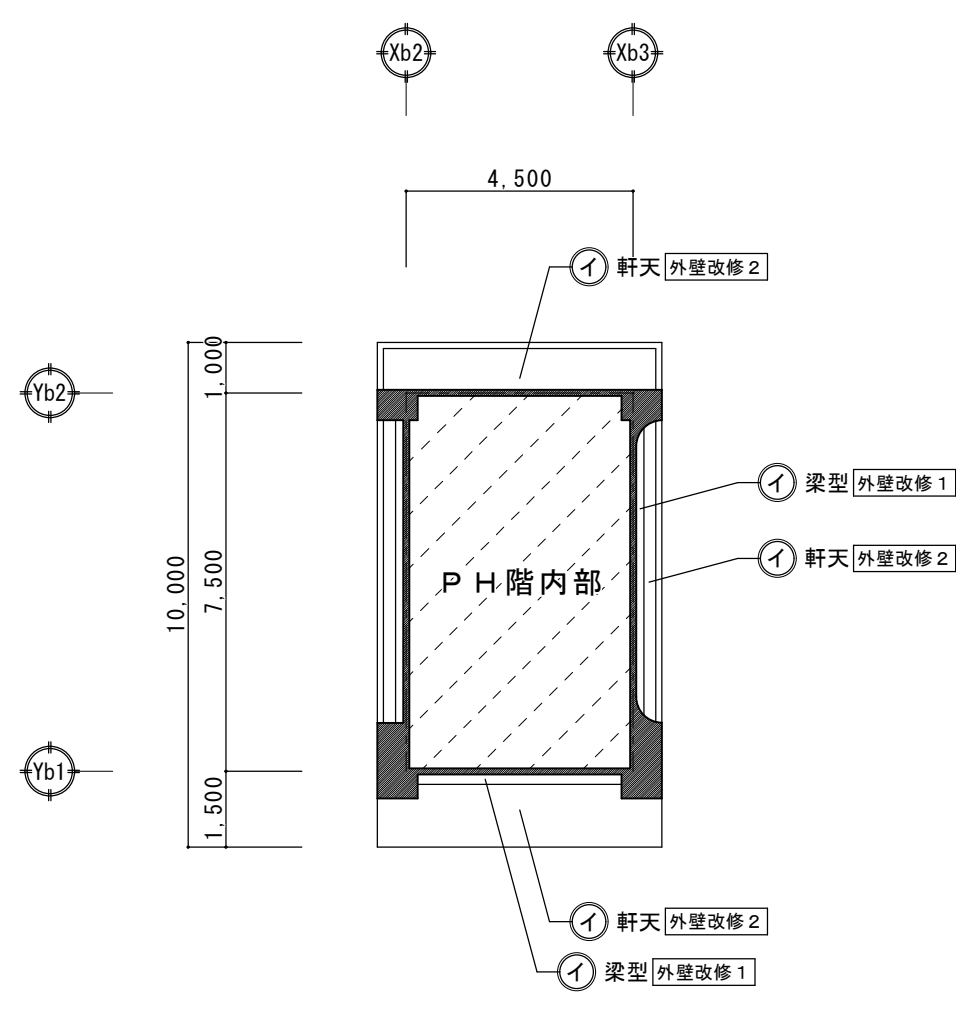


注記

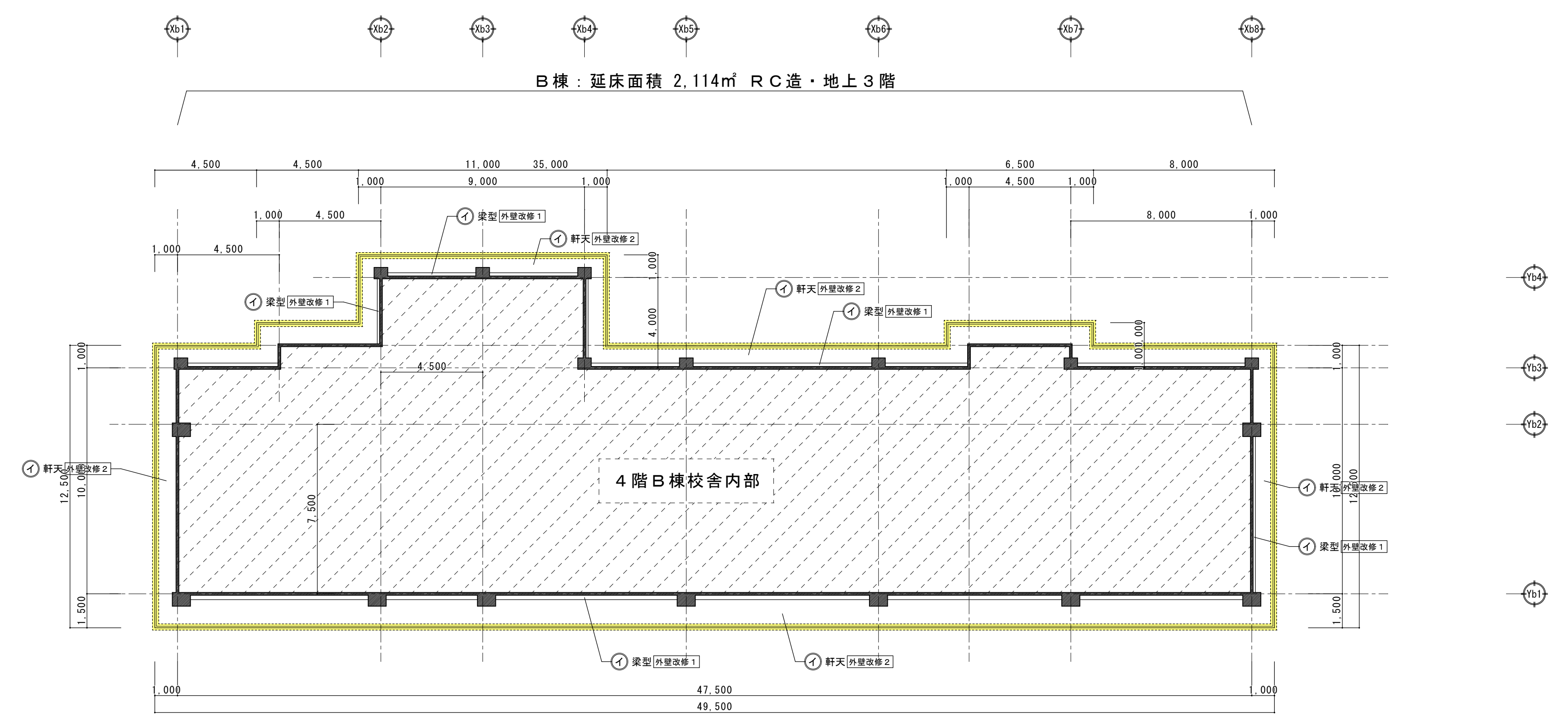
- 既存RC面塗装改修対象箇所は施工数量調査を実施の事。
- 石綿含有箇所については石綿除去作業後、吹付材、既存塗膜を全撤去した状況にて行う事。
- 「C棟」の塗装吹付材はアスベスト含有建材となるため、吹付下地材全撤去工法を採用する。
 - 集塵装置付き超高压水洗工法(100Mpa以上)、及び湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法を実施する事。
 - 上記工法に応じた養生、作業を行う事。
 - 足場床面、及び壁面、開口部については汚れ防止養生シートにて養生施工を行う事。
 - 施工計画書を作成の上、監督員の承認の上施工を行う事。
 - 関係法令に基づく書類の作成、届出を行う事。

3階天井伏図 S=1/150

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 外壁面は特記無き限り、全面塗装改修対象とする。 壁面に付随する各設備機器類、盤類、配管、配線類の対応については別図参照の事。 その他、図中記載無き軽微な配管、配線類の対応については存置のまま改修工事施工とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 壁面に付随する小屋裏換気パイプ、給排気フードについては特記無き限り存置のまま工事施工とする。 壁面に付随する図中記載無き金物類について、明らかに不要と思われるものについては可能な限り撤去とする。 その他不明物については監督員に報告の上、現場指示により対応を図る事。 	百間中学校B・C棟外壁改修工事	3階天井伏図	
			SCALE A1 1/150	宮代町教育推進課	A-21



PH階天井伏図 S=1/150



■ 既存外部仕上表

記号	仕上	石綿含有の有無	下地
㊦	フレキシブルボード t=5 目隠し張り EP塗装	有り	軽量鉄骨天井下地(屋外用)
㊧	コンクリート打放し、アクリルリシン吹付	(無し)	RC
㊨	コンクリート打放し、吹付タイル	(無し)	RC
㊩	コンクリート打放し、プラスターリシン吹付	有り	RC
㊪	鉄部 SOP塗装		

■ 改修概要凡例

- 外部天井ボード面: 下地 仕上共 撤去、新設範囲を示す
下地) 軽量鉄骨天井下地(屋外用)、インサート共
仕上) ケイカル板 t=5 目隠し張り EP塗装
- コンクリート全ハツリ落とし t=20 範囲を示す
※改修詳細図参照
- 内部天井: ※改修対象外

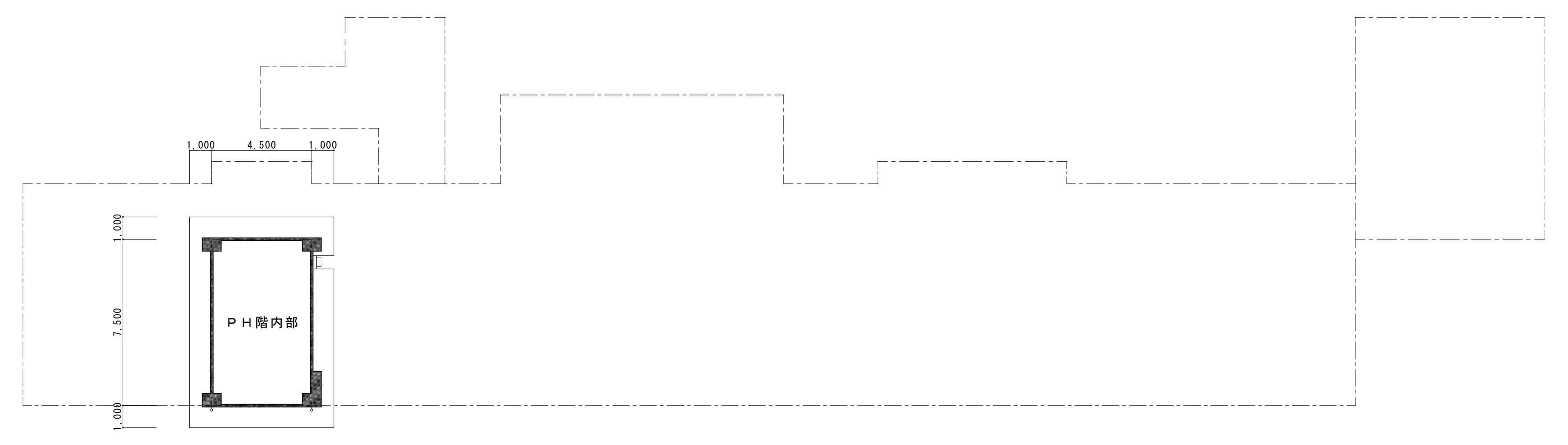
注記)
・その他改修事項は図中記載の表現による

■ 改修共通凡例

- 外壁改修1**・外壁面一般仕様
下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2
仕上) 防水形複層塗材 E
- 外壁改修2**・見上面一般仕様
下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1
仕上) 外装薄塗材 E
- 外壁改修4**・外壁面仕様(石綿除去)
下地処理) 吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事
劣化部補修の上、下地調整材塗り CM-2
仕上) 防水形複層塗材 E
- 外壁改修5**・見上面仕様(石綿除去)
下地処理) 吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事
劣化部補修の上、下地調整材塗り CM-2
仕上) 外装薄塗材 E
- 塗装改修**・鉄部面仕様
下地調整) 鉄部RB種
塗装) 錆止め + DP(1級)塗装

注記)

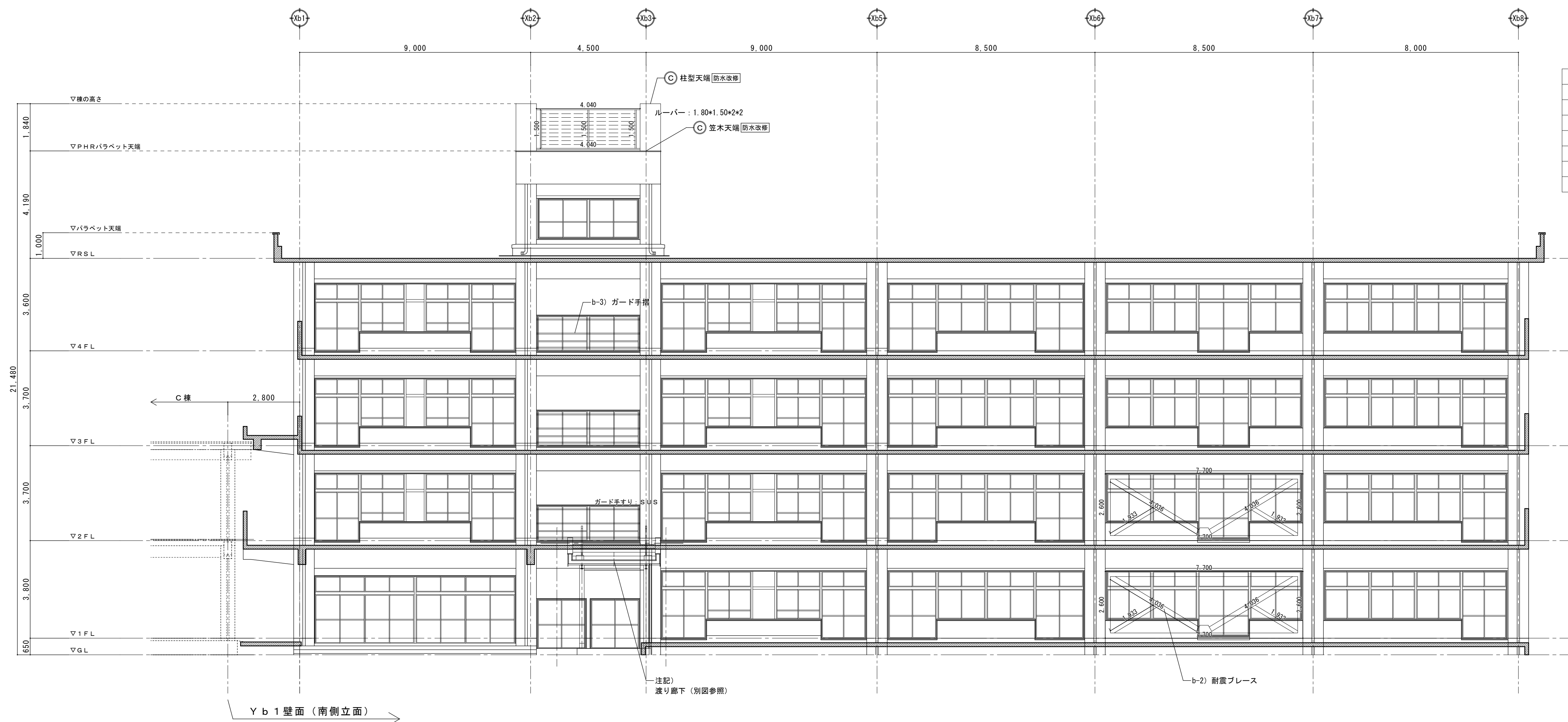
- 既存RC面塗装改修対象箇所は施工数量調査を実施の事。
- 石綿含有箇所については石綿除去作業後、吹付材、既存塗膜を全撤去した状況にて行う事。
- 「C棟」の塗装吹付材はアスベスト含有建材となるため、吹付下地材全撤去工法を採用する。
 - ・集塵装置付き超高压水洗工法(100Mpa以上)、及び湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法を実施する事。
 - ・上記工法に応じた養生、作業を行う事。
 - ・足場床面、及び壁面、開口部については汚れ防止養生シートにて養生施工を行う事。
 - ・施工計画書を作成の上、監督員の承認の上施工を行う事。
 - ・関係法令に基づく書類の作成、届出を行う事。



A棟: 延床面積 2,456㎡ R.C造・地上3階 施工無し

4階天井伏図 S=1/150

特記事項)	・外壁面は特記無き限り、全面塗装改修対象とする。	・壁面に付随する小屋根換気パイプ、給排水フードについては特記無き限り存置のまま工事施工とする。	百間中学校B・C棟外壁改修工事	4階・R階天井伏図
	・壁面に付随する各設備機器類、盤類、配管、配線類の対応については別図参照の事。	・壁面に付随する図中記載無き金物類について、明らかに不要と思われるものについては可能な限り撤去とする。	SCALE A1 1/150	宮代町教育推進課
	その他、図中記載無き軽微な配管、配線類の対応については存置のまま改修工事施工とする。	その他不明物については監督員に報告の上、現場指示により対応を図る事。		A-22



番号	部位	既存仕上	改修内容
b-1	屋上笠木	アルミ製 W-250	既存撤去の上、新設: 既製品カラーアルミ製 W-250
b-2	耐震ブレース	H-200x200 S O P 塗装	塗装改修
b-3	ガード手摺	S U S 製 H L φ40x3本	既存撤去の上、新設: S U S 製 H L B. P L 固定式 φ40x3本 3箇所
b-4	手摺	アルミ製 縦格子タイプ	(既存のまま)
b-5	底笠木	ウレタン塗膜防水	(既存のまま)

■ 既存外部仕上表

記号	仕上	石綿含有の有無
(A)	コンクリート打放し、アクリルシン収付	(無し)
(B)	コンクリート打放し、吹付タイル	(無し)
(C)	防水モルタル金網仕上げ	(無し)
(D)	モルタル金網仕上げ	(無し)

共通 打継、化粧目地: シーリング W-20 改修内容) 既存撤去、充填打替え

■ 改修共通凡例

外壁改修1) ・外壁面一般仕様
下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2
仕上) 防水形複層塗材 E

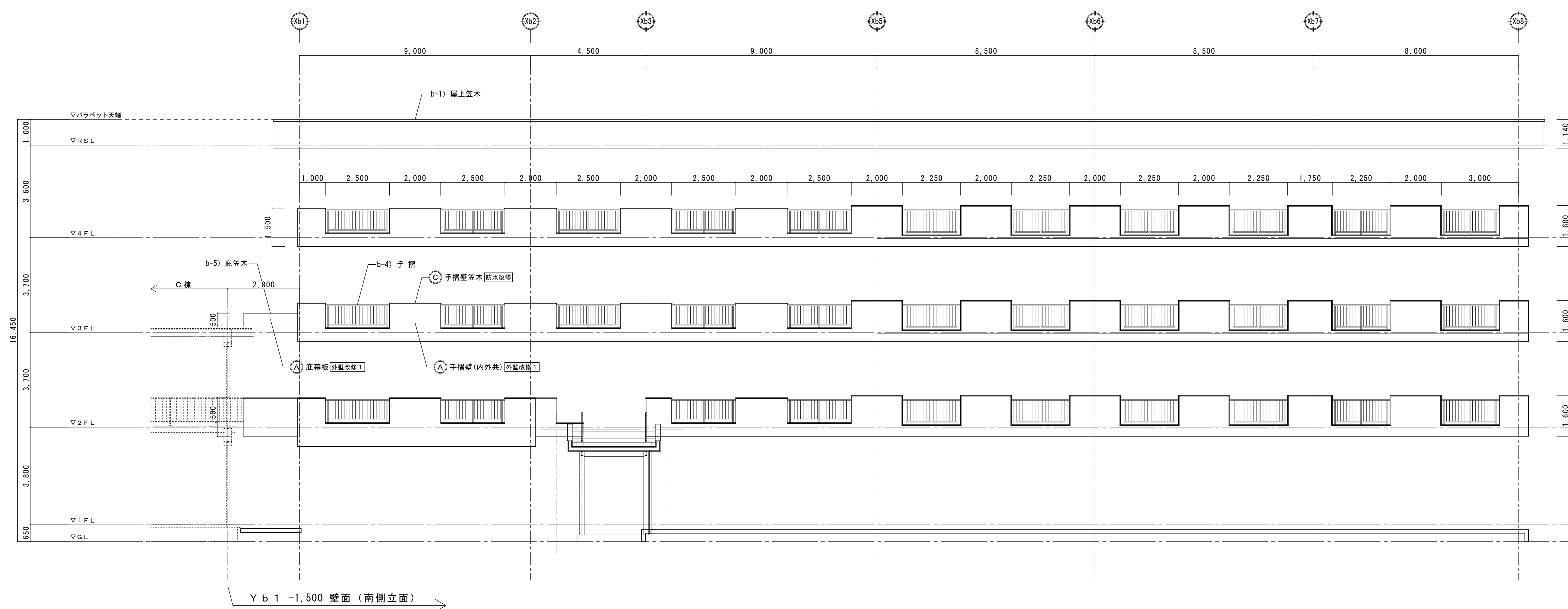
外壁改修2) ・見上面一般仕様
下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1
仕上) 外装薄塗材 E

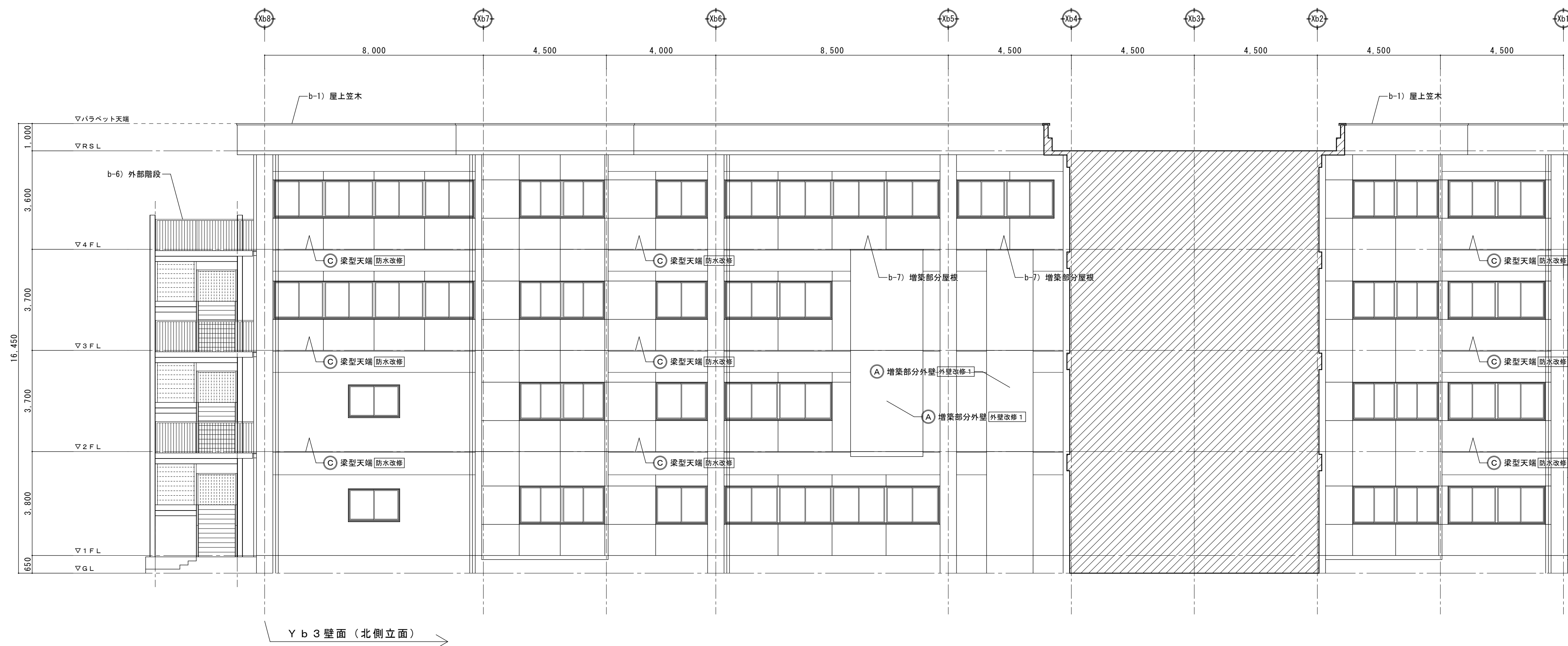
外壁改修3) ・巾木面仕様
下地処理) 劣化部補修
仕上) 樹脂モルタル薄塗り

防水改修) ・天端面仕様
下地処理) 劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布
仕上) ウレタン塗膜防水 X-2

塗装改修) ・鉄部面仕様
下地調整) 鉄部 R B 種
塗装) 錆止め + D P (1級) 塗装

注記) 特記無き一般外壁、柱型、梁型面は (A) 外壁改修1) とする





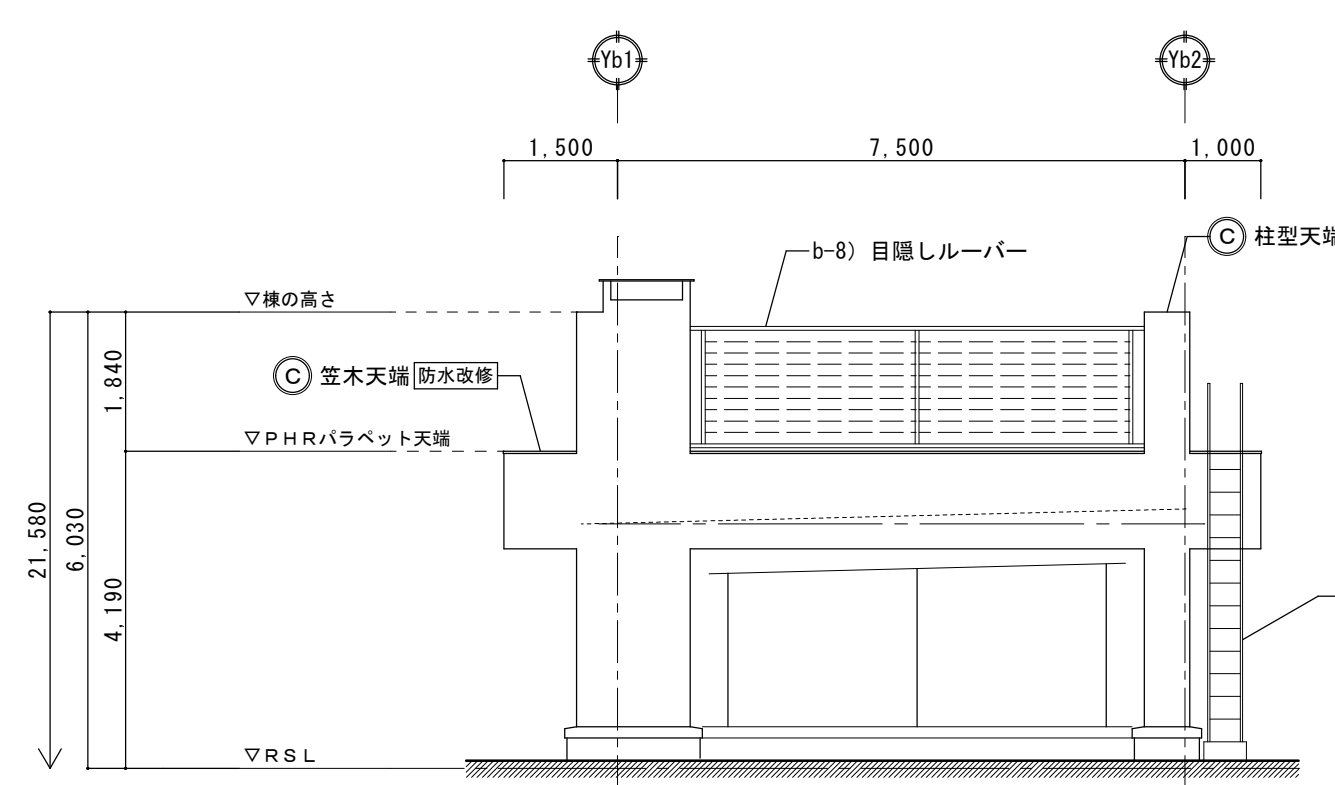
番号	部 位	既存仕上	改 修 内 容
b-1	屋上笠木	アルミ製 W=250	既存撤去の上、新設：既製品カラーアルミ製 W=250
b-5	庇笠木	ウレタン塗膜防水	(既存のまま)
b-6	外部階段	鉄部 S O P 塗装	塗装改修
b-7	増築部分屋根	シート防水	(既存のまま)
b-8	目隠しルーバー	鉄部 S O P 塗装	塗装改修
b-9	タラップ	S U S 製 ハシゴ付け	(既存のまま)
b-10	タラップ	st-φ16 W=300 #300	塗装改修
b-11	換気フード	スチール製ウェザーカバー 300x300	塗装改修

記 号	仕 上	石積含有の有無
(A)	コンクリート打放し、アクリルリシン吹付	(無し)
(B)	コンクリート打放し、吹付タイル	(無し)
(C)	防水モルタル金網仕上げ	(無し)
(D)	モルタル金網仕上げ	(無し)

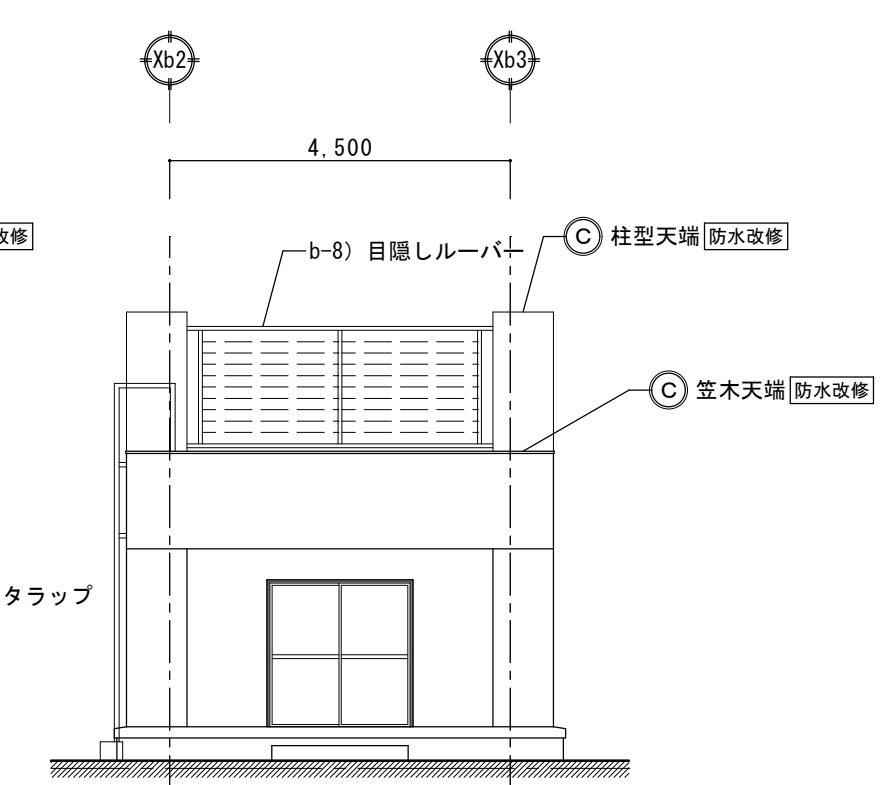
共通 打継、化粧目地：シーリング W=20 改修内容) 既存撤去、充填打替え

外壁改修1	外壁改修2	外壁改修3	防水改修	塗装改修
・外壁面一般仕様 下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2 仕上) 防水形複層塗材 E	・見上面一般仕様 下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1 仕上) 外装薄塗材 E	・巾木面仕様 下地処理) 劣化部補修 仕上) 樹脂モルタル薄塗り	・天端面仕様 下地処理) 劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布 仕上) ウレタン塗膜防水 X-2	・鉄部面仕様 下地調整) 鉄部 R B 種 塗装) 錆止め + D P (1 級) 塗装

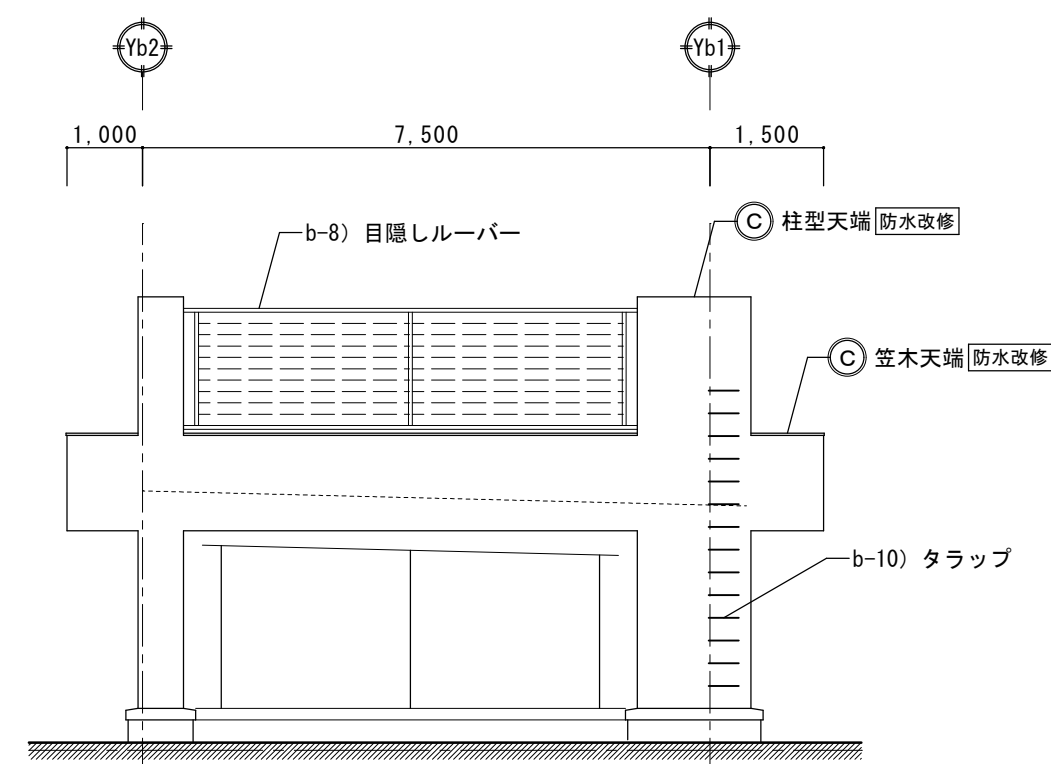
注記) 特記無き一般外壁、柱型、梁型面は (A) 外壁改修1 とする



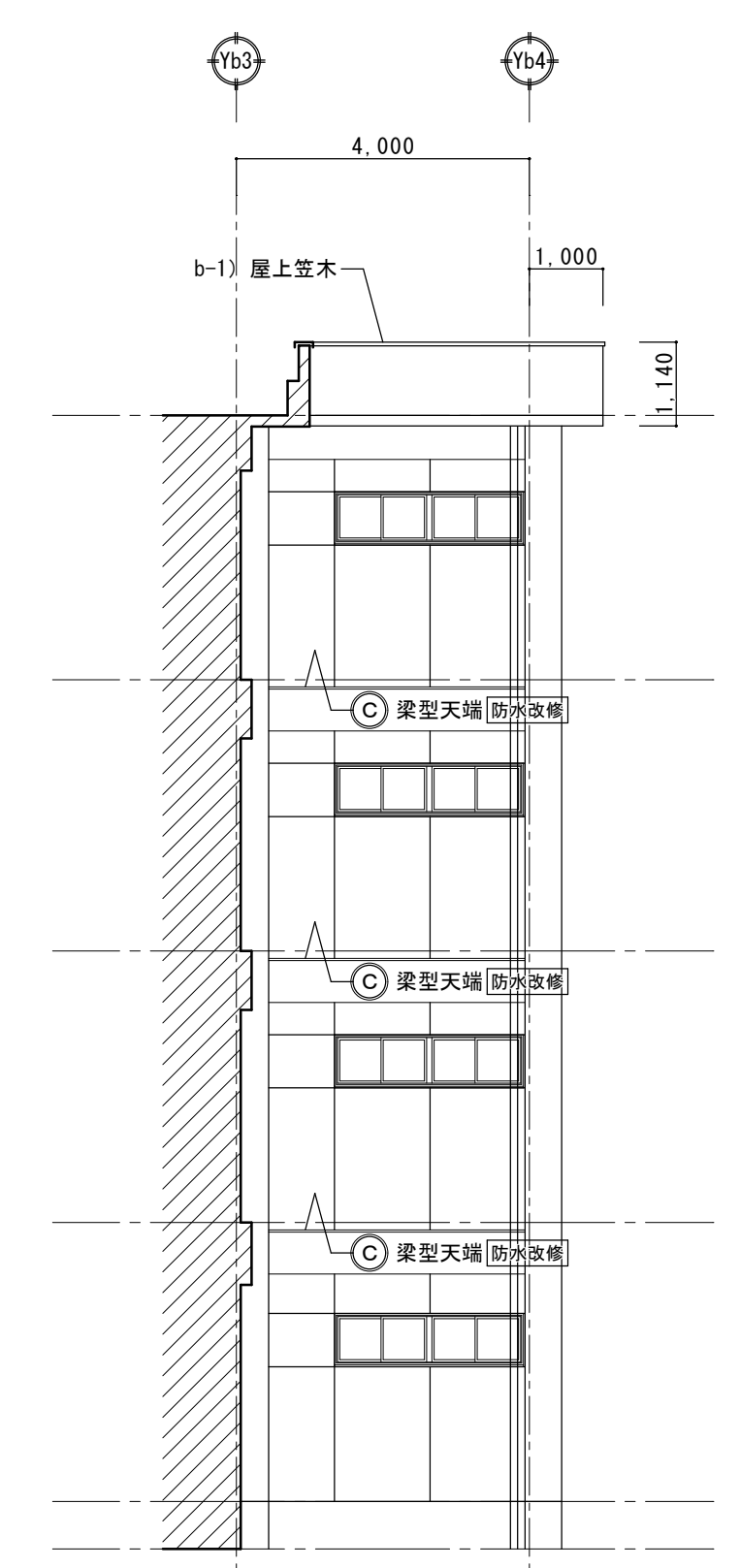
B 棟 PH 屋上 (東側立面)



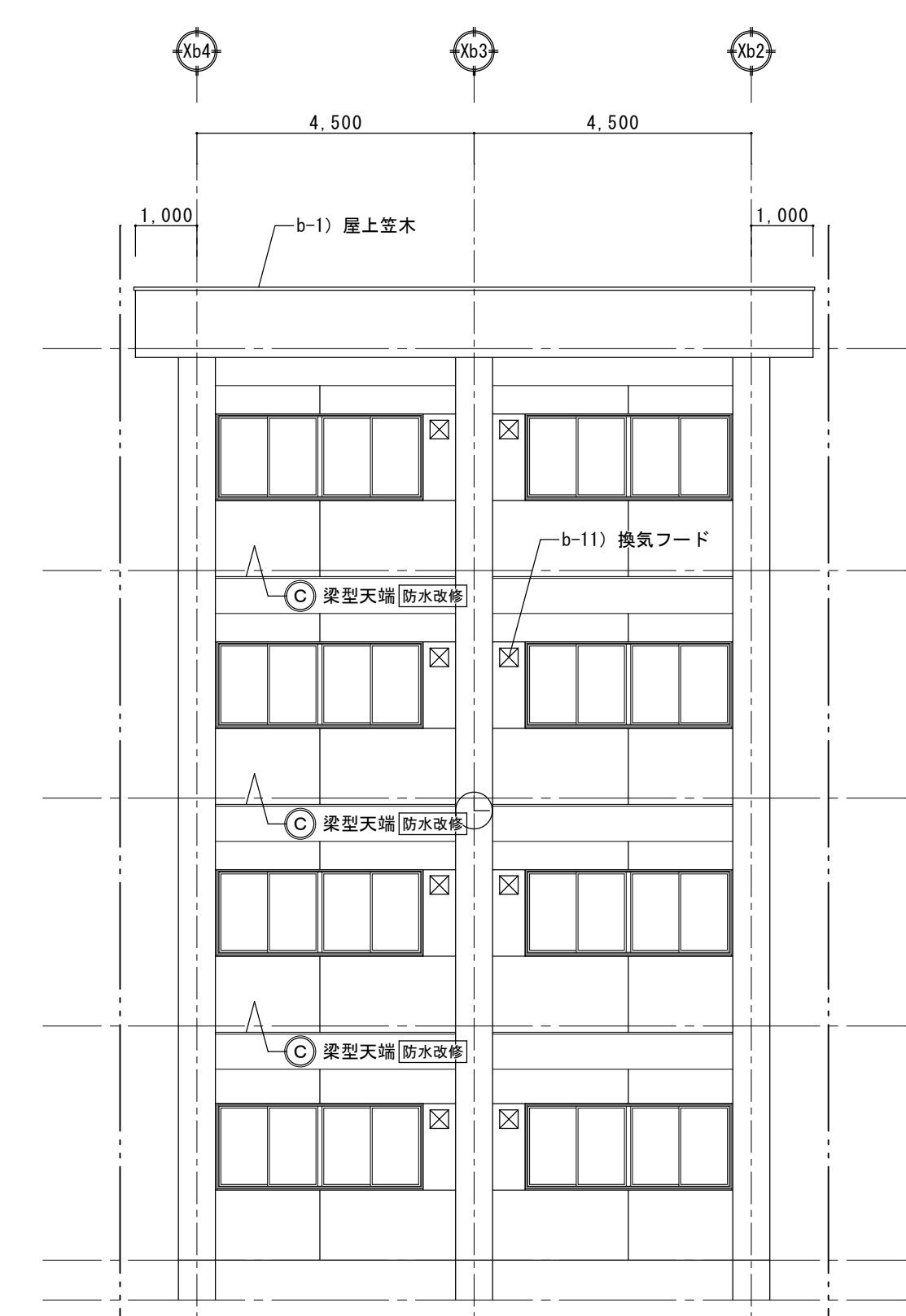
B 棟 PH 屋上 (北側立面)



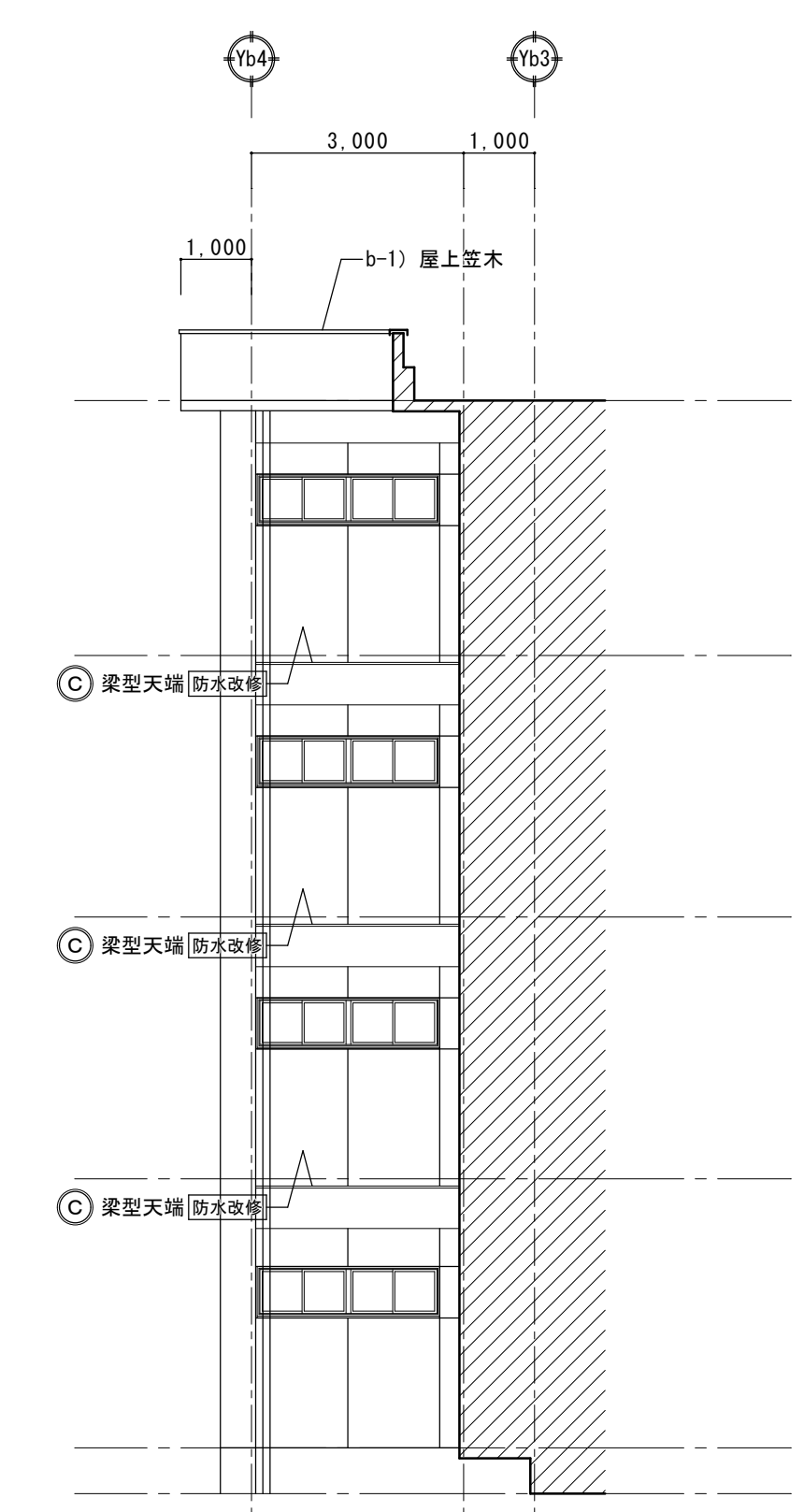
B 棟 PH 屋上 (西側立面)



X b 4 壁面 (東側立面)



Y b 4 壁面 (北側立面)

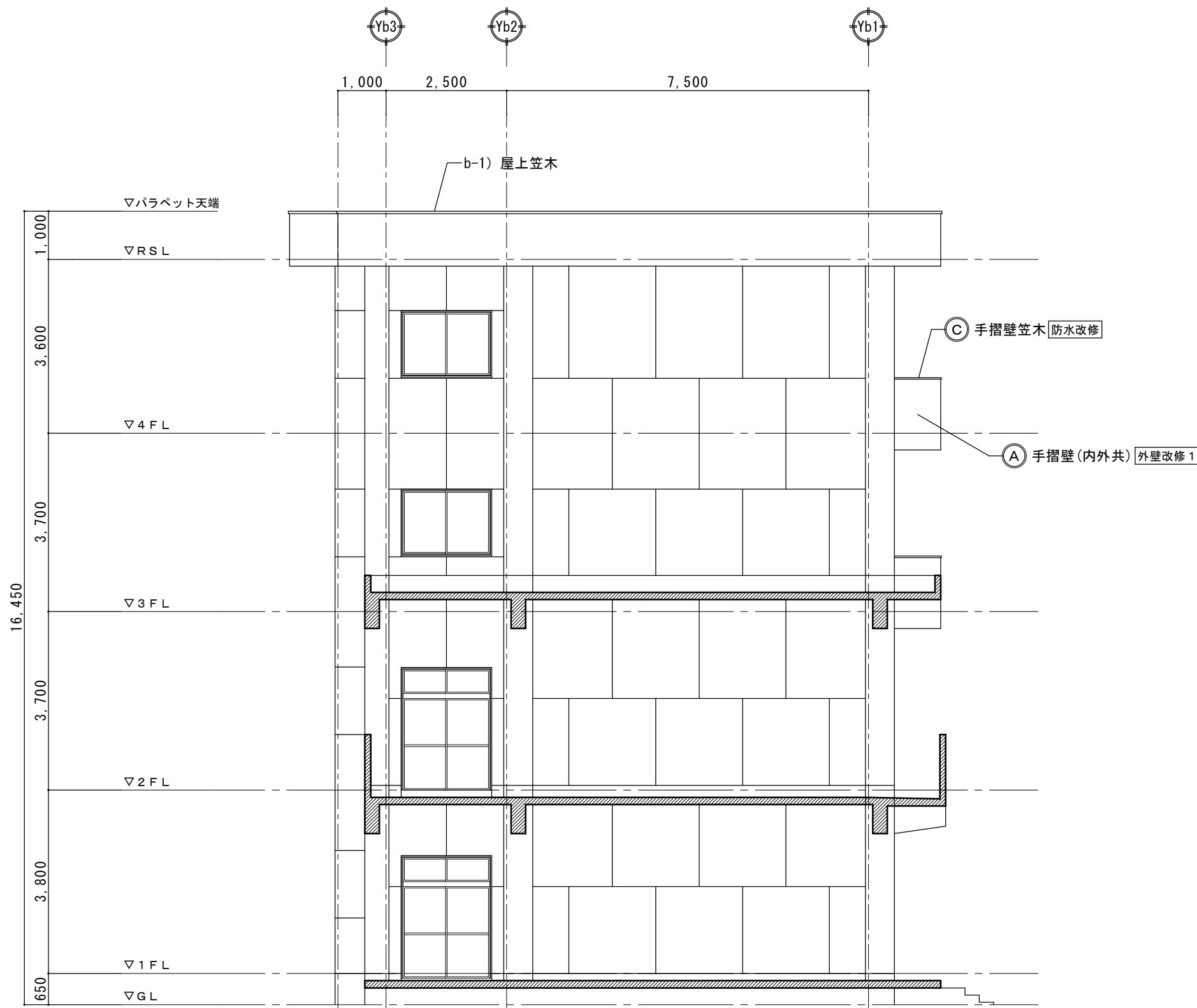


X b 2 壁面 (西側立面)

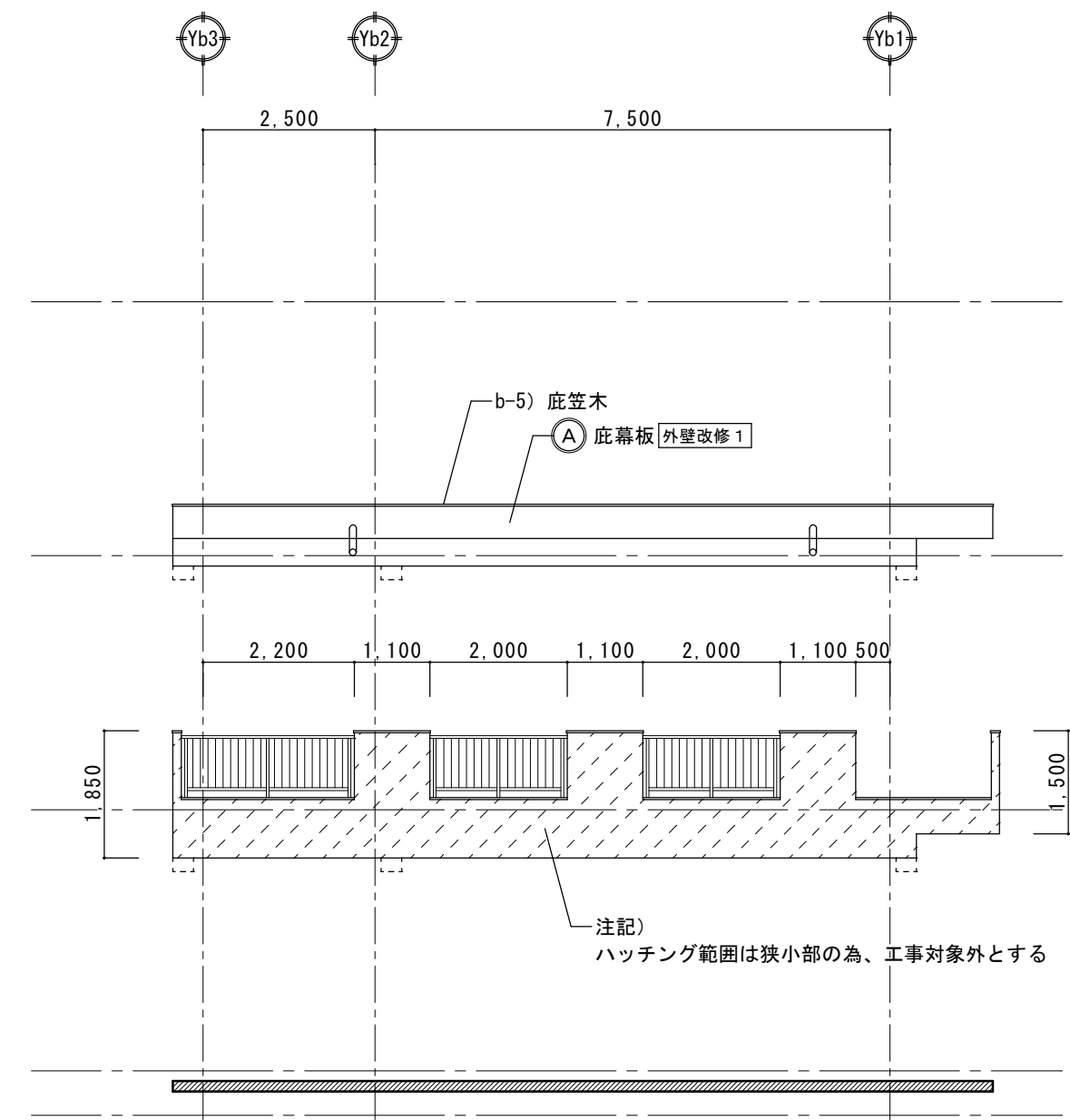
特記事項)
 ・外壁面は特記無き限り、全面塗装改修対象とする。
 ・壁面に付随する各設備機器類、盤類、配管、配線類の対応については別図参照の事。
 その他、図中記載無き軽微な配管、配線類の対応については存置のまま改修工事施工とする。

・壁面に付随する小屋裏換気パイプ、給排水フードについては特記無き限り存置のまま工事施工とする。
 ・壁面に付随する図中記載無き金物類について、明らかに不要と思われるものについては可能な限り撤去とする。
 その他不明物については監督員に報告の上、現場指示により対応を図る事。

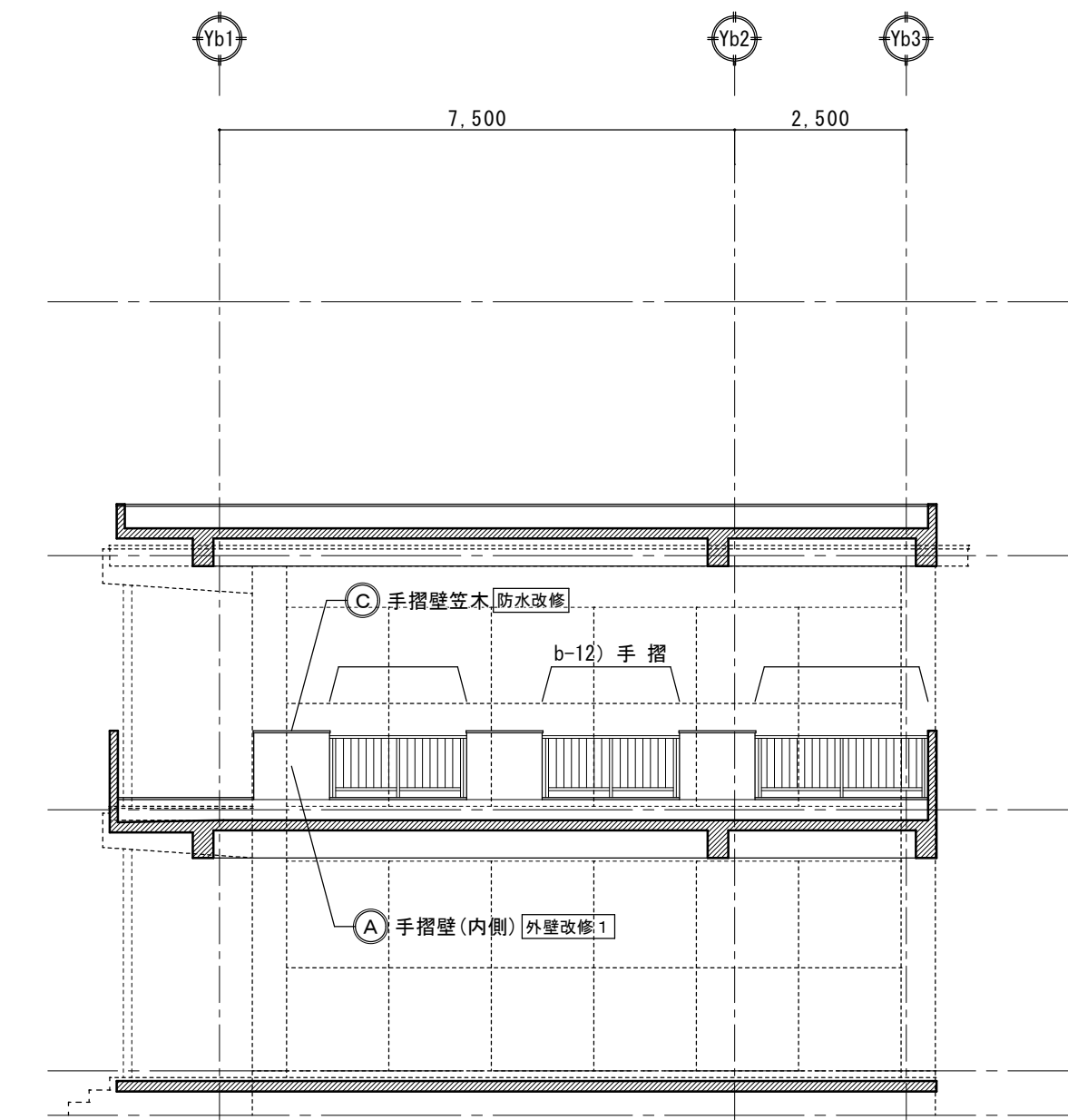
番号	部 位	既存仕上	改 修 内 容
b-1	屋上笠木	アルミ製 W=250	既存撤去の上、新設：既製品カラーアルミ製 W=250
b-5	庇笠木	ウレタン塗膜防水	(既存のまま)
b-6	外部階段	鉄部 SOP 塗装	塗装改修
b-12	手 摺	アルミ製 縦格子タイプ	既存撤去の上、新設：アルミ製 縦格子タイプ H=1,200 B. P L 固定 ※床面に固定取付



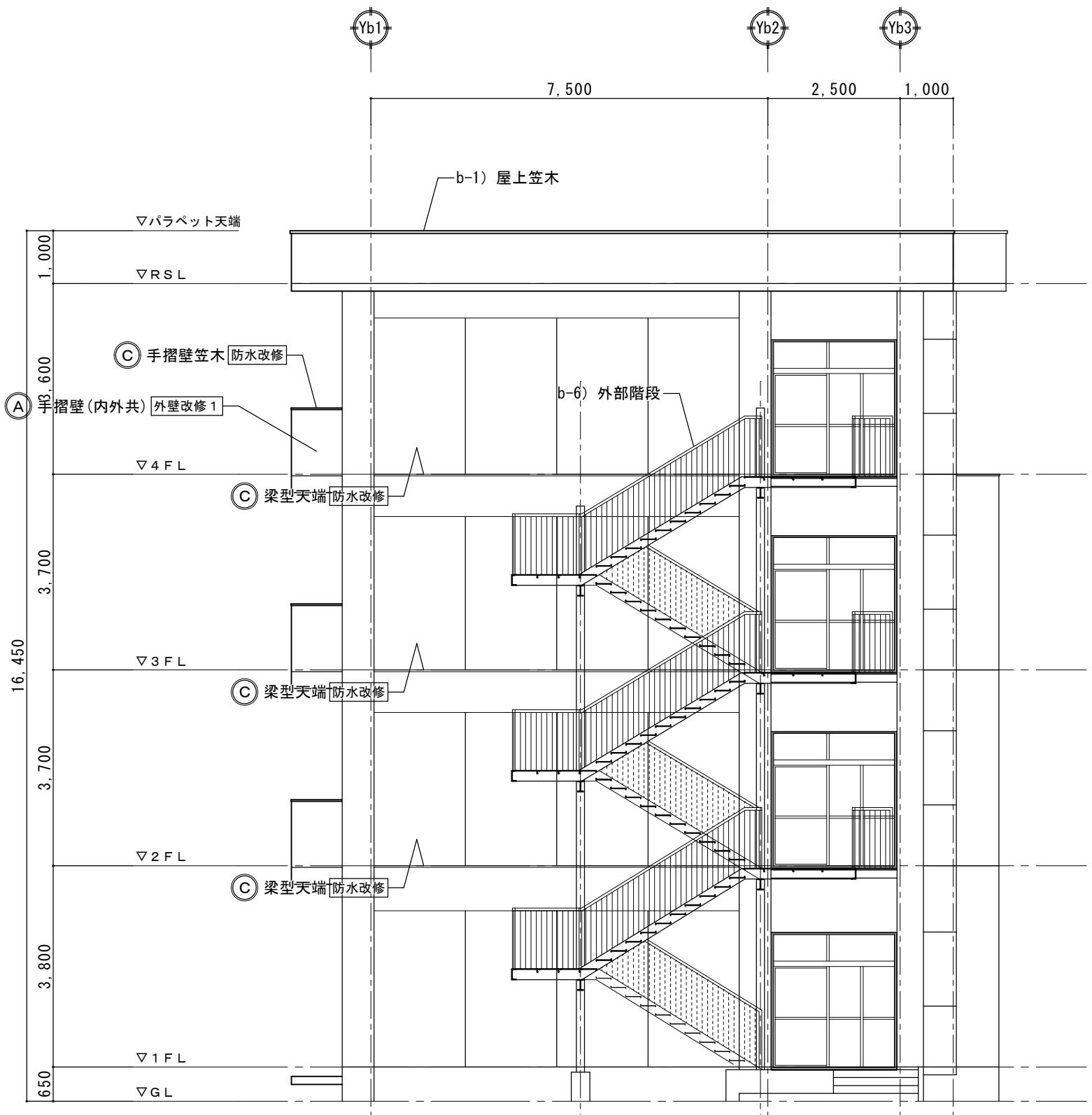
X b 1 壁面 (西側立面)



X b 1 -2,200 壁面 (西側立面)



X b 1 -2,200 壁面 (東側立面)



X b 8 壁面 (東側立面)

■ 既存外部仕上表

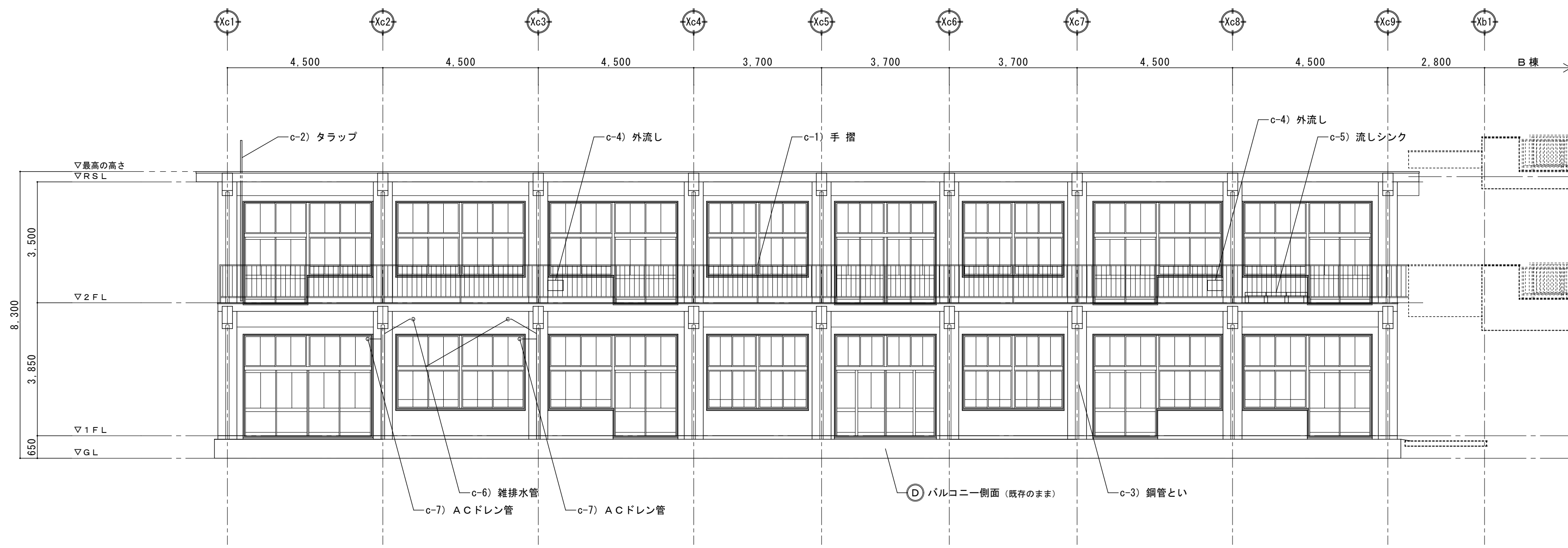
記 号	仕 上	石積含有の有無
(A)	コンクリート打放し、アクリルリシン吹付	(無し)
(B)	コンクリート打放し、吹付タイル	(無し)
(C)	防水モルタル金線仕上げ	(無し)
(D)	モルタル金線仕上げ	(無し)

共通 打継、化粧目地：シーリング W=20 改修内容) 既存撤去、充填打替え

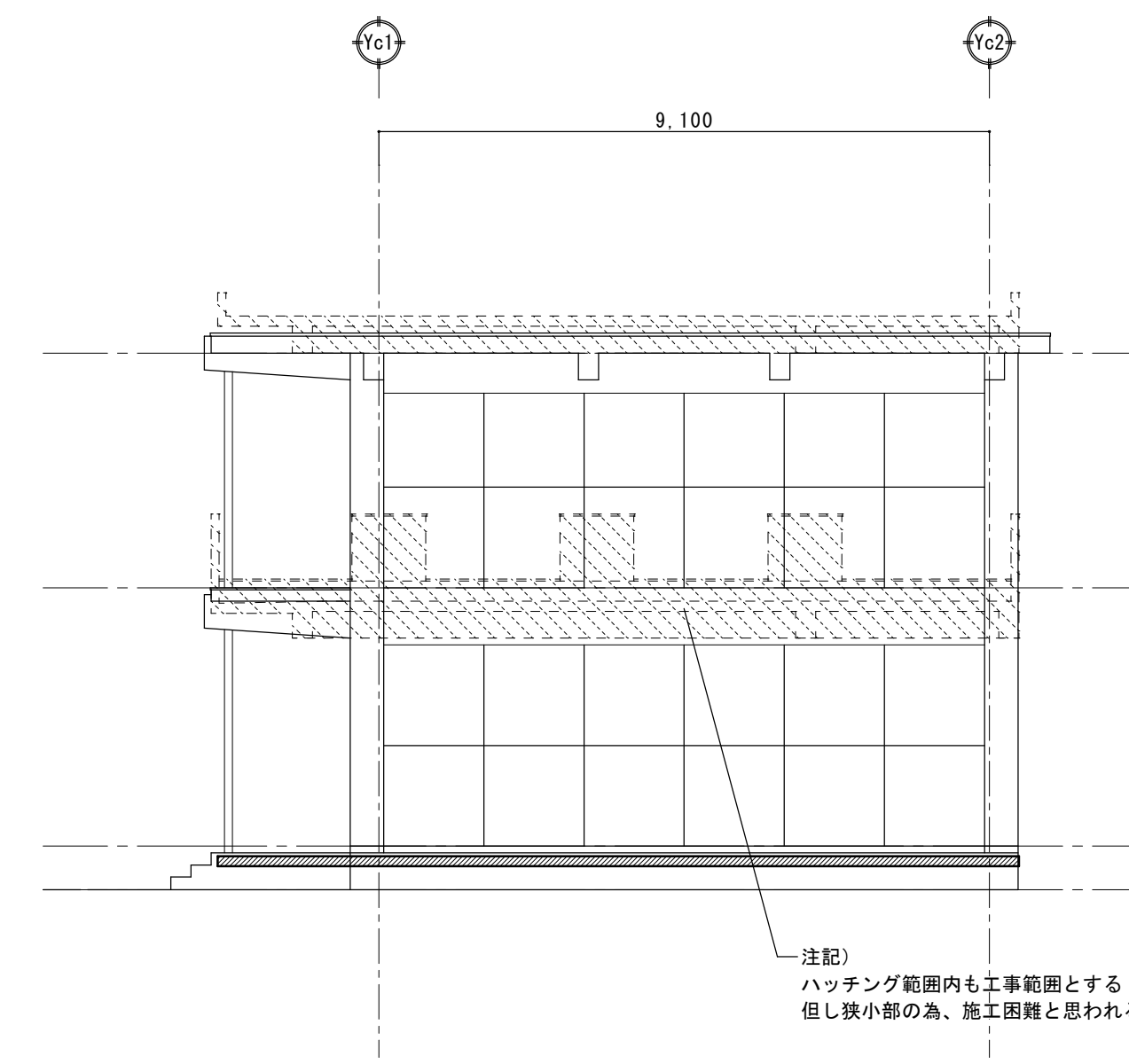
■ 改修共通凡例

外壁改修1・外壁面一般仕様 下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2 仕上) 防水形複層塗材 E
外壁改修2・見上面一般仕様 下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1 仕上) 外装薄塗材 E
外壁改修3・巾木面仕様 下地処理) 劣化部補修 仕上) 樹脂モルタル薄塗り
防水改修・天端面仕様 下地処理) 劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布 仕上) ウレタン塗膜防水 X-2
塗装改修・鉄部面仕様 下地調整) 鉄部RB種 塗装) 錆止め + DP (1級) 塗装

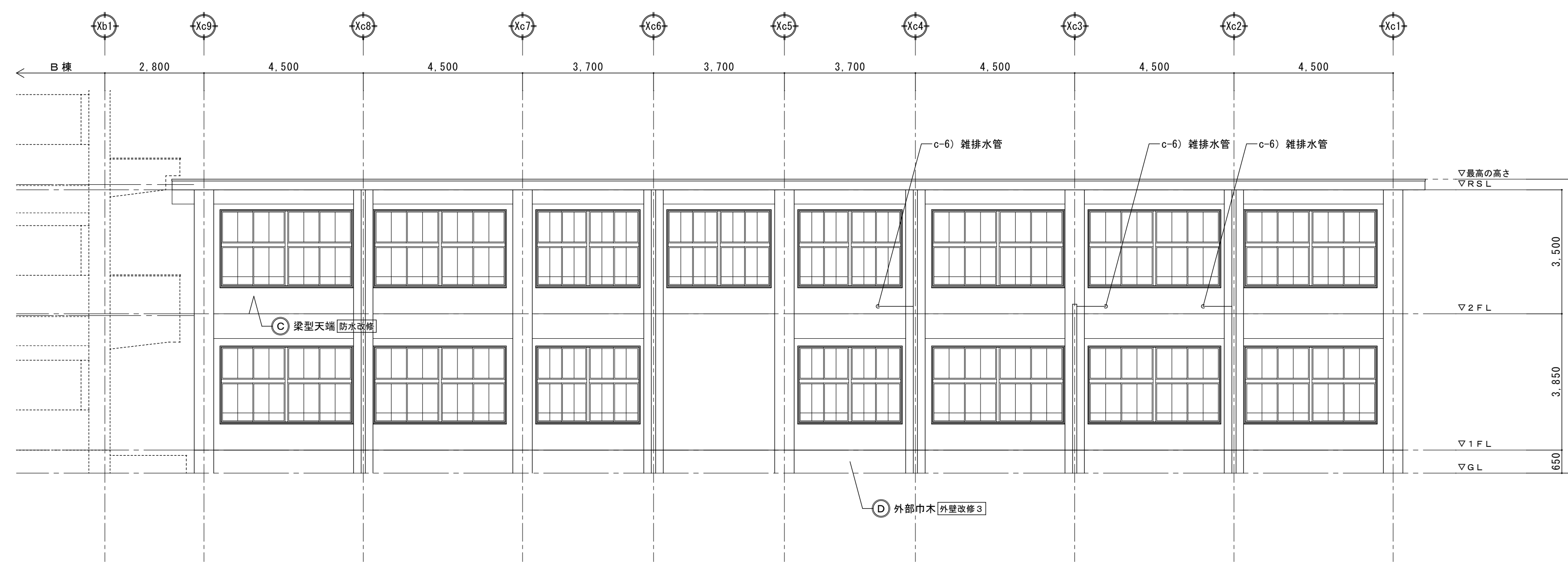
注記) 特記無き一般外壁、柱型、梁型面は (A) 外壁改修1 とする



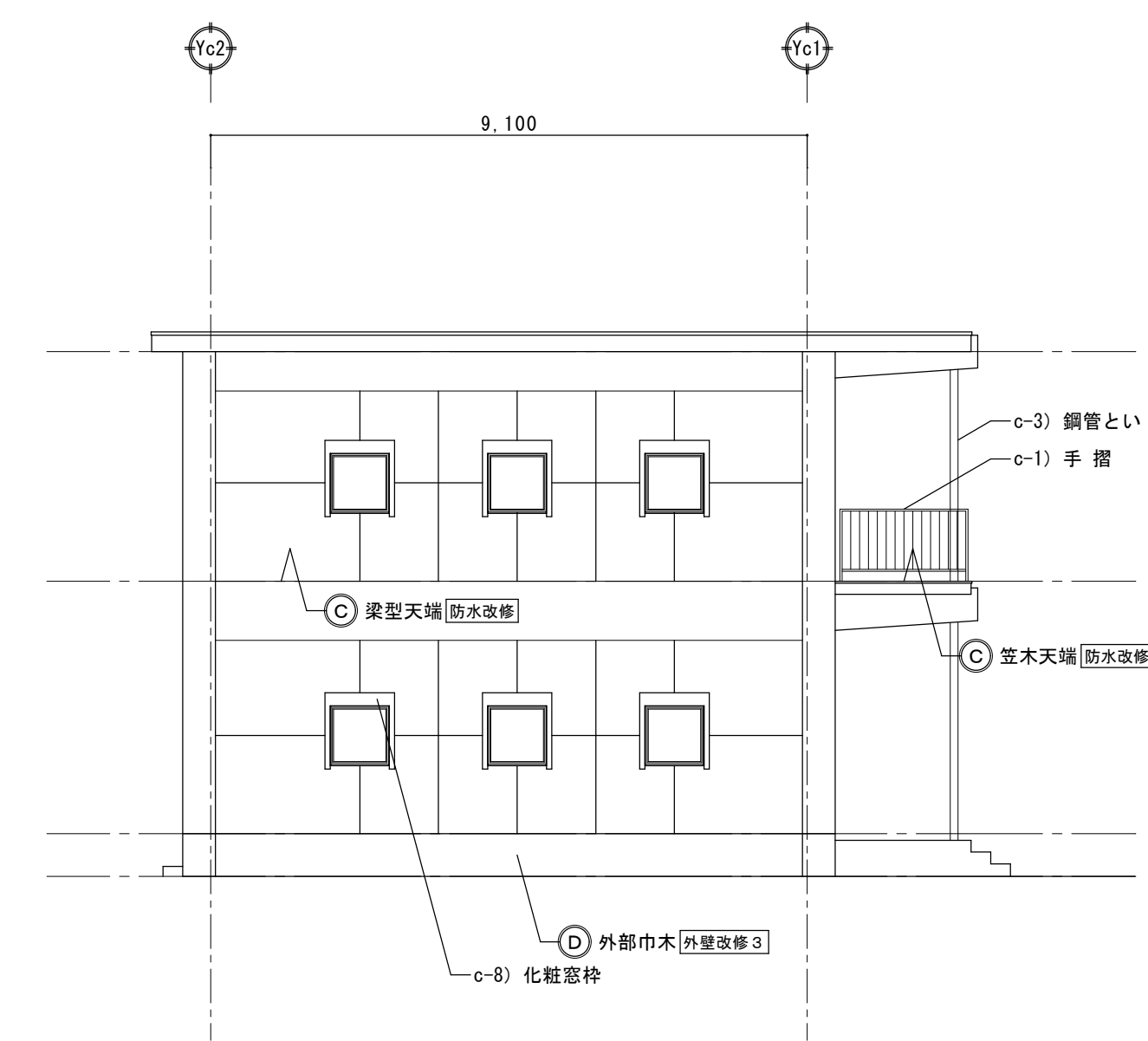
【C棟】南側立面図



【C棟】東側立面図



【C棟】北側立面図



【C棟】西側立面図

注記) 特記無き一般外壁、柱型、梁型面は (E) 外壁改修4) とする

■ 既存外部仕上表

記号	仕上	石綿含有の有無
(E)	コンクリート打放し、プラスターリシン吹付	有り
(C)	防水モルタル金網仕上げ	(無し)
(D)	モルタル金網仕上げ	(無し)

共通 打継、化粧目地: シーリング W=20 改修内容) 既存撤去、充填打替え

番号	部位	既存仕上	改修内容
c-1	手摺	スチール製 SOP 塗装	塗装改修
c-2	タラップ	スチール製 梯子型 W=400 H=4,500	塗装改修
c-3	鋼管とい	SGP-φ100 SOP 塗装	塗装改修
c-4	外流し	モルタル金網	(既存のまま)
c-5	流しシンク	C B置き基礎 + 人研ぎ流し台	既存撤去の上、床面モルタル金網補修
c-6	雑排水管	VP-φ75	一時撤去、再取付
c-7	ACドレン管	VP-φ25	一時撤去、再取付

番号	部位	既存仕上	改修内容
c-8	化粧窓枠	人研ぎ製 D=100	(既存のまま)

■ 改修共通凡例

外壁改修4)・外壁面仕様(石綿除去) 下地処理) 吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事 劣化部補修の上、下地調整材塗り CM-2 仕上) 防水形複層塗材 E	外壁改修3)・巾木面仕様 下地処理) 劣化部補修 仕上) 樹脂モルタル薄塗り
外壁改修5)・見上面仕様(石綿除去) 下地処理) 吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事 劣化部補修の上、下地調整材塗り CM-2 仕上) 外装薄塗材 E	防水改修)・天端面仕様 下地処理) 劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布 仕上) フレタン塗膜防水 X-2
	塗装改修)・鉄部面仕様 下地調整) 鉄部RB種 塗装) 錆止め + DP (1級) 塗装

特記事項)
 ・外壁面は特記無き限り、全面塗装改修対象とする。
 ・壁面に付随する各設備機器類、盤類、配管、配線類の対応については別図参照の事。
 その他、図中記載無き軽微な配管、配線類の対応については存置のまま改修工事とする。

・壁面に付随する小屋裏換気パイプ、給排水フードについては特記無き限り存置のまま工事とする。
 ・壁面に付随する図中記載無き金物類について、明らかに不要と思われるものについては可能な限り撤去とする。
 その他不明物については監督員に報告の上、現場指示により対応を図る事。

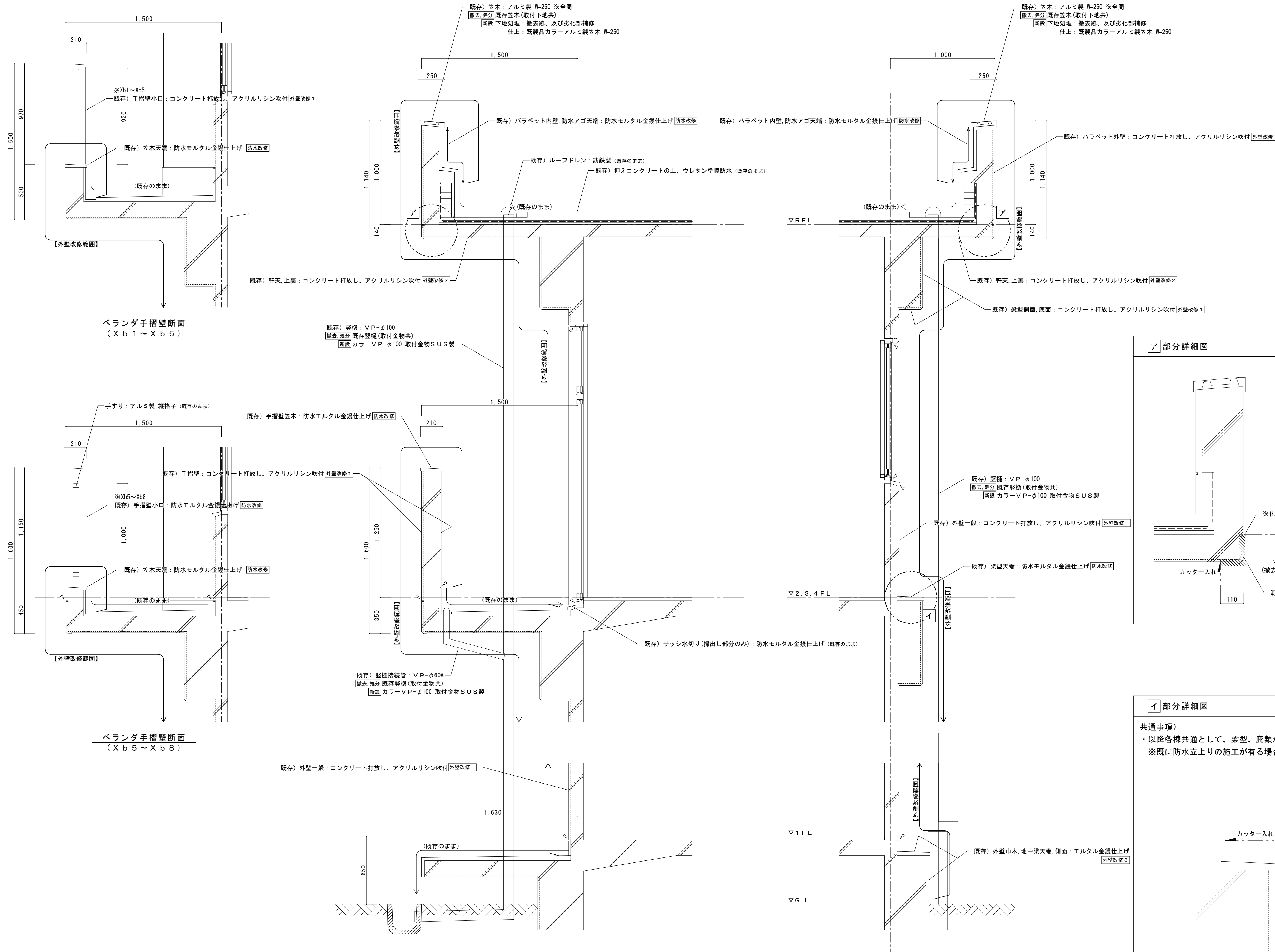
百間中学校B・C棟外壁改修工事

【C棟】立面図 4

SCALE A1 1/100

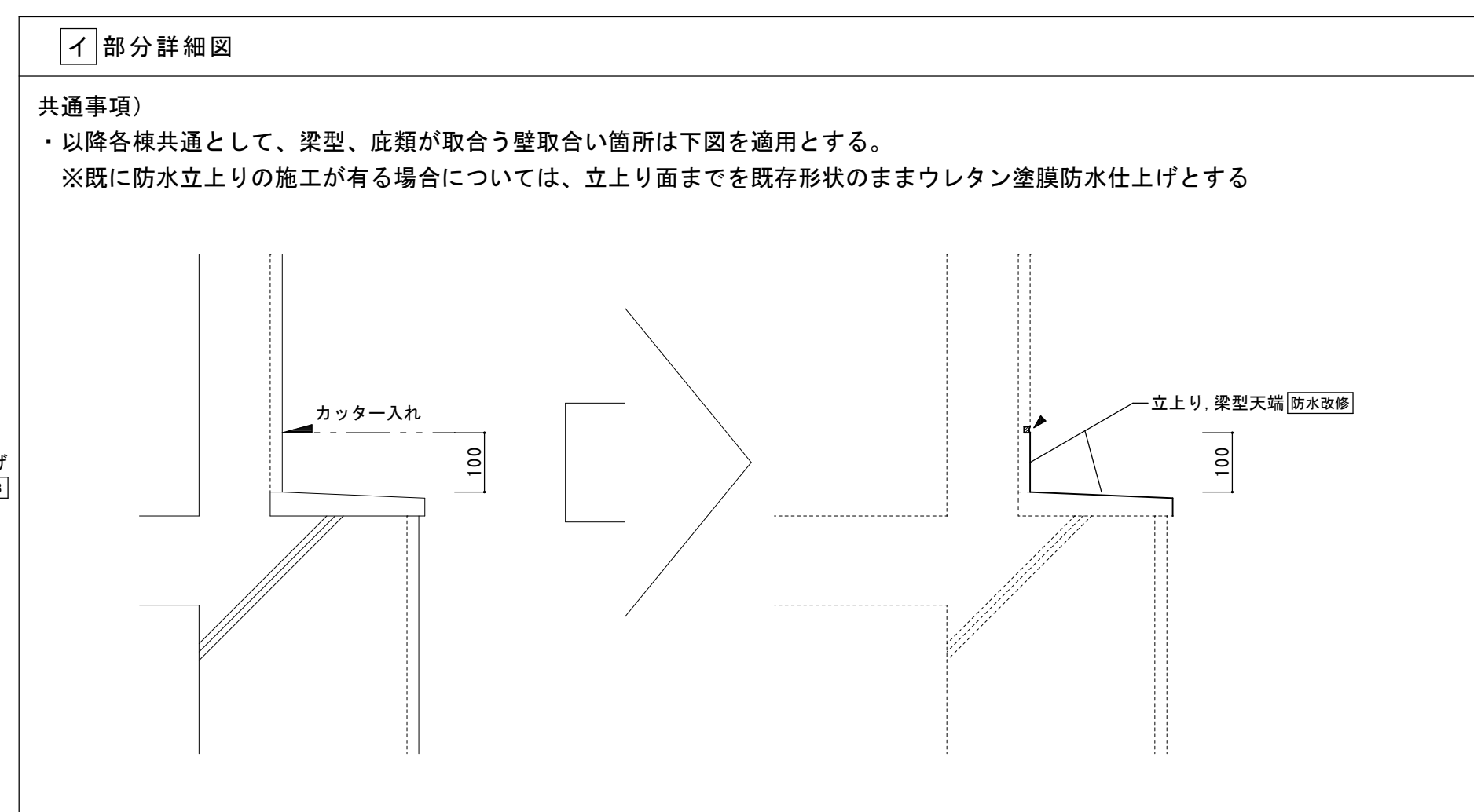
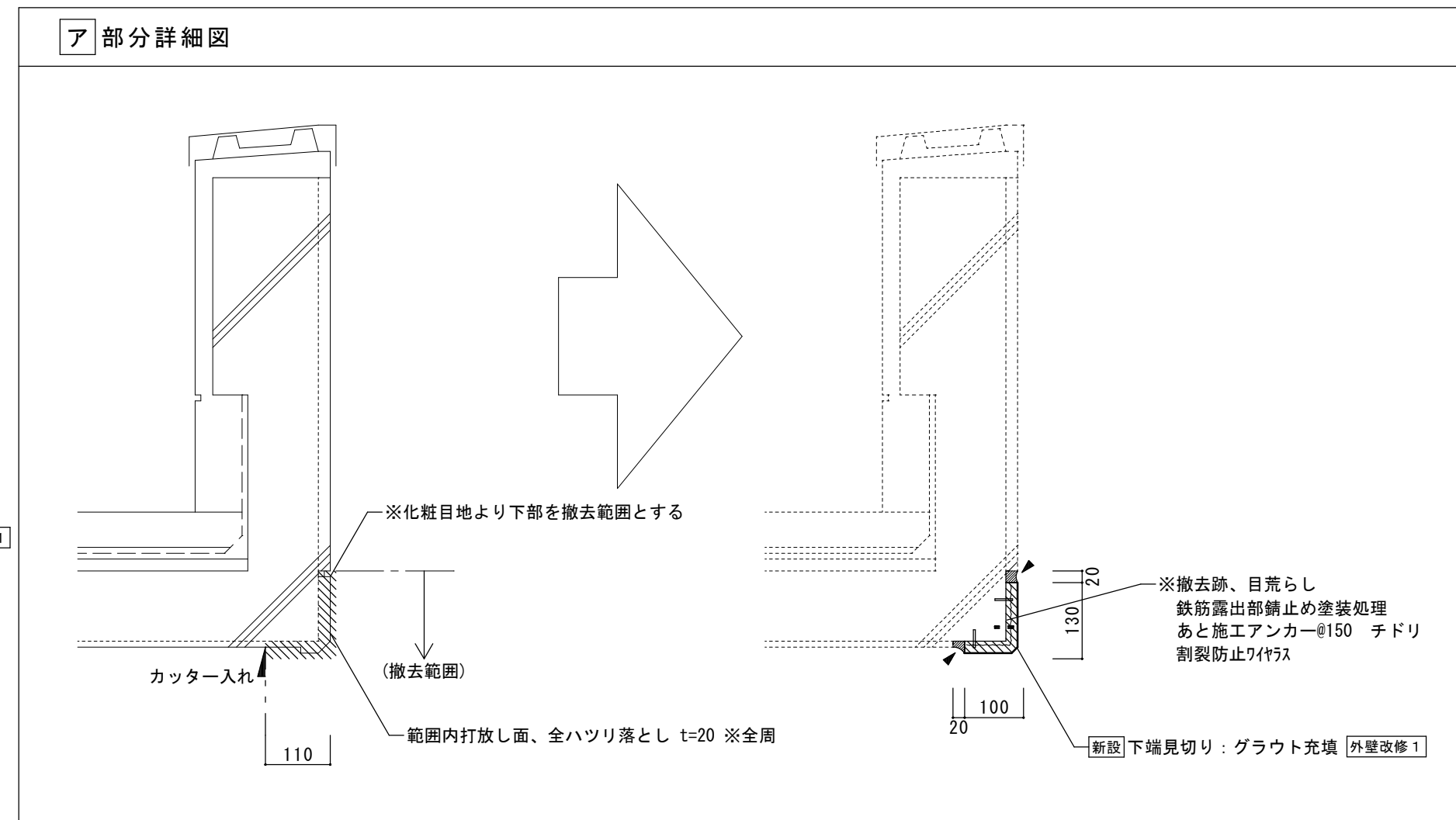
宮代町教育推進課

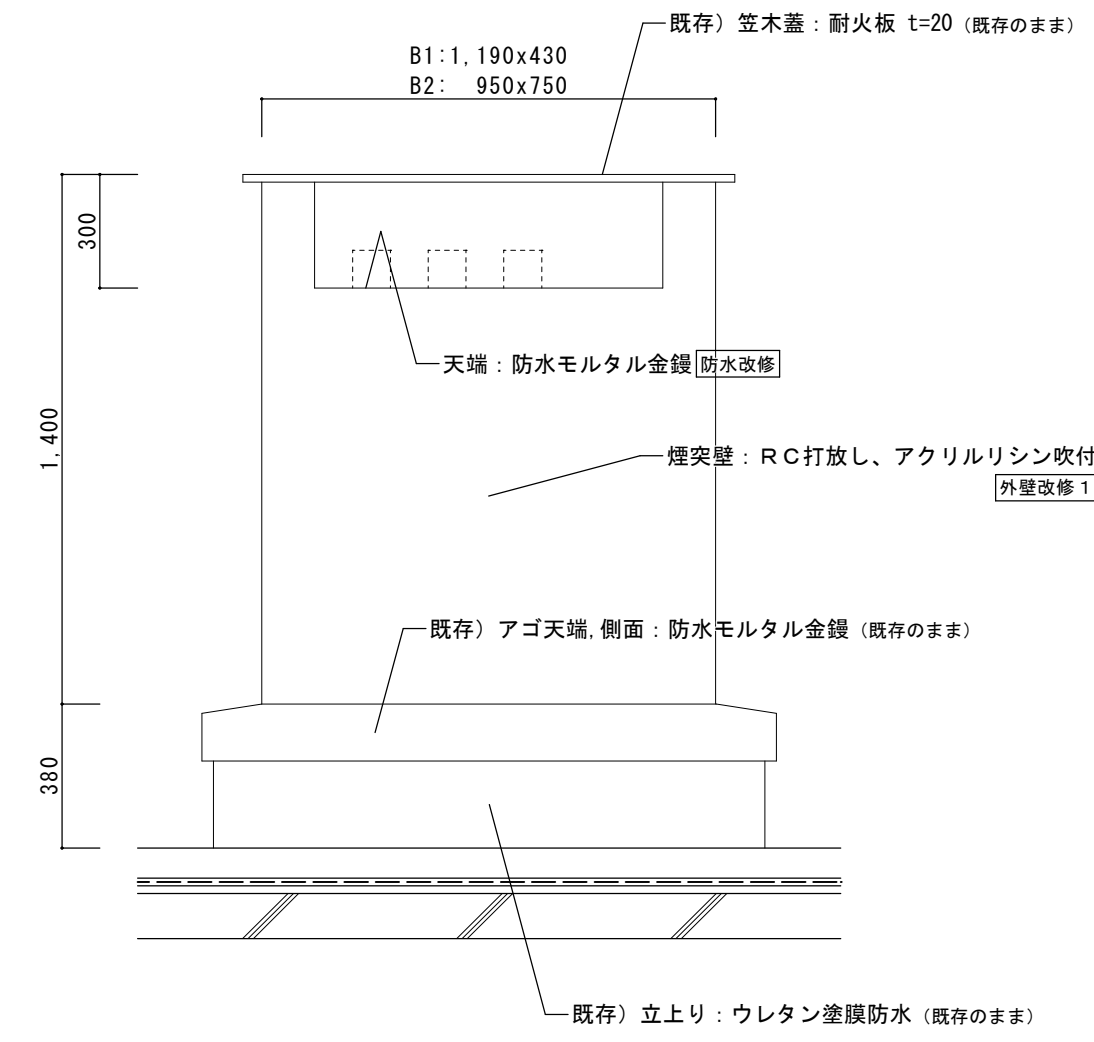
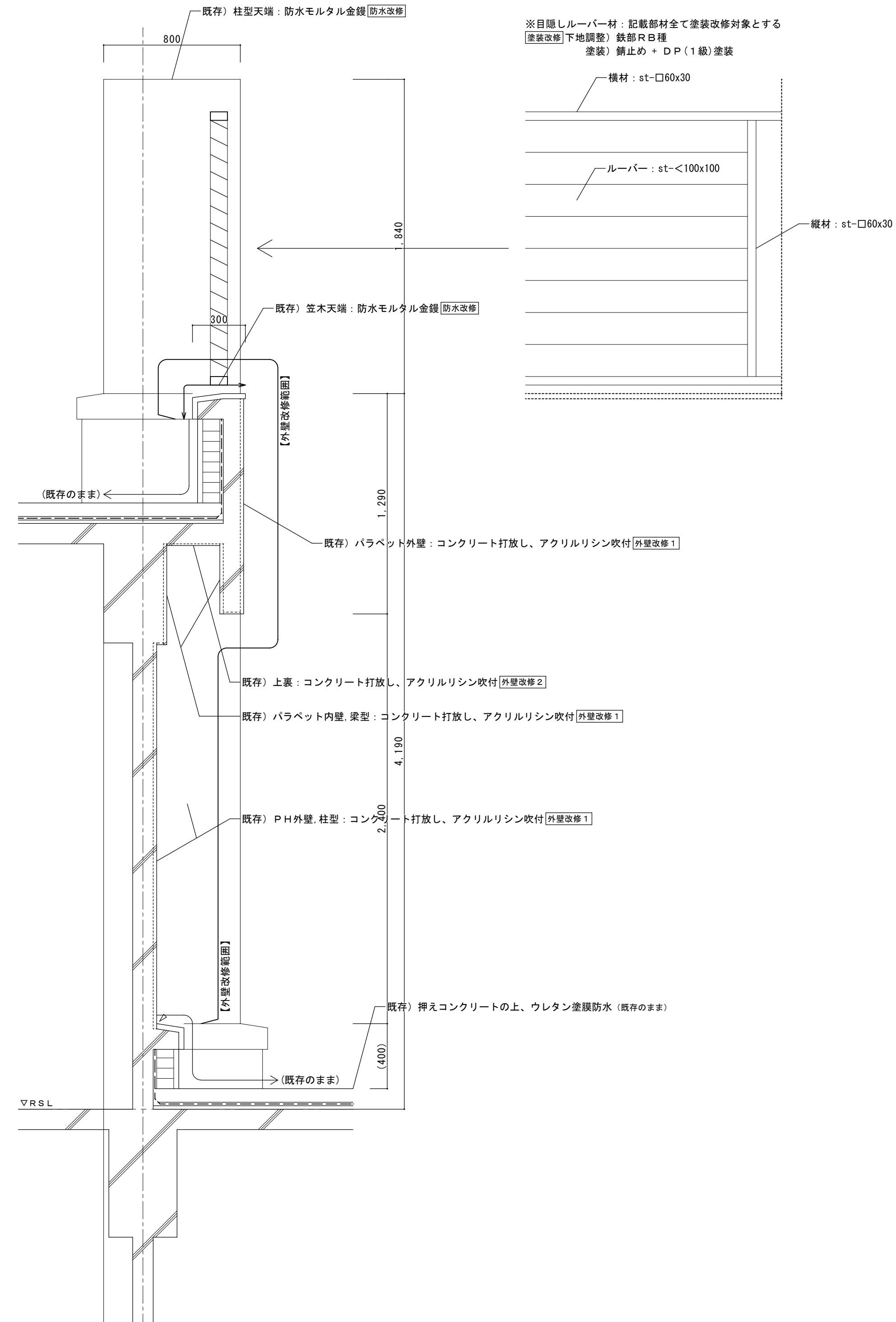
A-26



- 改修共通凡例
- 外壁改修1・外壁面一般仕様
下地処理 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2
仕上 防水形復原塗材 E
 - 外壁改修2・見上面一般仕様
下地処理 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1
仕上 外装薄塗材 E
 - 外壁改修3・巾木面仕様
下地処理 劣化部補修
仕上 樹脂モルタル薄塗材
 - 防水改修・天端面仕様
下地処理 劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布
仕上 ウレタン塗膜防水 X-2

- シーリング新設
 - シーリング打替え
- 特記事項
・図中凡例表記の記載無き箇所についても外壁改修対象面に既存シーリング処理がある場合については、本工事対象とし、シーリングの打替えを行う事





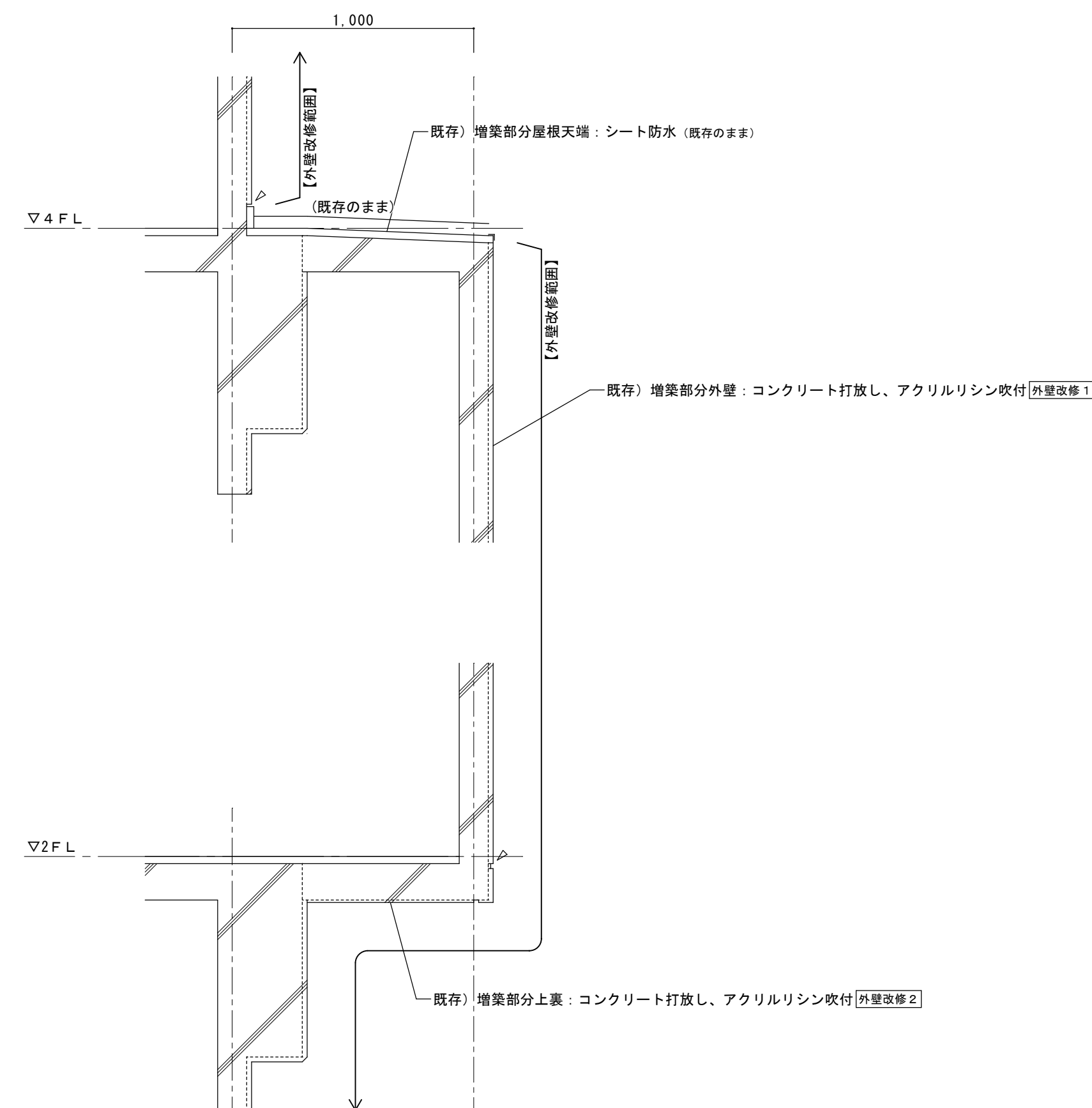
■ 改修共通凡例

- 外壁改修1・外壁面一般仕様
下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2
仕上) 防水形復原塗材 E
- 外壁改修2・見上面一般仕様
下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1
仕上) 外装薄塗材 E
- 外壁改修3・巾木面仕様
下地処理) 劣化部補修
仕上) 樹脂モルタル薄塗り
- 防水改修・天端面仕様
下地処理) 劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布
仕上) ウレタン塗膜防水 X-2

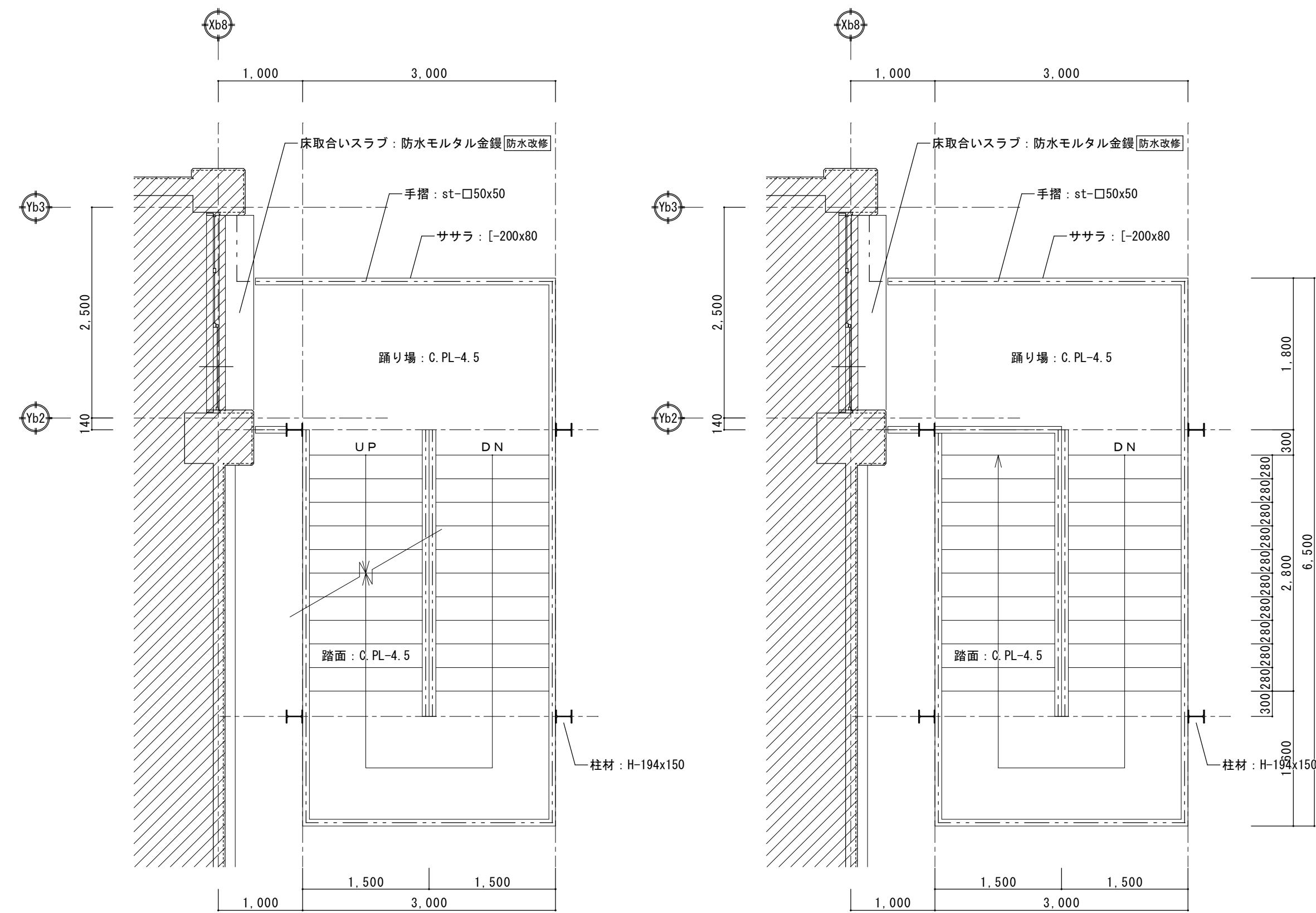
- ◀ シーリング新設
- ◀ シーリング打替え

特記事項)
・箇中凡例表記の記載無き箇所についても外壁改修対象面に既存シーリング処理がある場合については、本工事対象とし、シーリングの打替えを行う事

※DW増築部分もこれに準ずる

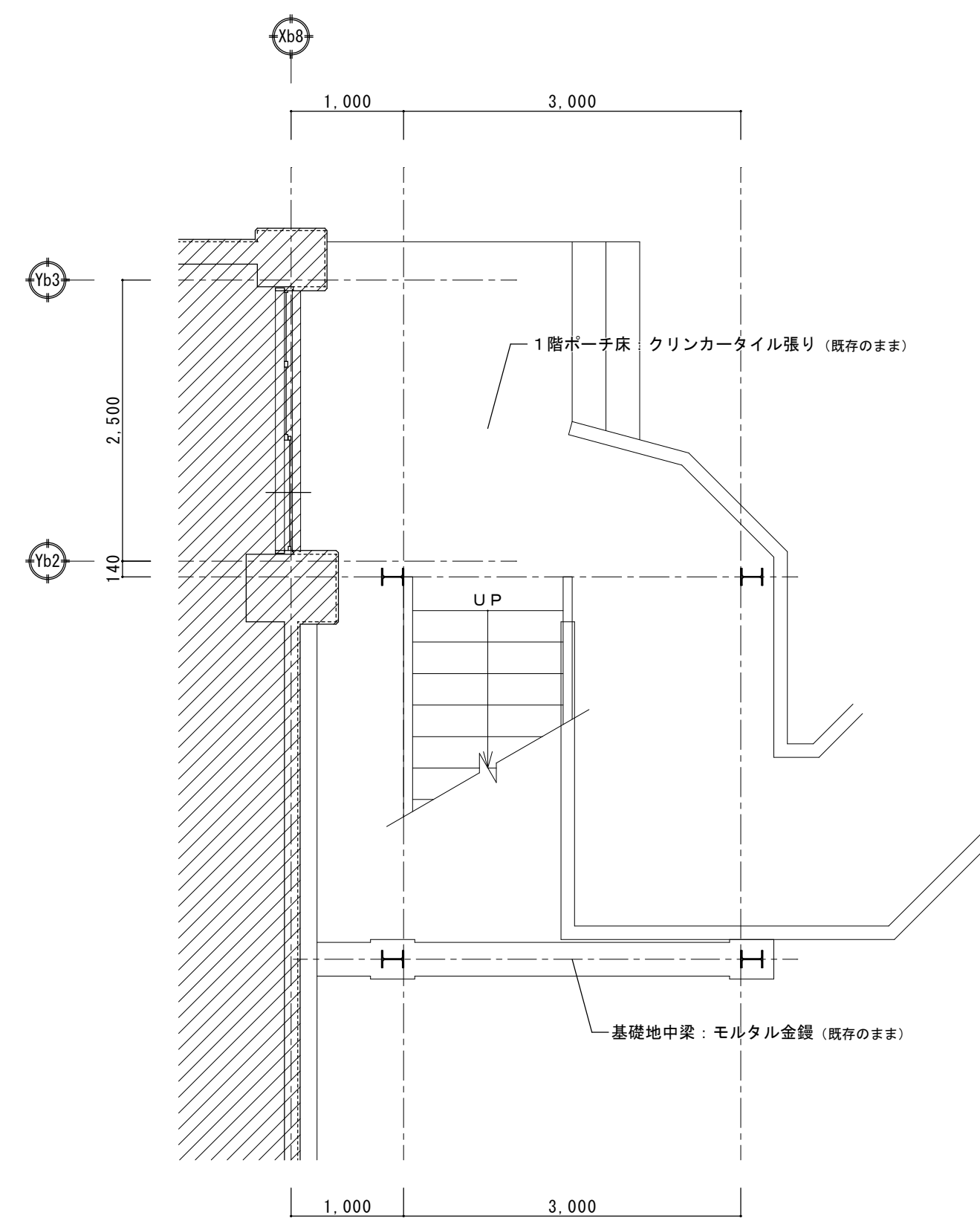


※屋外階段構成部材：露出鉄部面は全て塗装改修対象とする
 (塗装改修) 下地調整) 鉄部R B種
 塗装) 錆止め + DP (1級) 塗装

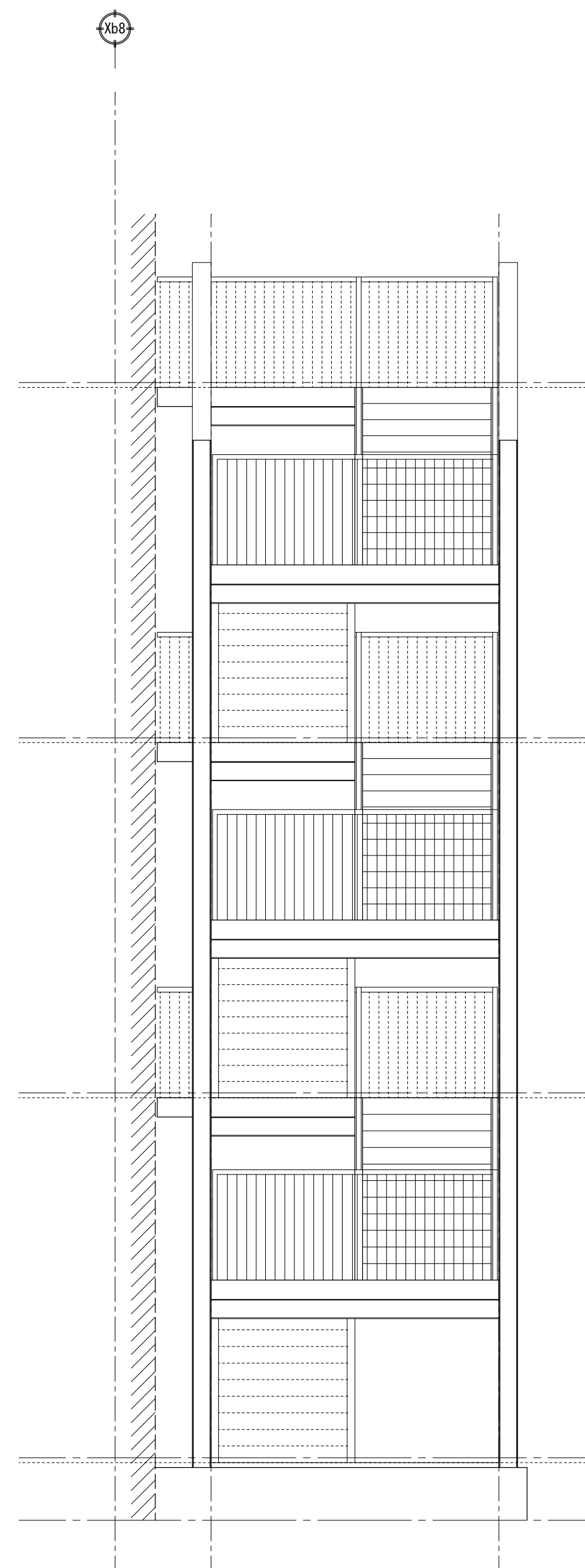


2・3階平面図 S=1/50

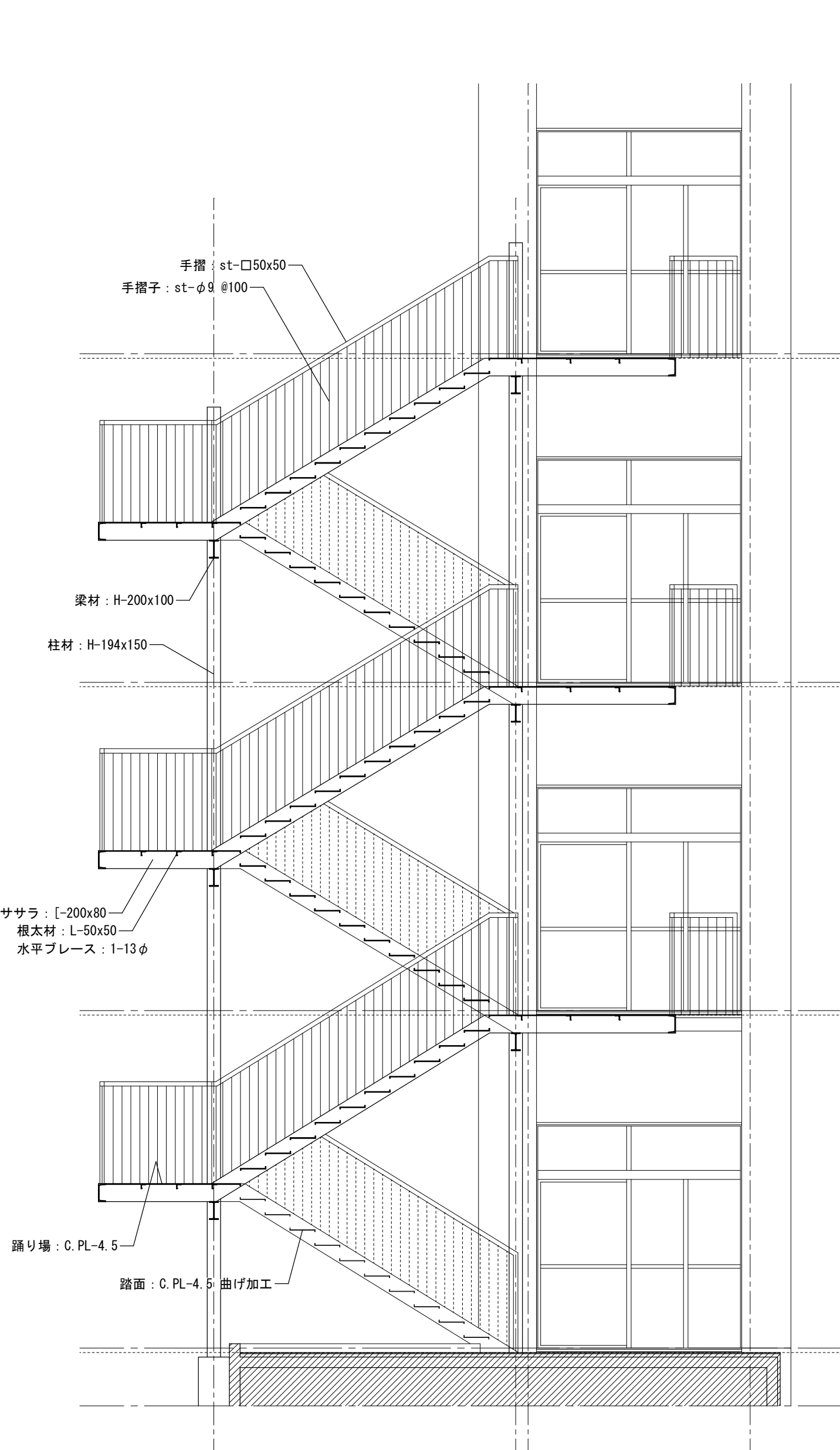
4階平面図 S=1/50



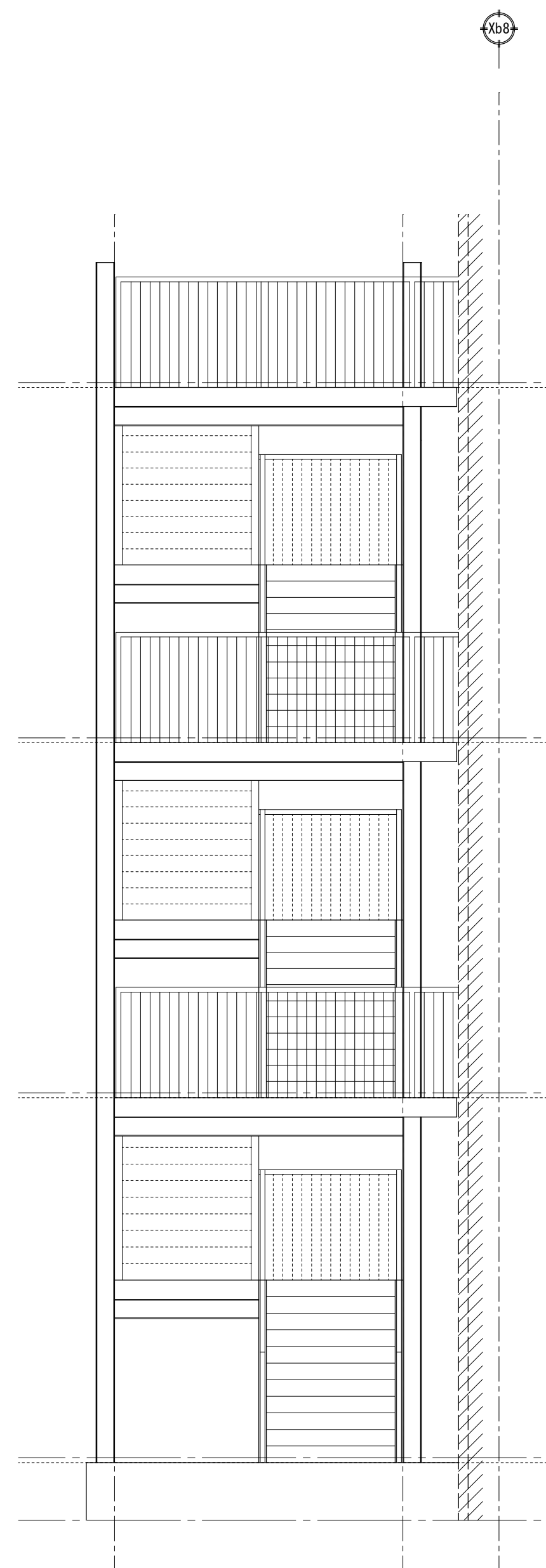
1階平面図 S=1/50



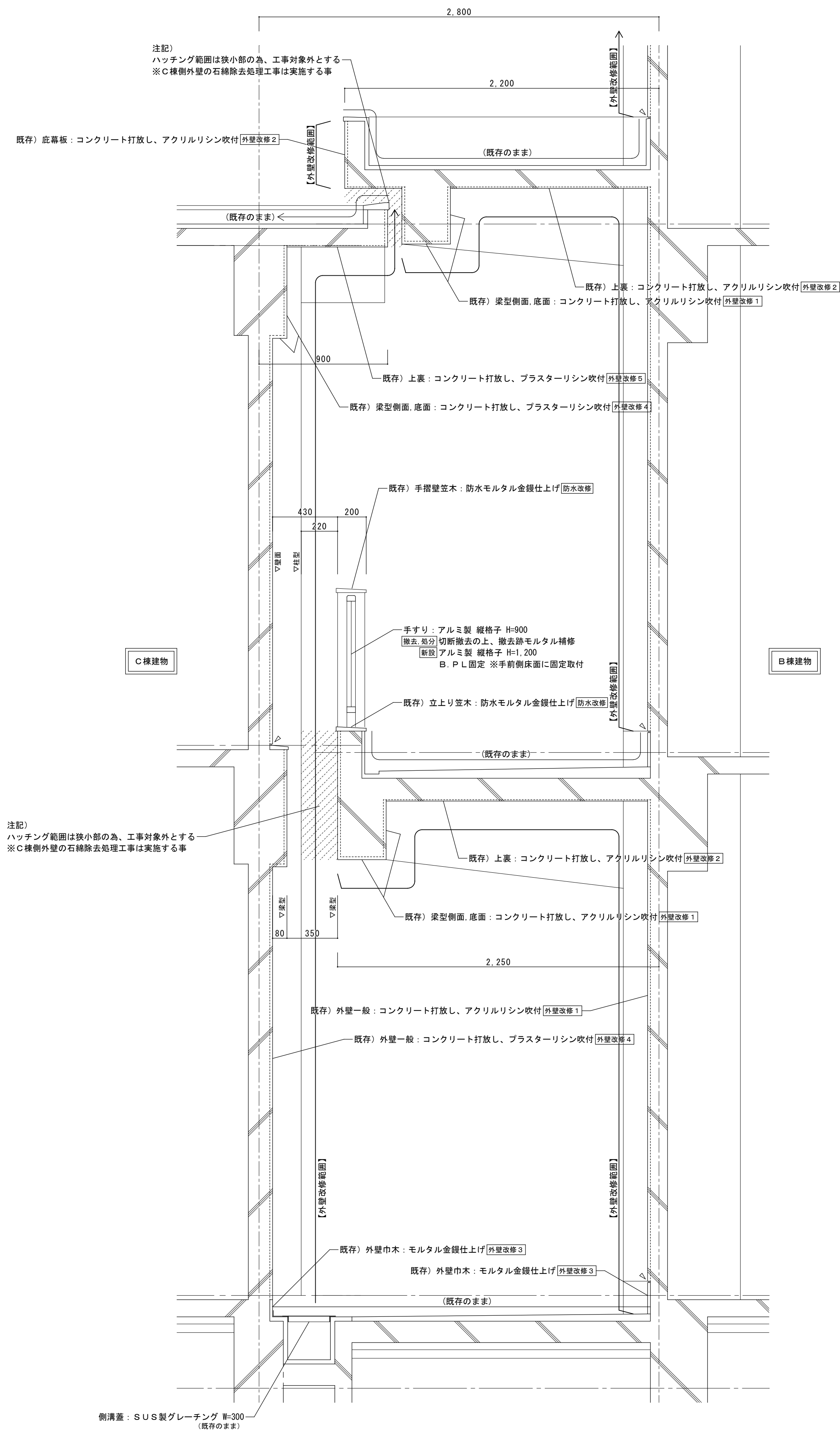
南面立面図



断面図 S=1/50

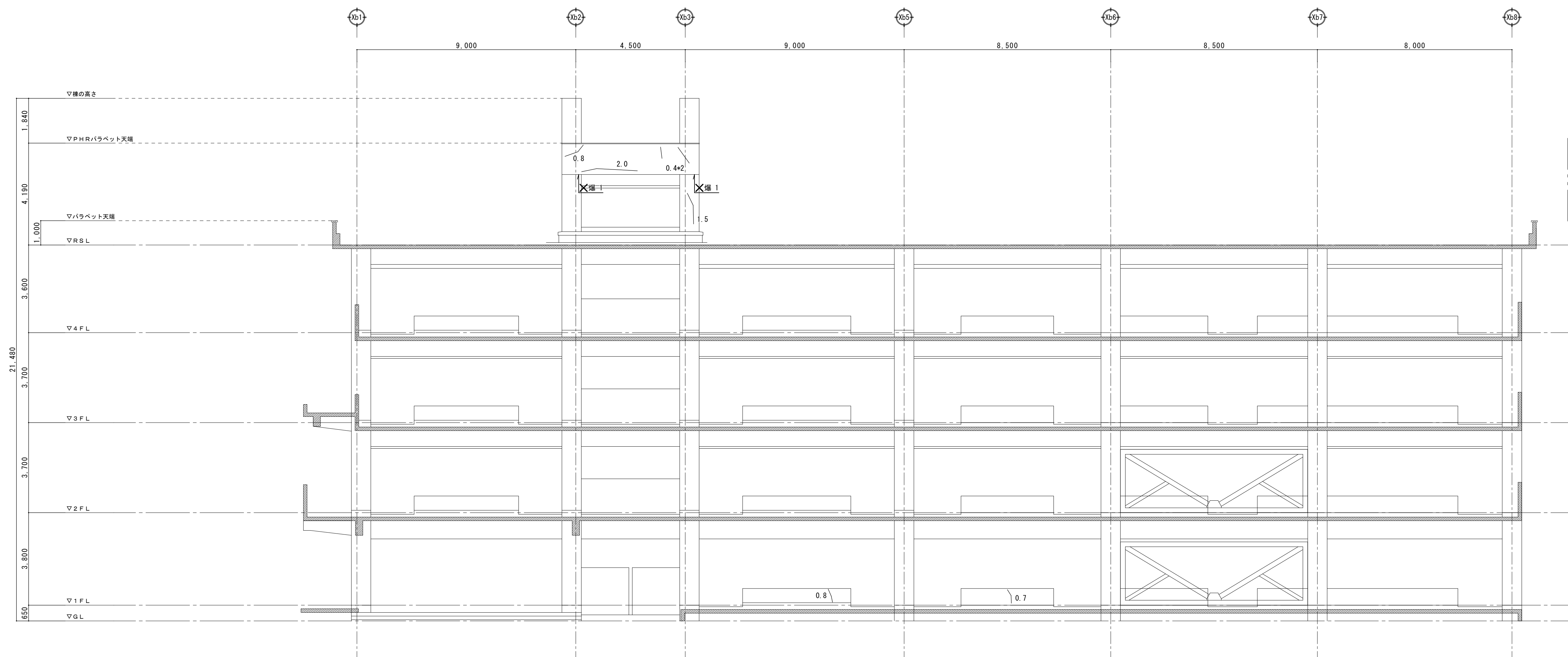


北面立面図



- 改修共通凡例
- 外壁改修1・外壁面一般仕様
下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2
仕上) 防水形複層塗材 E
 - 外壁改修2・見上面一般仕様
下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1
仕上) 外装薄塗材 E
 - 外壁改修3・巾木面仕様
下地処理) 劣化部補修
仕上) 樹脂モルタル薄塗り
 - 外壁改修4・外壁面仕様(石綿除去)
下地処理) 吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事
劣化部補修の上、下地調整材塗り CM-2
仕上) 防水形複層塗材 E
 - 外壁改修5・見上面仕様(石綿除去)
下地処理) 吹付下地材全撤去 ※石綿除去処理工事
劣化部補修の上、下地調整材塗り CM-2
仕上) 外装薄塗材 E
 - 防水改修・天端面仕様
下地処理) 劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布
仕上) ウレタン塗膜防水 X-2
 - 塗装改修・鉄部面仕様
下地調整) 鉄部 R 仕様
塗装) 錆止め + DP (1級) 塗装
 - 建具改修・建具改修内容は別図 (建具表) 参照の事

- ◀ シーリング新設
 - ◀ シーリング打替え
- 特記事項)
・図中凡例表記の記載無き箇所についても外壁改修対象面に既存シーリング処理がある場合については、本工事対象とし、シーリングの打替えを行う事



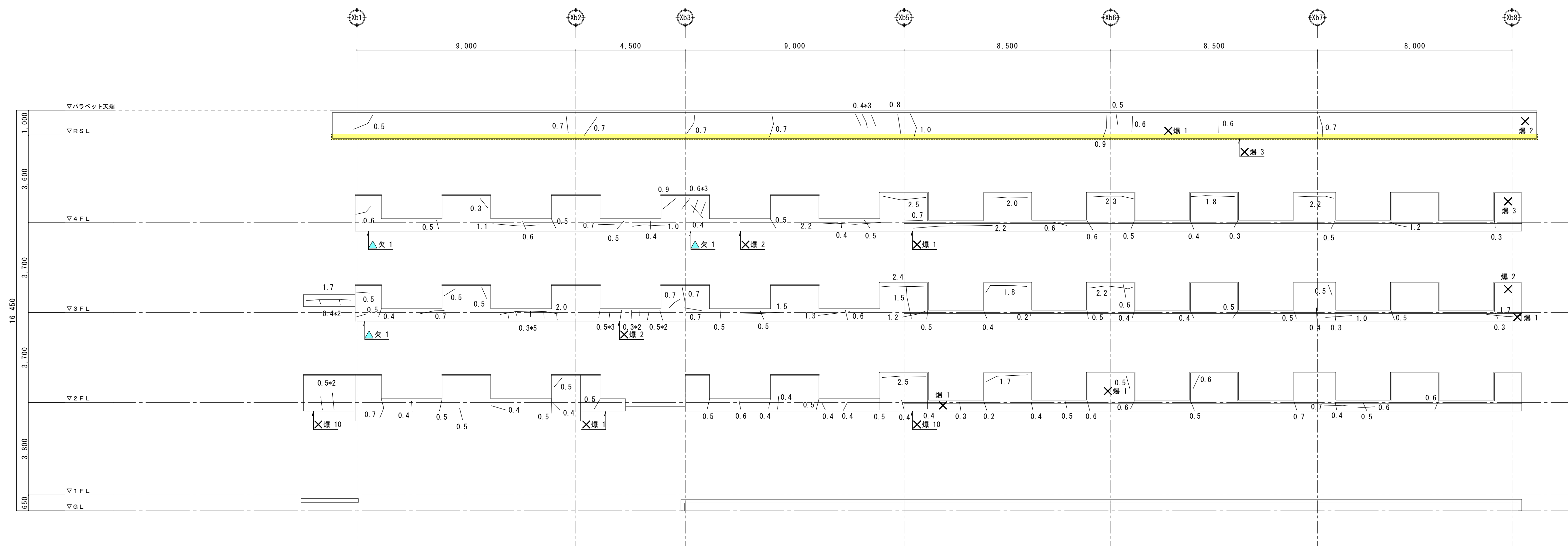
Y b 1 壁面 (南側立面)

■ 劣化補修特記事項
 ・劣化部補修仕様は特記無き限り下記とする。
 クラック：【A・B線】リカットシーリング材充填工法 ※ポリマーセメントモルタル充填
 欠損：ポリマーセメントモルタル充填工法
 爆裂：周囲研り出しの上、錆止め塗装処理、ポリマーセメントモルタル充填工法
 浮き：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※アンカーピン本数は特記仕様による

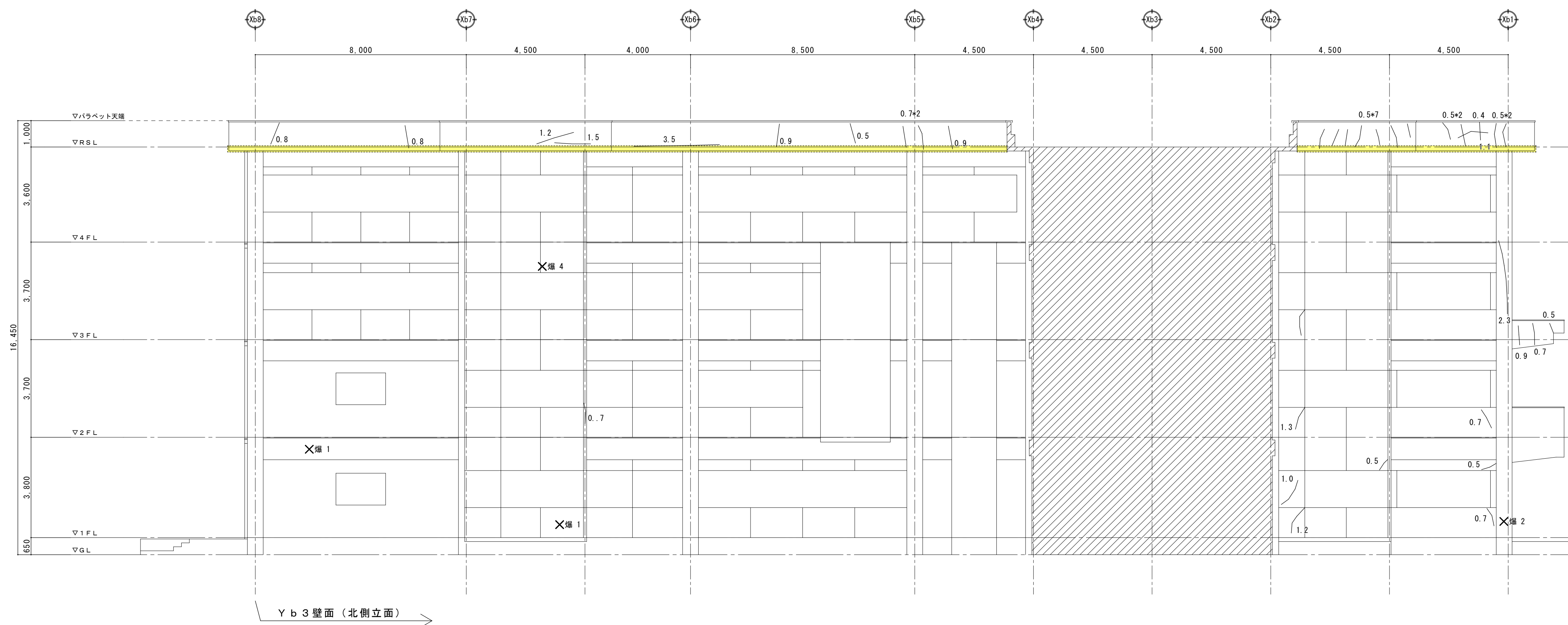
劣化箇所凡例	
	クラックを示す
	鉄筋腐蝕箇所を示す
	躯体欠損箇所を示す
	モルタル浮き箇所を示す
	モルタル浮き箇所(狭幅部)を示す

その他凡例

 コンクリート全ハツリ落とし t=20 範囲を示す



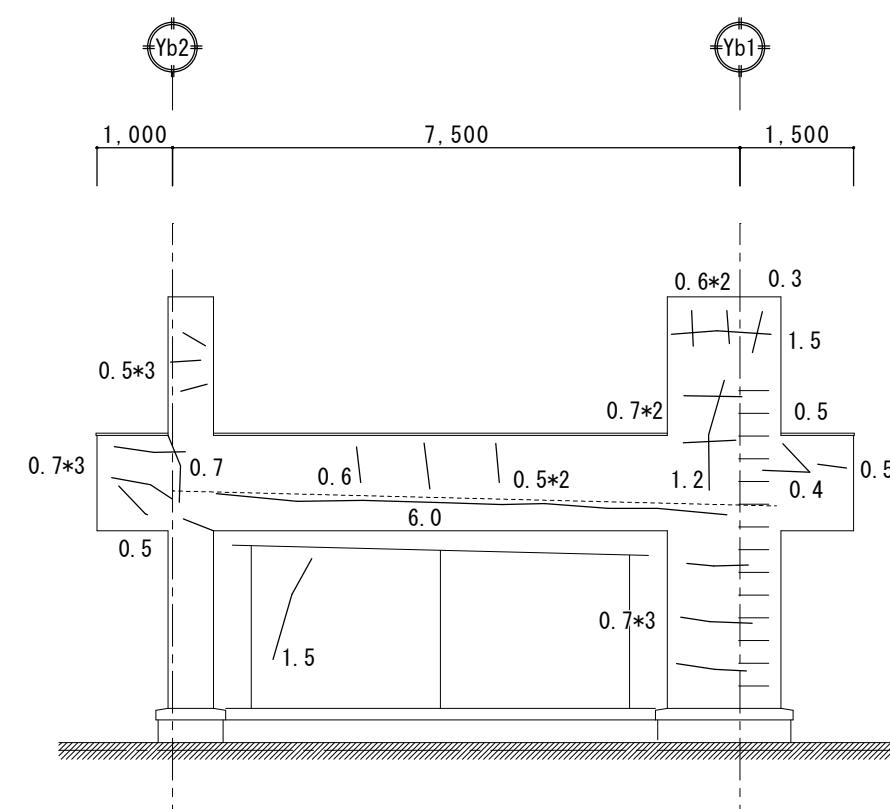
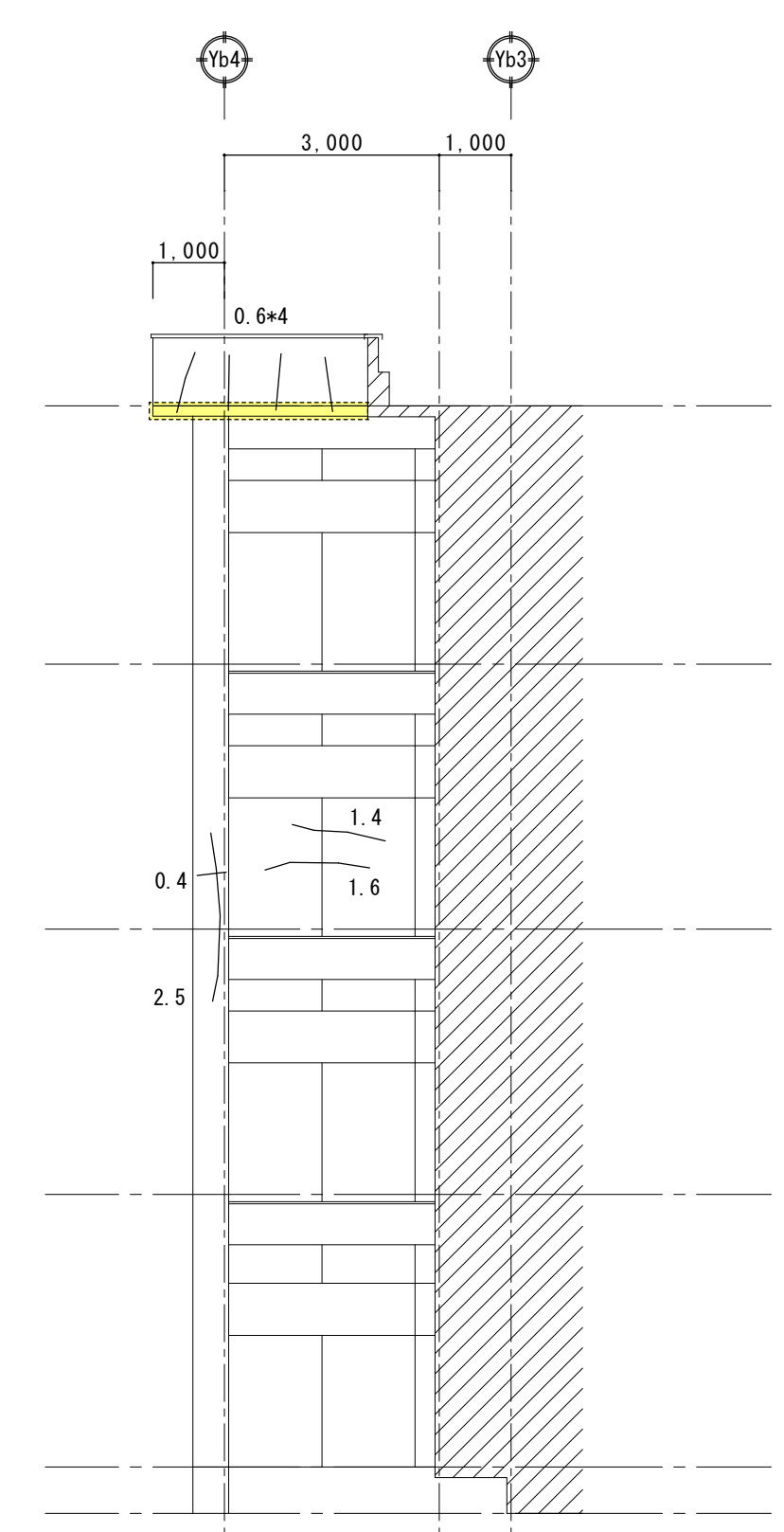
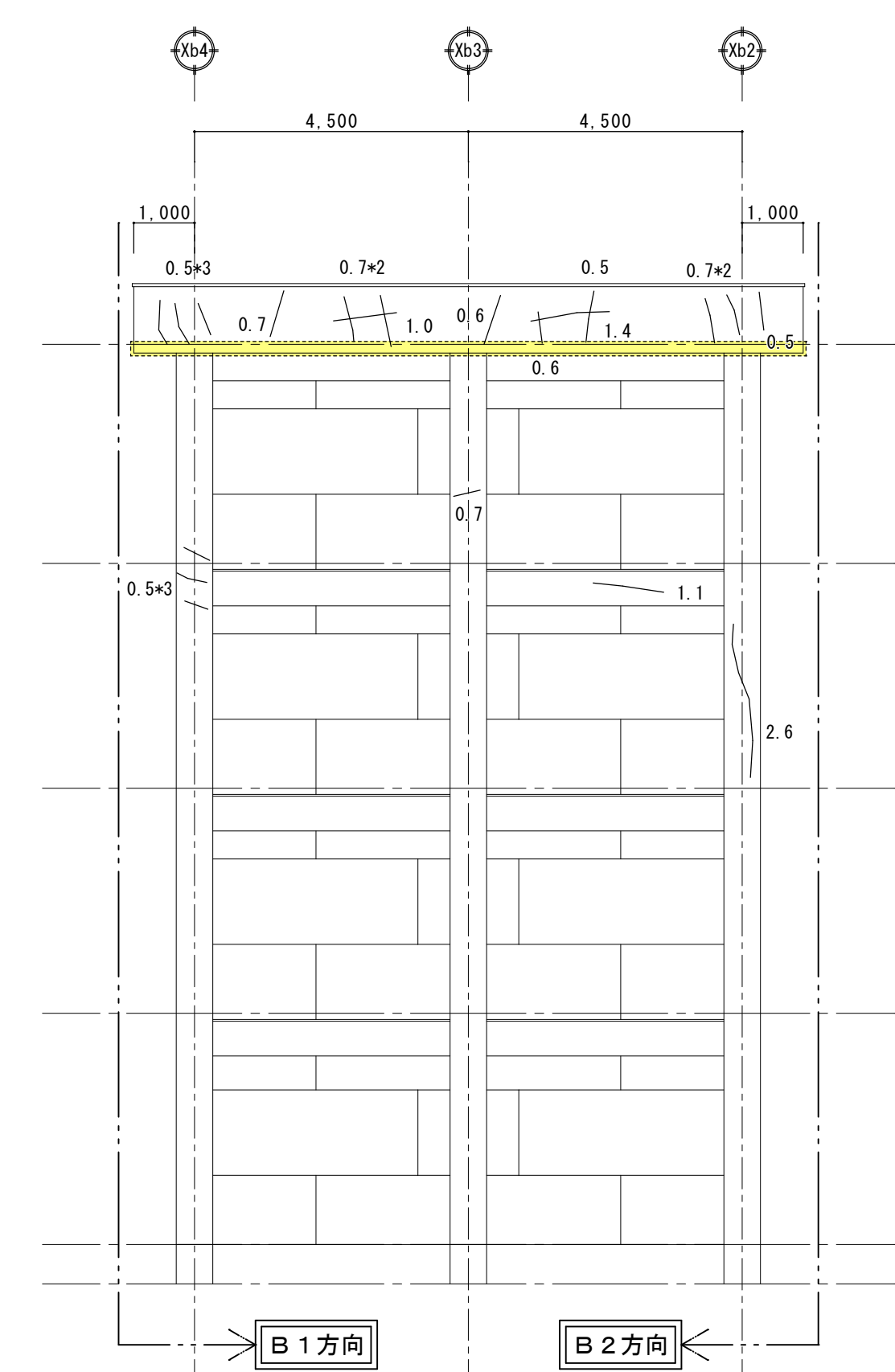
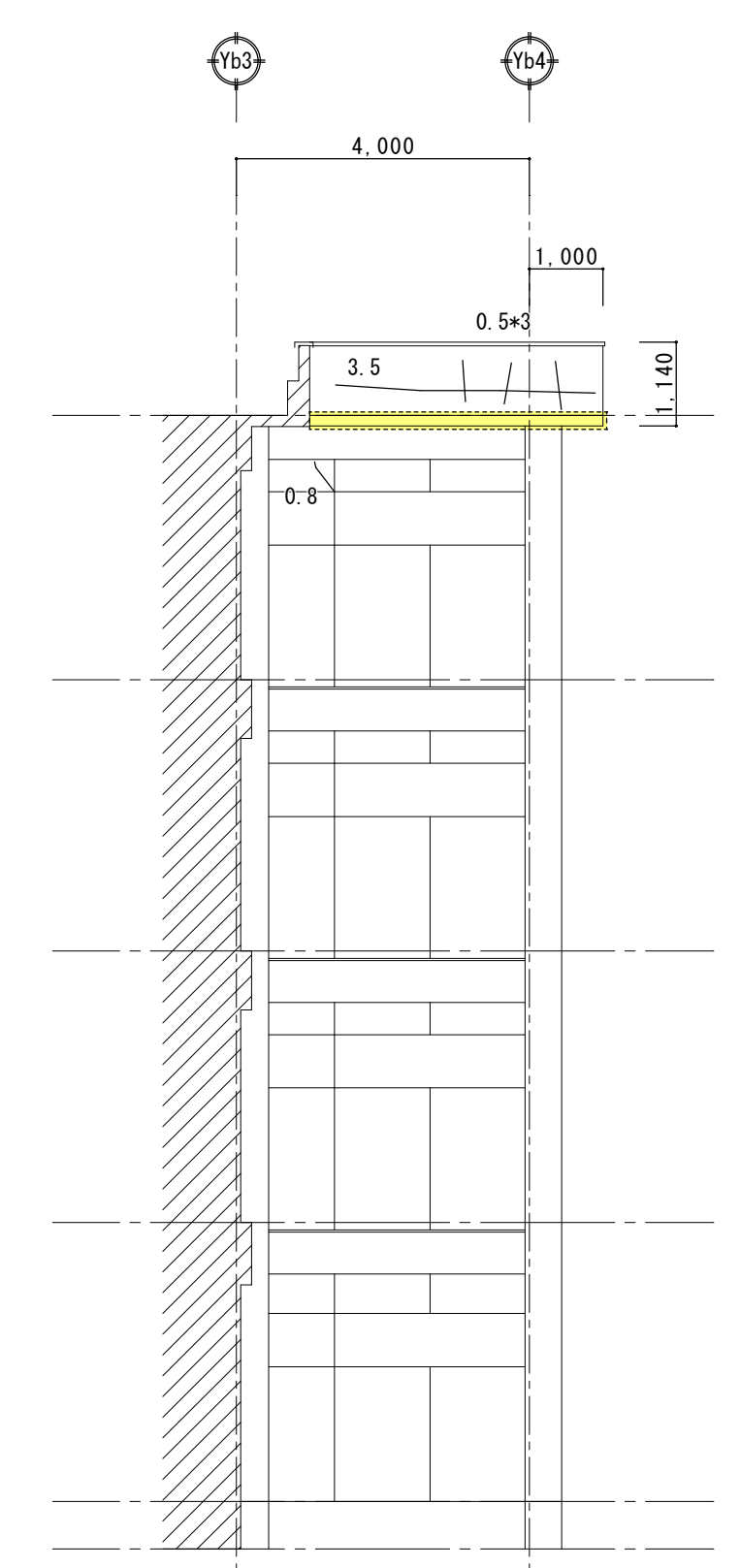
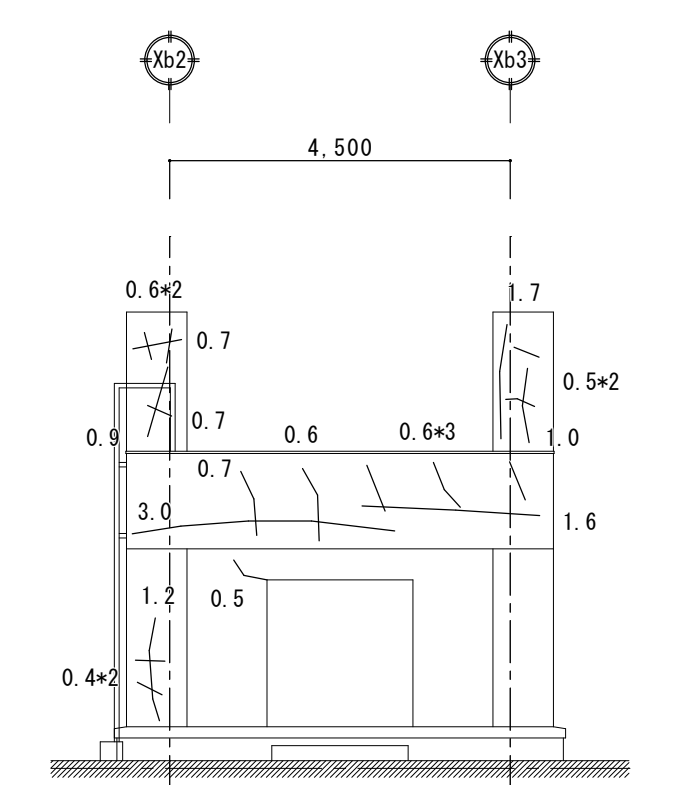
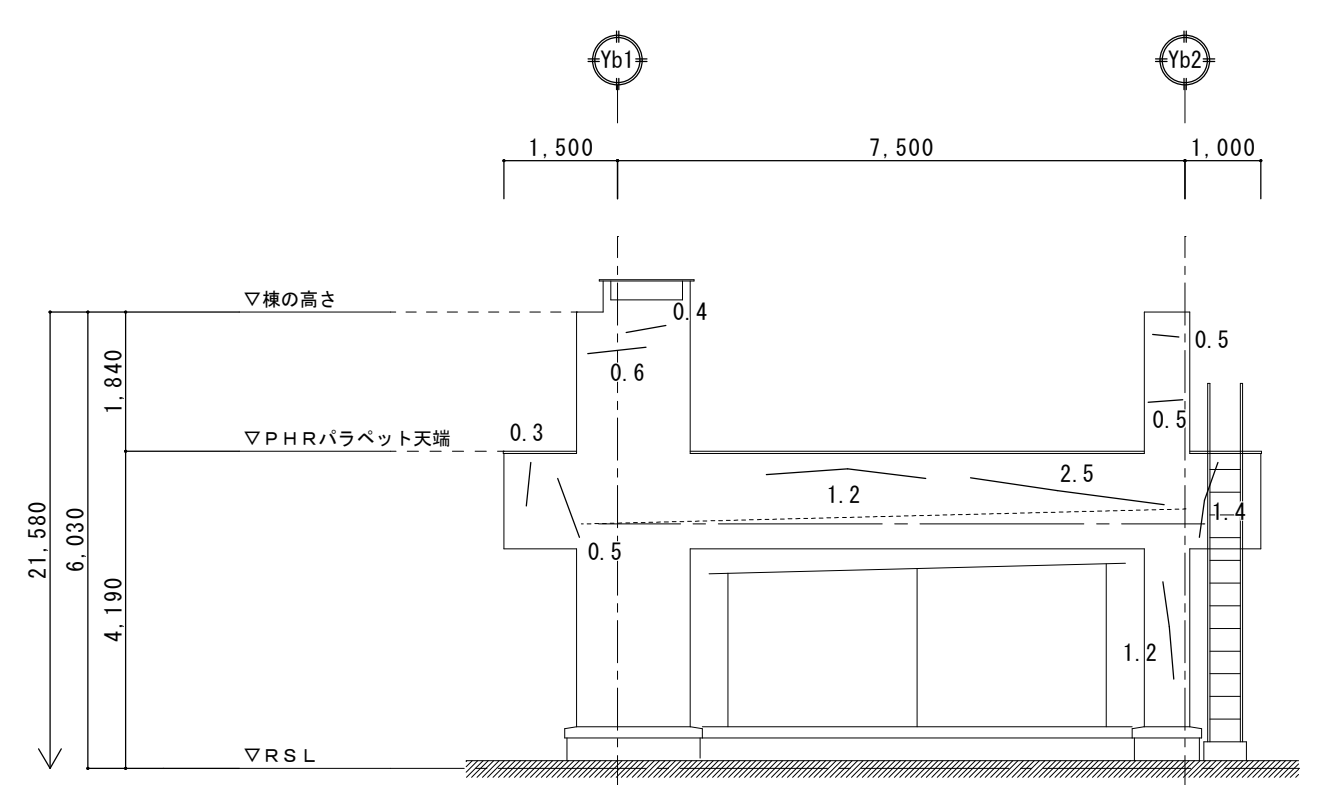
Y b 1 -1,500 壁面 (南側立面)



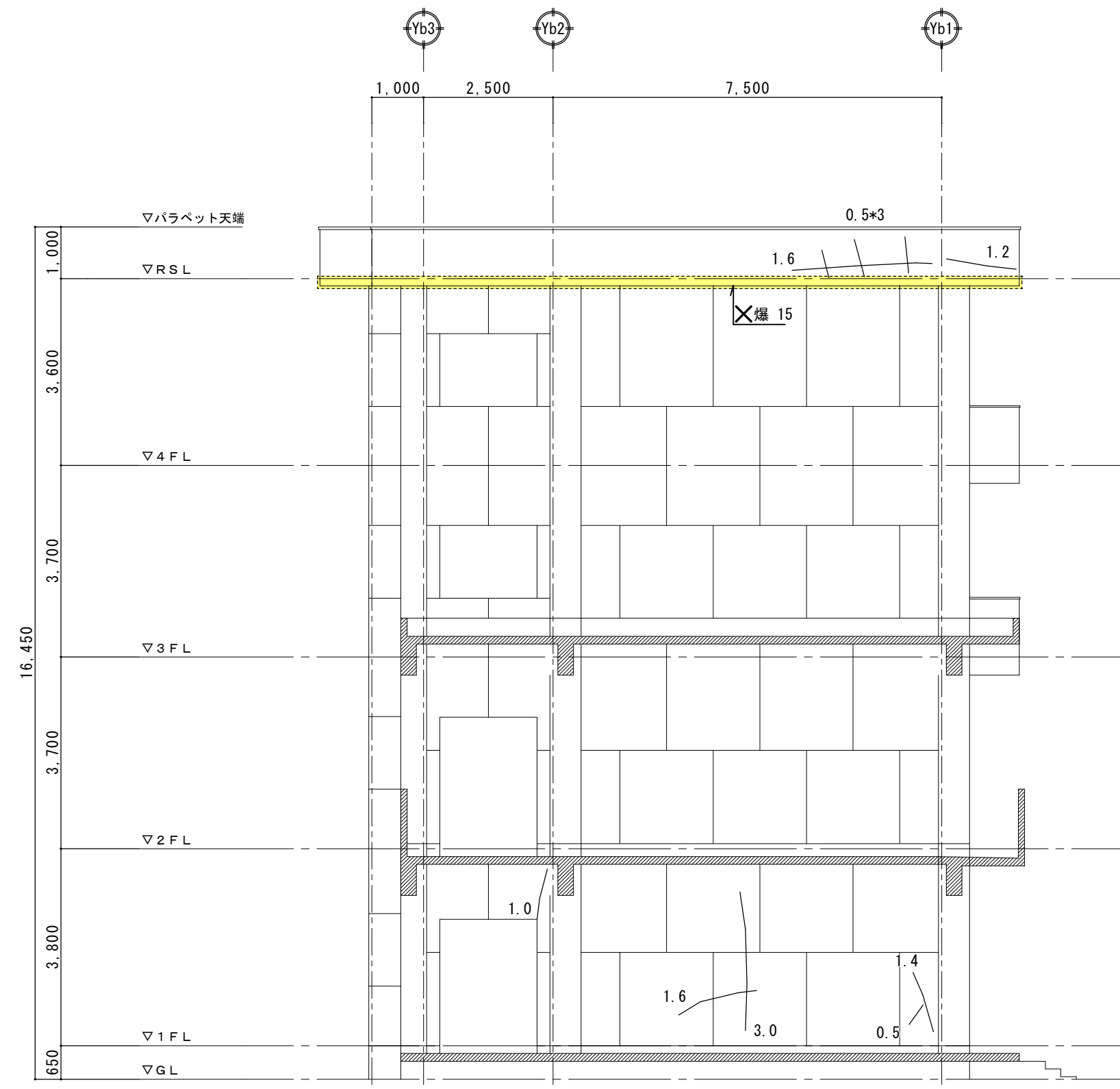
■ 劣化補修特記事項
 ・劣化部補修仕様は特記無き限り下記とする。
 クラック：【A・B線】リカットシーリング材充填工法 ※ポリマーセメントモルタル充填
 欠損：ポリマーセメントモルタル充填工法
 爆裂：周囲研り出しの上、錆止め塗装処理、ポリマーセメントモルタル充填工法
 浮き：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※アンカーピン本数は特記仕様による

劣化箇所凡例	
	クラックを示す ※数値単位:m
	鉄筋腐蝕箇所を示す
	躯体欠損箇所を示す
	モルタル浮き箇所を示す ※数値単位:m
	モルタル浮き箇所(狭幅部)を示す ※数値単位:m

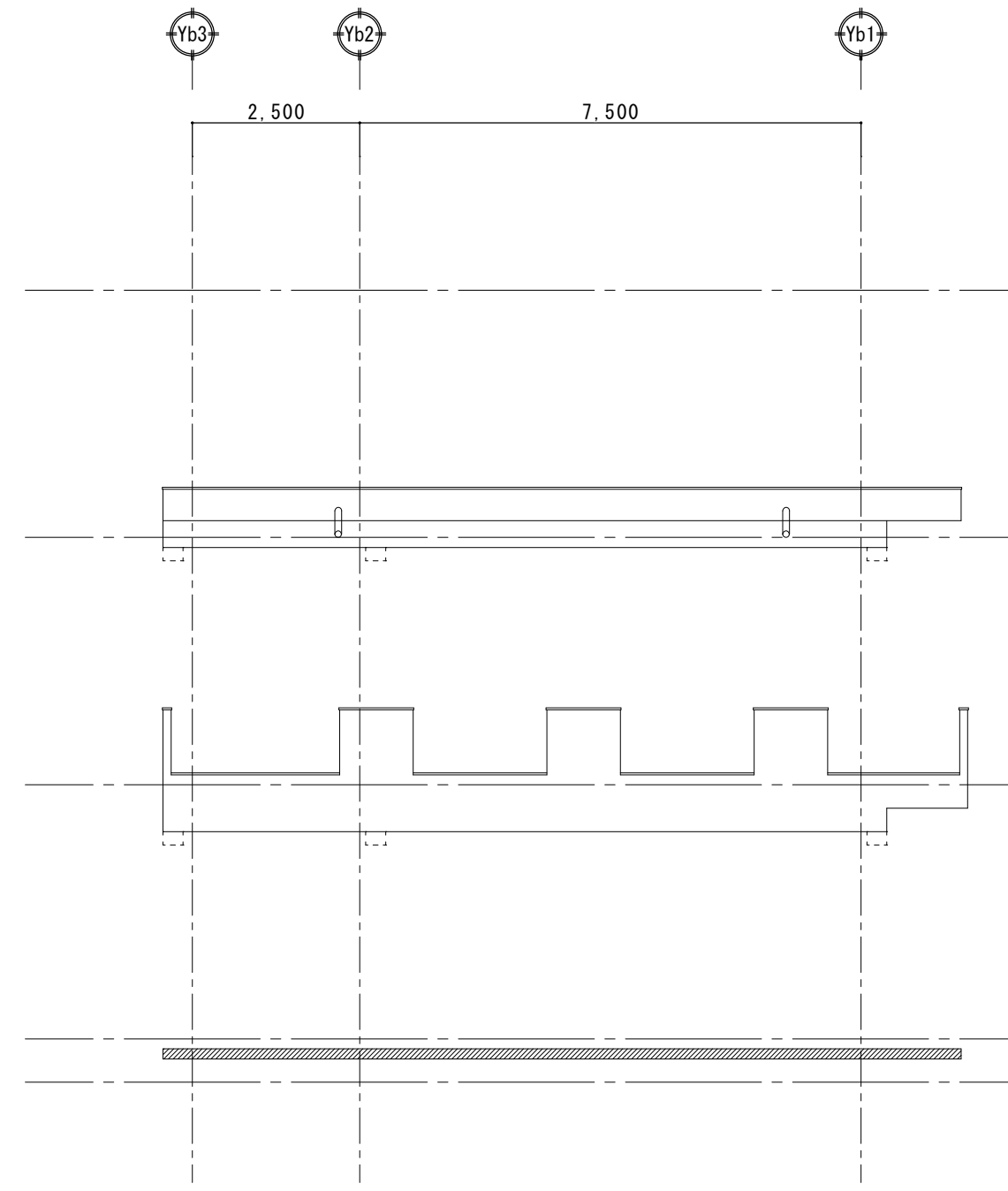
その他凡例
 コンクリート全ハツリ落とし t=20 範囲を示す
 ※改修詳細参照



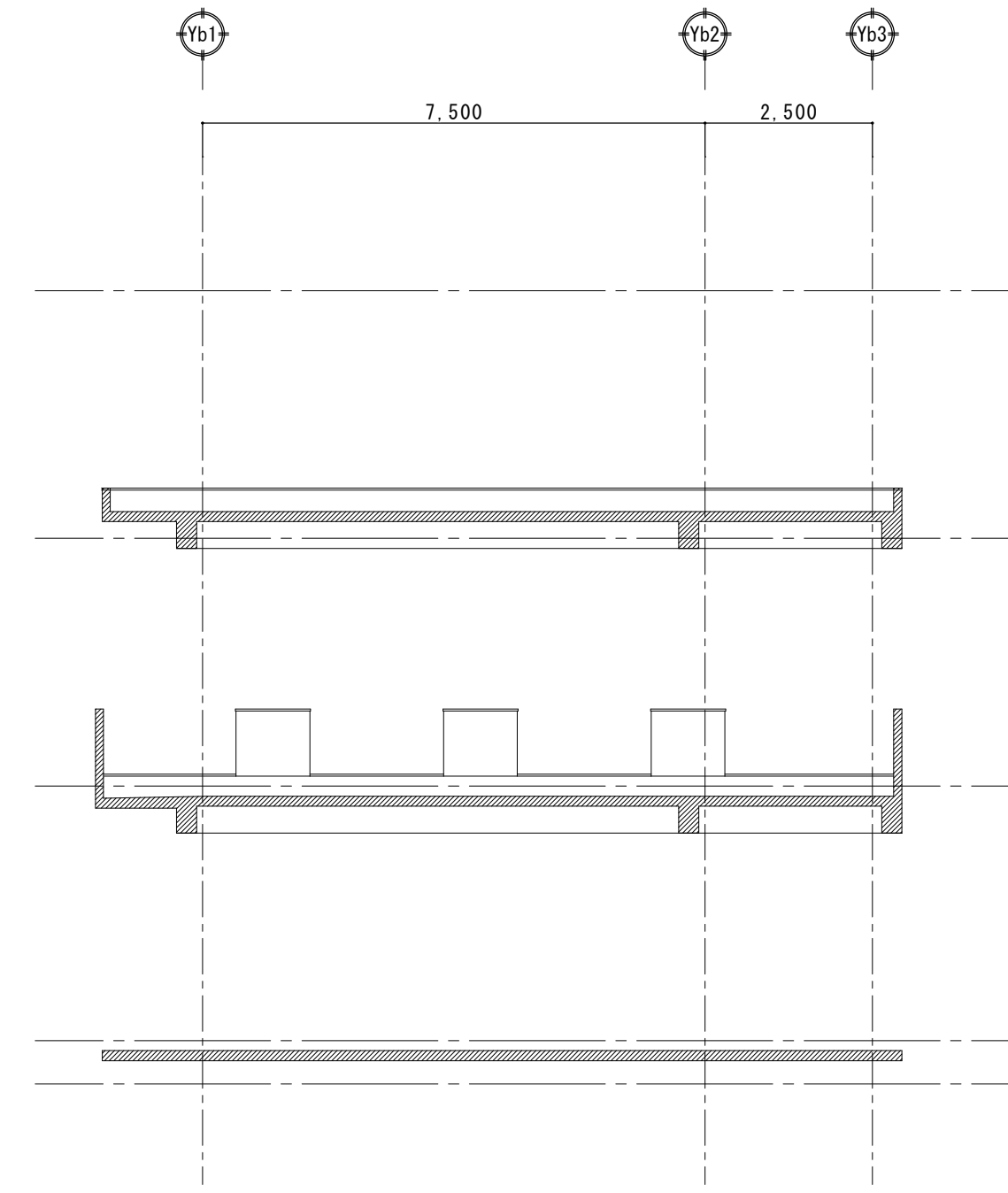
百間中学校



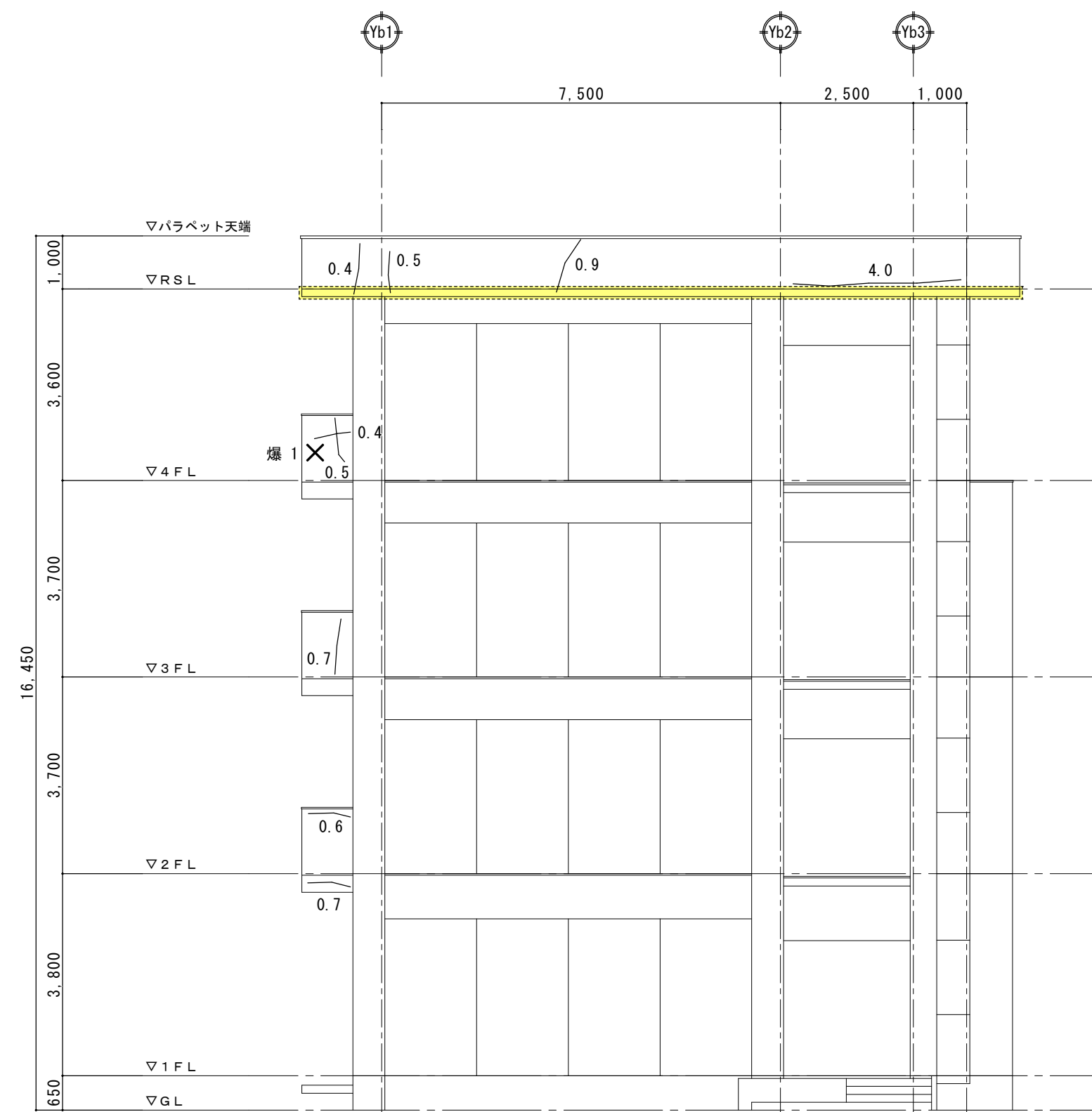
X b 1 壁面 (西側立面)



X b 1 -2.200 壁面 (西側立面)



X b 1 -2.200 壁面 (東側立面)

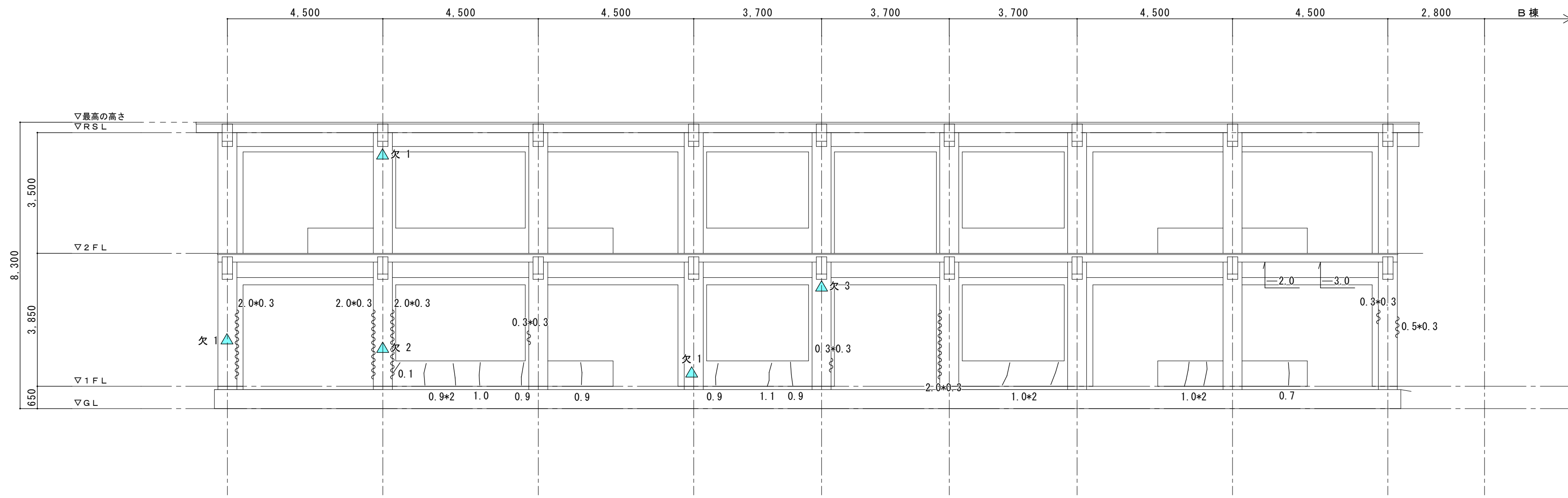


X b 8 壁面 (東側立面)

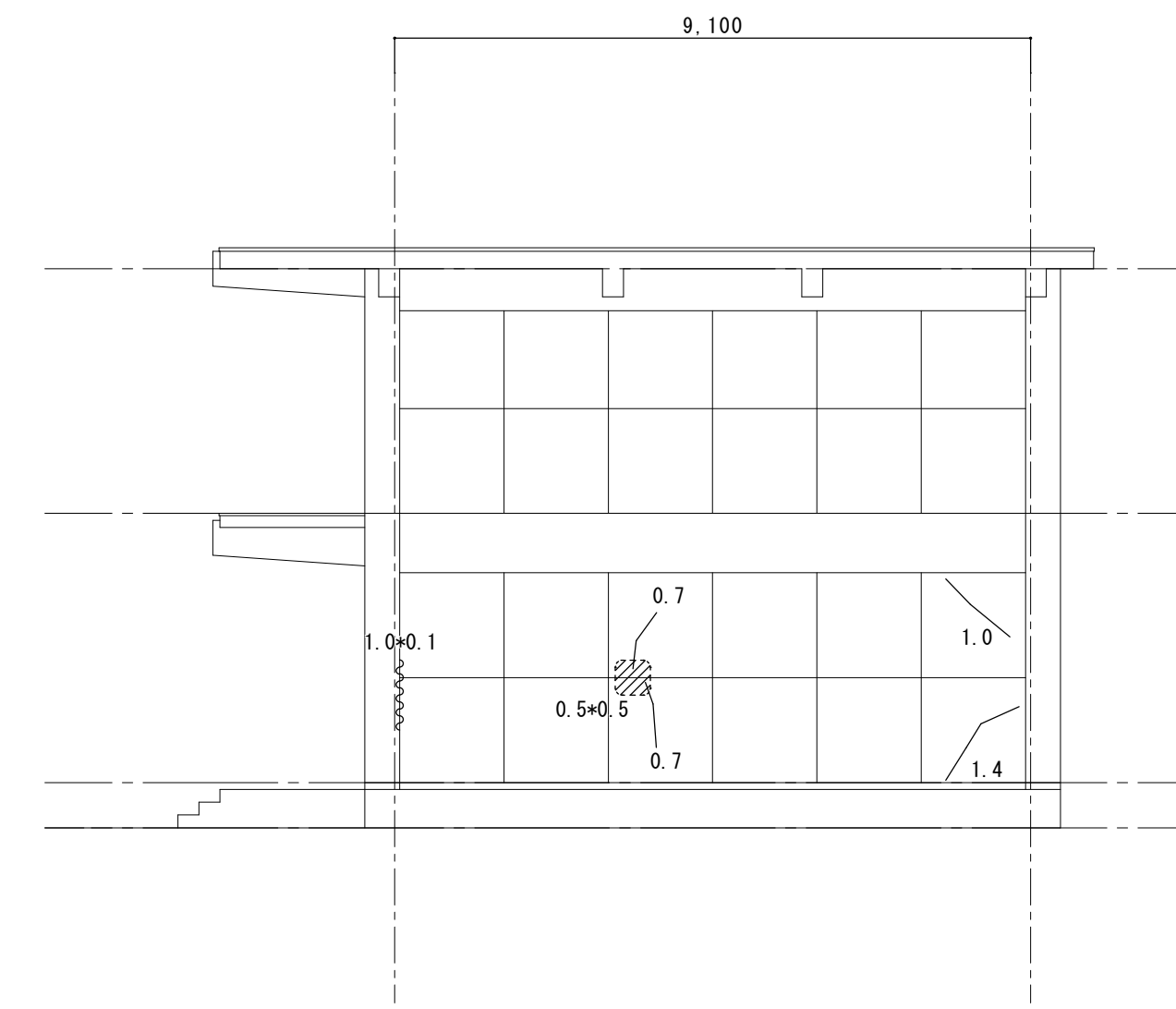
■ 劣化補修特記事項
 ・劣化部補修仕様は特記無き限り下記とする。
 クラック：【A・B線】Uカットシーリング材充填工法 ※ポリマーセメントモルタル充填
 欠損：ポリマーセメントモルタル充填工法
 爆裂：周囲研り出しの上、錆止め塗装処理、ポリマーセメントモルタル充填工法
 浮き：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※アンカーピン本数は特記仕様による

劣化箇所凡例	
	クラックを示す
	鉄筋腐蝕箇所を示す
	躯体欠損箇所を示す
	モルタル浮き箇所を示す
	モルタル浮き箇所(狭幅部)を示す

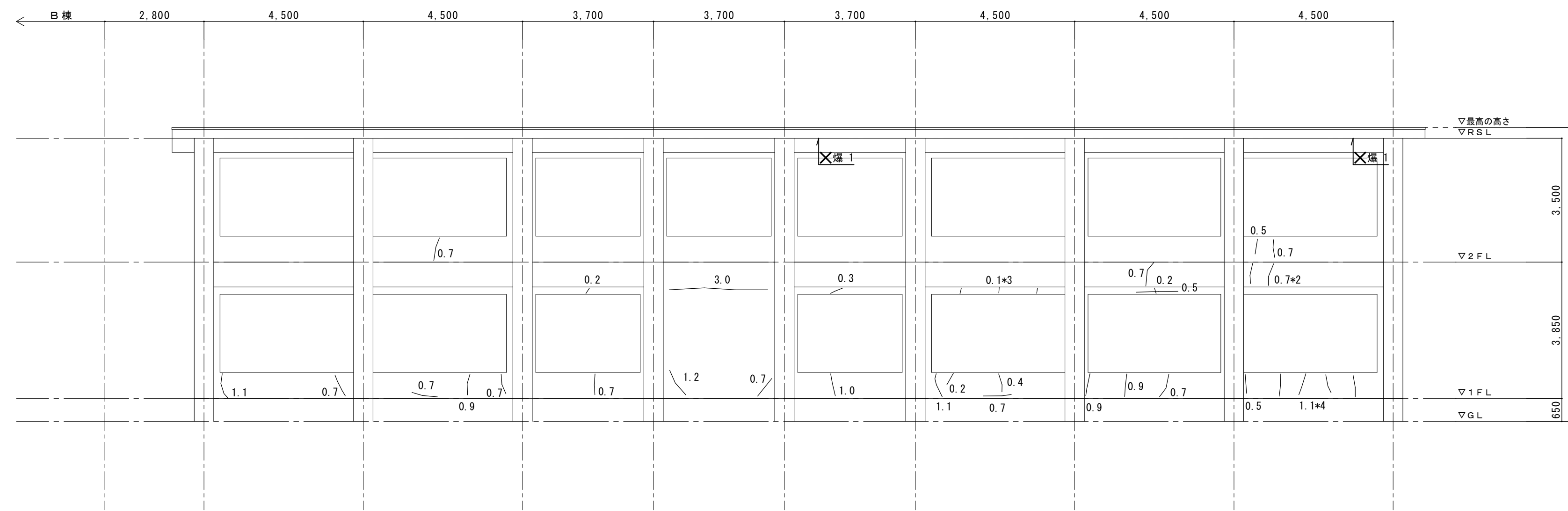
その他凡例
 コンクリート全ハツリ落とし t=20 範囲を示す
 ※改修詳細図参照



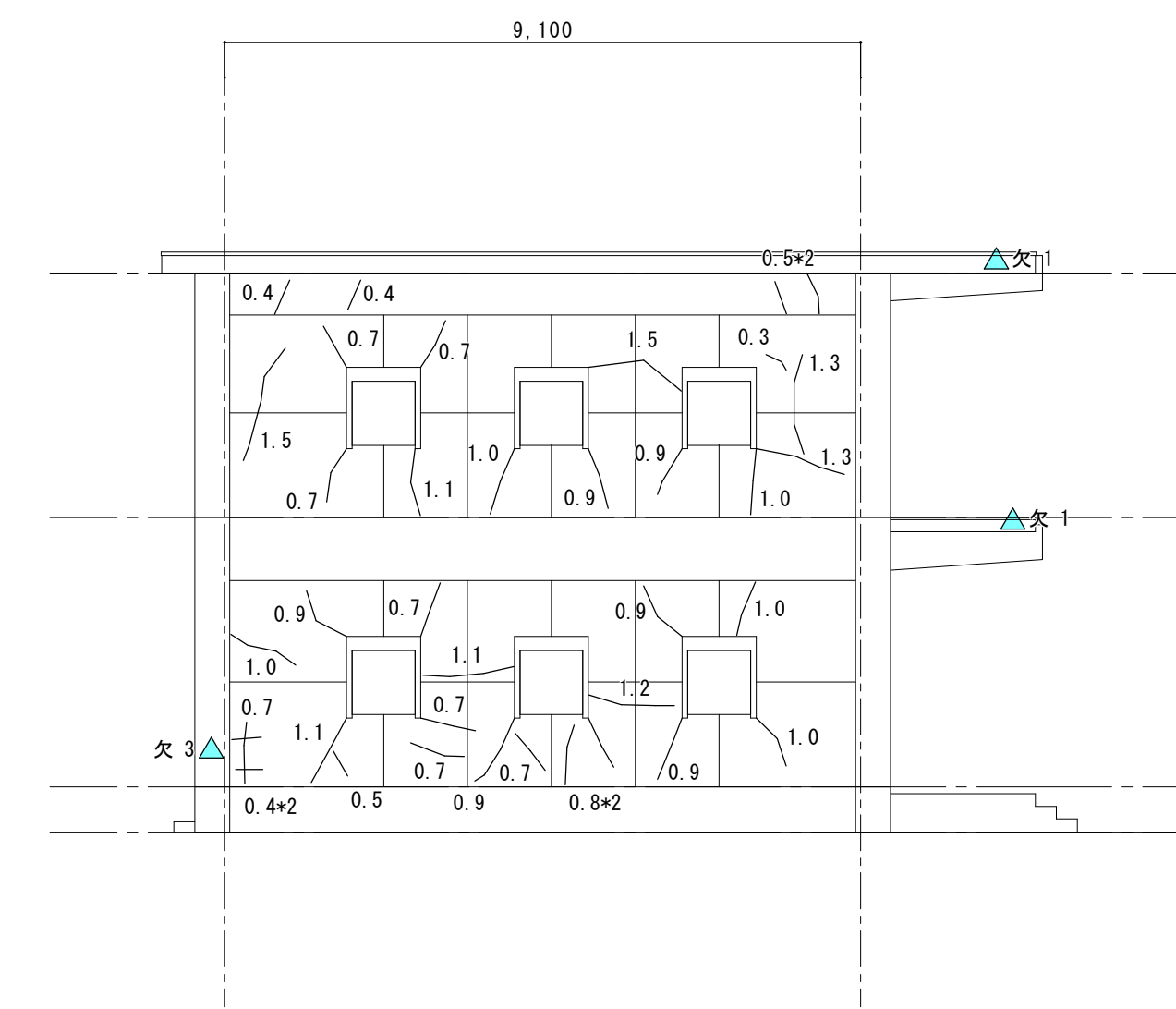
【C棟】南側立面図



【C棟】東側立面図



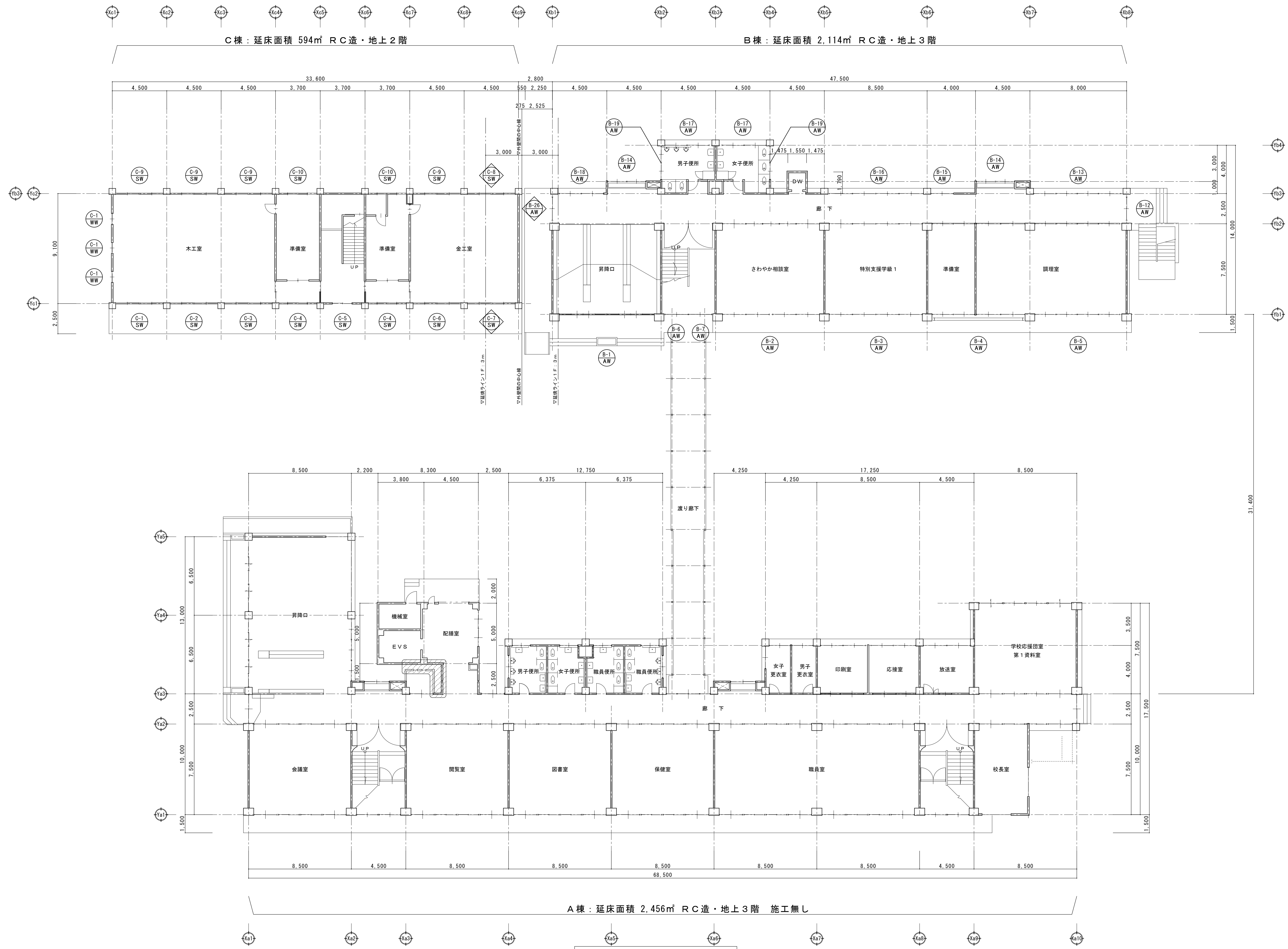
【C棟】北側立面図

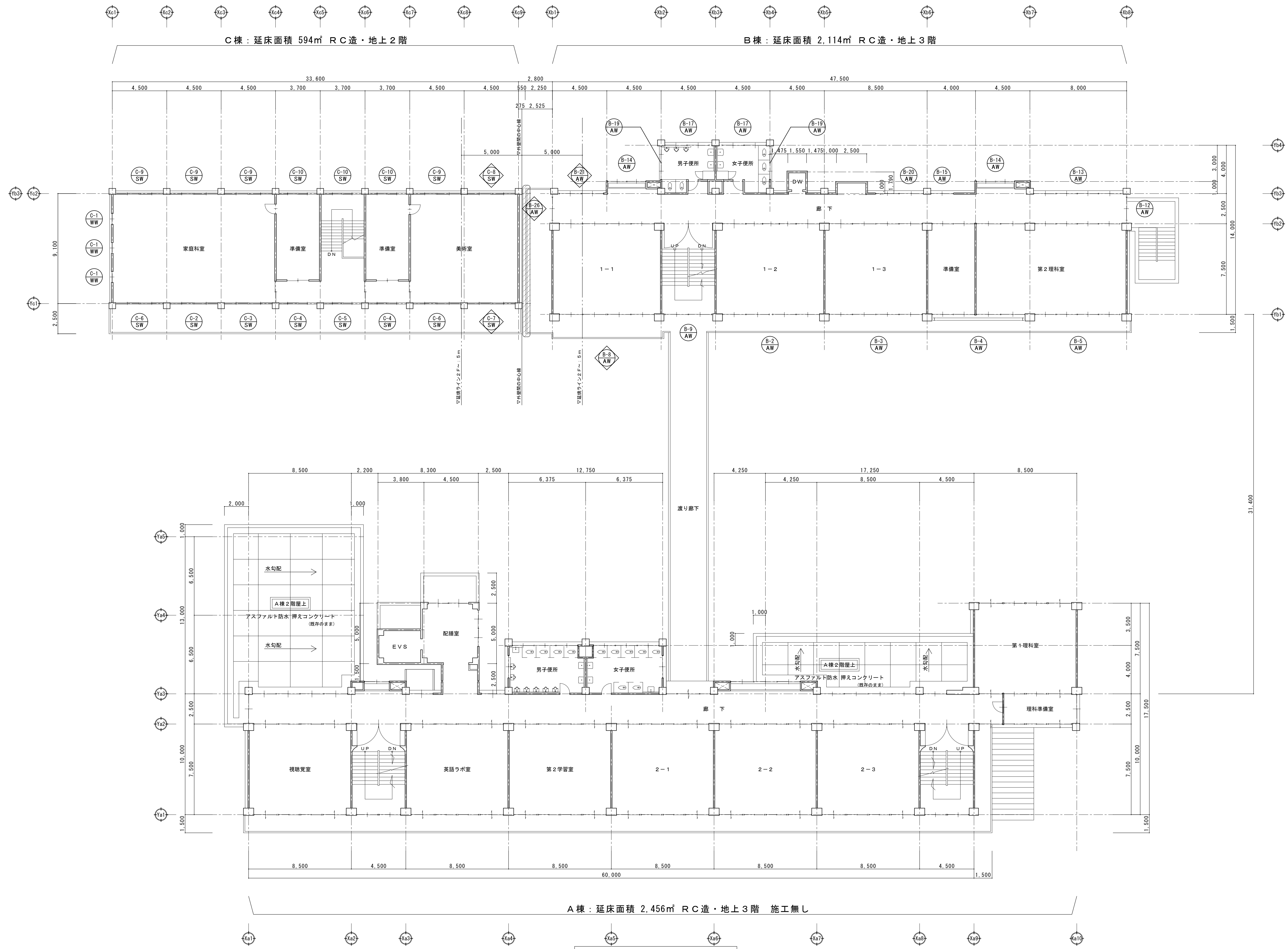


【C棟】西側立面図

劣化箇所凡例	
	クラックを示す ※数値 単位:m
	鉄筋腐蝕箇所を示す
	躯体欠損箇所を示す
	モルタル浮き箇所を示す ※数値 単位:m
	モルタル浮き箇所(鉄筋部)を示す ※数値 単位:m

■劣化補修特記事項
 ・施工数量調査は石綿除去作業後、吹付材及び既存塗膜を全除去した状況にて行う事。
 ・劣化部補修仕様は特記無き限り下記とする。
 クラック: 【A・B棟】Uカットシーリング材充填工法 ※ポリマーセメントモルタル充填
 【C棟】自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ※注入間隔4本/m
 欠損: ポリマーセメントモルタル充填工法
 腐蝕: 周囲研り出しの上、錆止め塗装処理、ポリマーセメントモルタル充填工法
 浮き: アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※アンカーピン本数は特記仕様による





C棟：延床面積 594㎡ RC造・地上2階

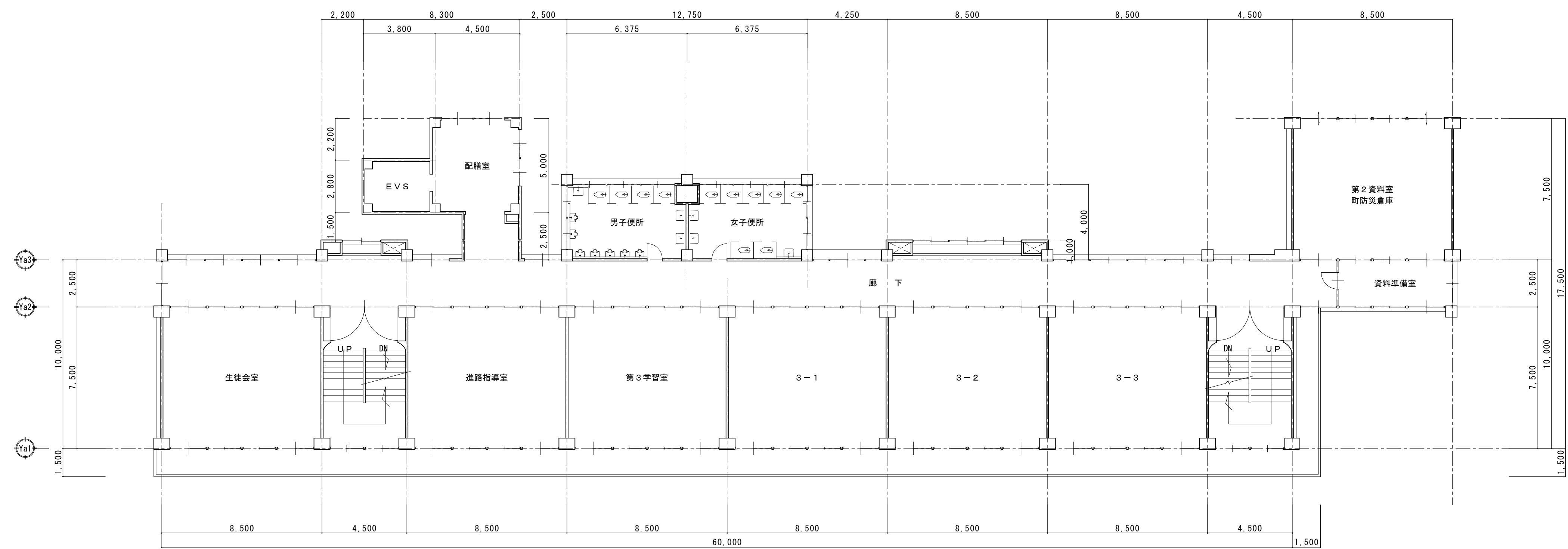
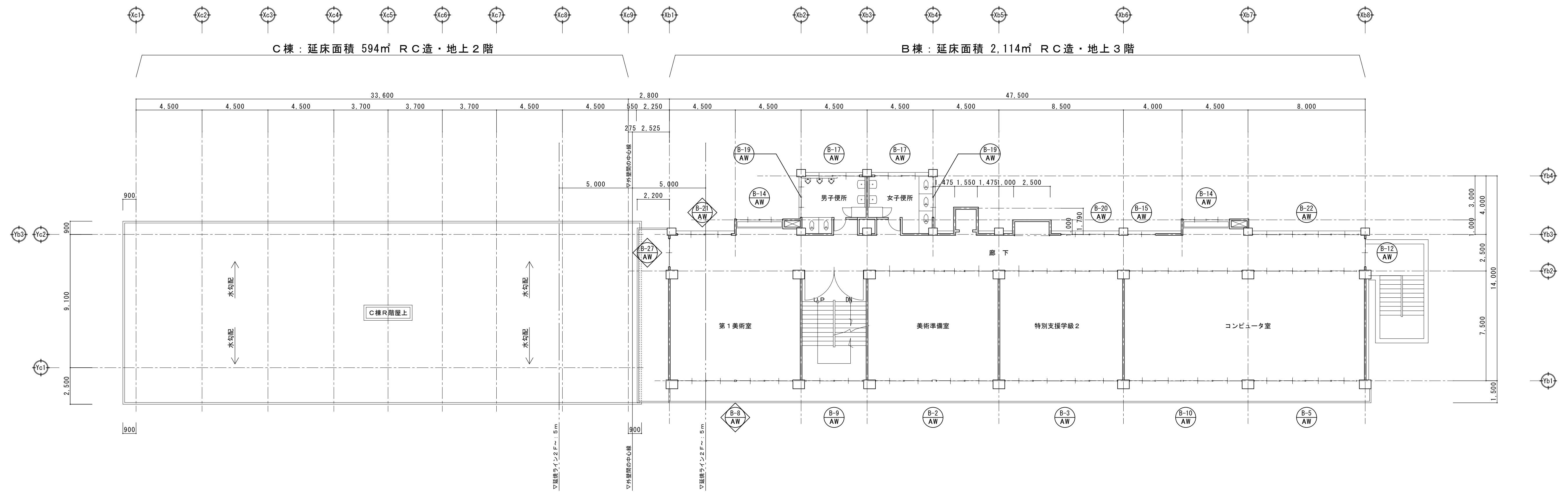
B棟：延床面積 2,114㎡ RC造・地上3階

A棟：延床面積 2,456㎡ RC造・地上3階 施工無し

2階建具 key plan S=1/150

百間中学校

百間中学校B・C棟外壁改修工事		2階建具 key plan	
SCALE A1 1/150		宮代町教育推進課	A-37



A棟：延床面積 2,456㎡ RC造・地上3階 施工無し

3階建具 key plan S=1/150

百間中学校

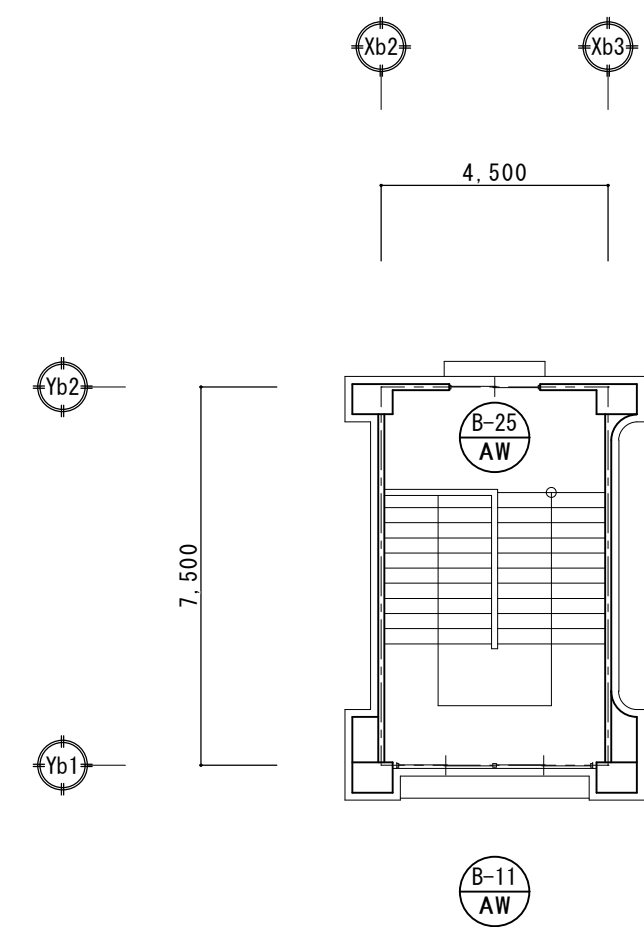
百間中学校B・C棟外壁改修工事

3階建具 key plan

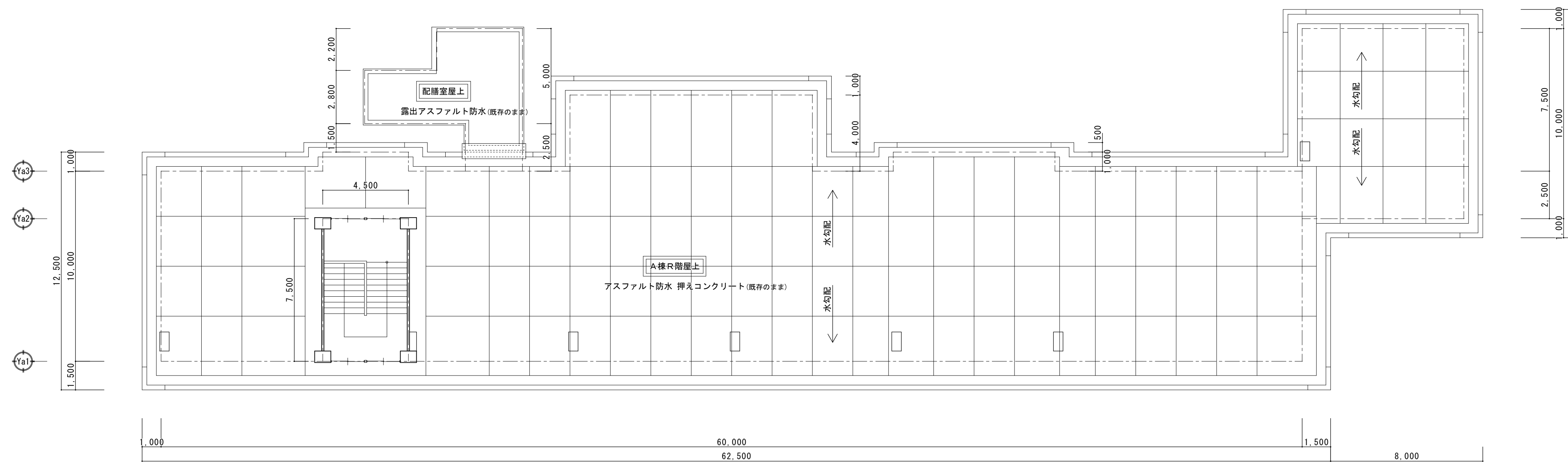
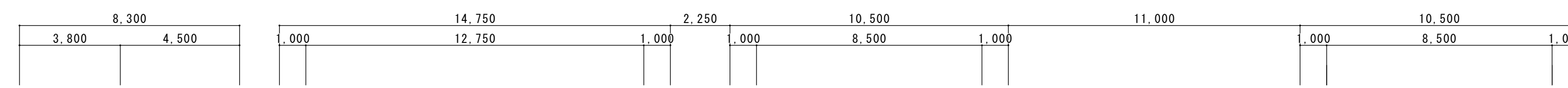
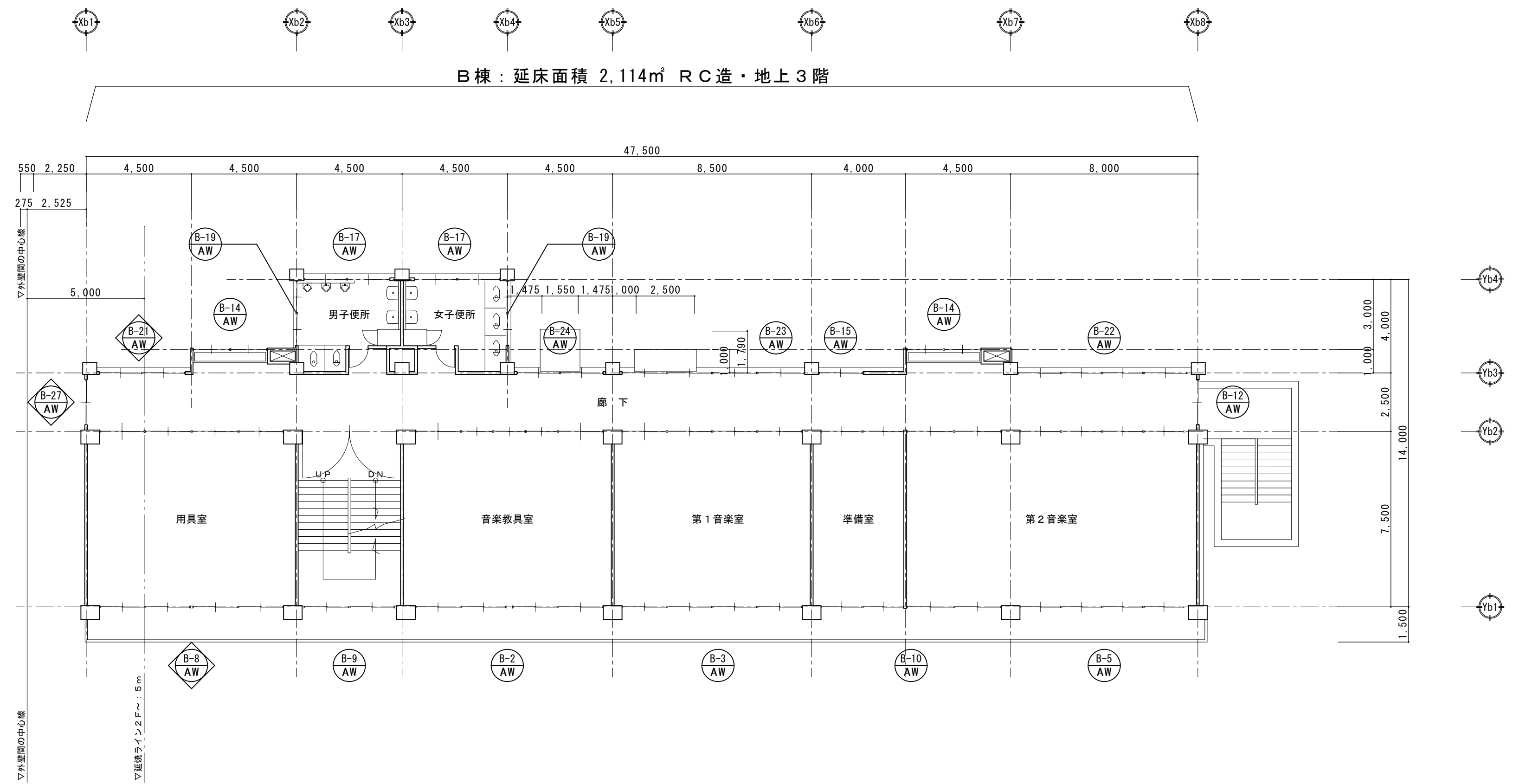
SCALE A1 1/150

宮代町教育推進課

A-38



R階建具 key plan S=1/150

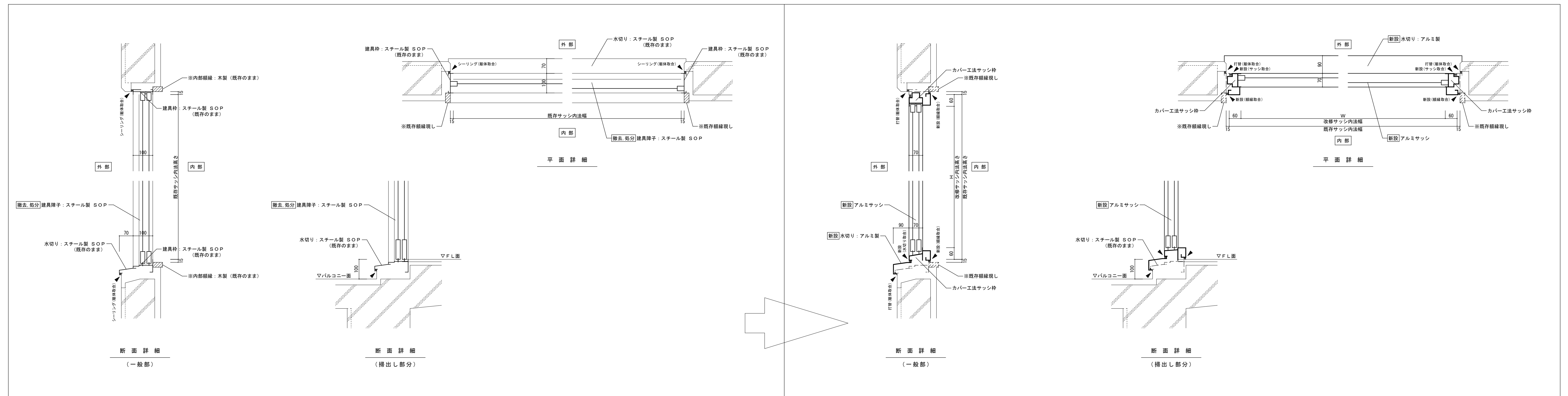


A棟：延床面積 2,456㎡ RC造・地上3階 施工無し

4階建具 key plan S=1/150

記号/室名/数量	B-1 AW	昇降口	数量【1階】1	B-1 AW	普通教室等	数量【1階】1【3階】1 【2階】1【4階】1	B-3 AW	普通教室等	数量【1階】1【3階】1 【2階】1【4階】1						
形状															
形式	4枚建て引違い扉ドア + 欄間4枚建て引違い窓		引違い2段連窓 + F I X窓 + 欄間引違い連窓 + F I X窓		引違い2段連窓 + 欄間引違い連窓		引違い2段連窓 + 欄間引違い連窓		引違い2段連窓 + 欄間引違い連窓						
材質	アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製						
見込	70		70		70		70		70						
ガラス	記載略		記載略		記載略		記載略		記載略						
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え ・モルタル水切り部分：ウレタン塗膜防水 X-2		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え ・モルタル水切り部分：ウレタン塗膜防水 X-2		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え ・モルタル水切り部分：ウレタン塗膜防水 X-2		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え ・モルタル水切り部分：ウレタン塗膜防水 X-2						
記号/室名/数量	B-4 AW	調理室等(耐震改修ブレース設置部分)	数量【1階】1 【2階】1	B-5 AW	調理室等	数量【1階】1【3階】1 【2階】1【4階】1	B-6 AW	階段室	数量【1階】1	B-7 AW	階段室	数量【1階】1			
形状															
形式	引違い2段連窓 + 欄間引違い連窓		引違い2段連窓 + 欄間引違い連窓		引違い2段連窓 + 欄間引違い連窓		引違い掃出し窓		引違い掃出し窓		引違い掃出し窓				
材質	アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製				
見込	70		70		70		70		70		70				
ガラス	記載略		記載略		記載略		記載略		記載略		記載略				
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え ・モルタル水切り部分：ウレタン塗膜防水 X-2		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え ・モルタル水切り部分：ウレタン塗膜防水 X-2		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え				
記号/室名/数量	B-8 AW	普通教室等	数量【2階】1【4階】1 【3階】1	B-9 AW	階段室	数量【2階】1【4階】1 【3階】1	B-10 AW	普通教室等	数量【3階】1 【4階】1	B-11 AW	階段室	数量【R階】1			
形状															
形式	引違い2段連窓 + 欄間引違い連窓		引違い連窓		引違い連窓		引違い2段連窓 + 欄間引違い連窓		引違い連窓		引違い連窓				
材質	アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製				
見込	70		70		70		70		70		70				
ガラス	記載略 ※延焼ライン内：網入りガラス		記載略		記載略		記載略		記載略		記載略				
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え ・モルタル水切り部分：ウレタン塗膜防水 X-2		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え ・モルタル水切り部分：ウレタン塗膜防水 X-2		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え				
記号/室名/数量	B-12 AW	廊下	数量【1階】1【3階】1 【2階】1【4階】1	B-13 AW	廊下	数量【1階】1 【2階】1	B-14 AW	廊下(水飲み場前)	数量【1階】2【3階】2 【2階】2【4階】2	B-15 AW	廊下	数量【1階】1【3階】1 【2階】1【4階】1	B-16 AW	廊下	数量【1階】1
形状															
形式	片引き扉ドア + 掃 F I X窓 + 欄間 F I X窓		引違い窓		引違い窓		引違い窓		引違い窓		引違い窓				
材質	アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製				
見込	70		70		70		70		70		70				
ガラス	記載略		記載略		記載略		記載略		記載略		記載略				
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え				

記号/室名/数量	便所	数量	【1階】2 【2階】2 【3階】2 【4階】2	廊下	数量	【1階】1	便所	数量	【1階】2 【2階】2 【3階】2 【4階】2	廊下	数量	【2階】1 【3階】1	廊下	数量	【2階】1 【4階】1 【3階】1
形状															
形式	引違い連窓		引違い連窓		引違い連窓		引違い連窓		引違い連窓						
材質	アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製						
見込	70		70		70		70		70						
ガラス	記載略		記載略		記載略		記載略		記載略 ※延焼ライン内：網入りガラス						
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え						
記号/室名/数量	廊下	数量	【3階】1 【4階】1	廊下	数量	【4階】1	廊下	数量	【4階】1	階段室	数量	【R階】1			
形状															
形式	引違い連窓		引違い連窓		引違い連窓		引違い連窓		引違い連窓						
材質	アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製						
見込	70		70		70		70		70						
ガラス	記載略		記載略		記載略		記載略		記載略						
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え ・モルタル水切り部分：ウレタン塗膜防水 X-2						
記号/室名/数量	廊下	数量	【1階】1 【2階】1	廊下	数量	【3階】1 【4階】1									
形状															
形式	引違い掃出し窓 + 欄間 F1 X 窓		引違い窓												
材質	アルミ製		アルミ製												
見込	70		70												
ガラス	記載略 ※延焼ライン内：網入りガラス		記載略 ※延焼ライン内：網入りガラス												
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え ・モルタル水切り部分：ウレタン塗膜防水 X-2		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え												



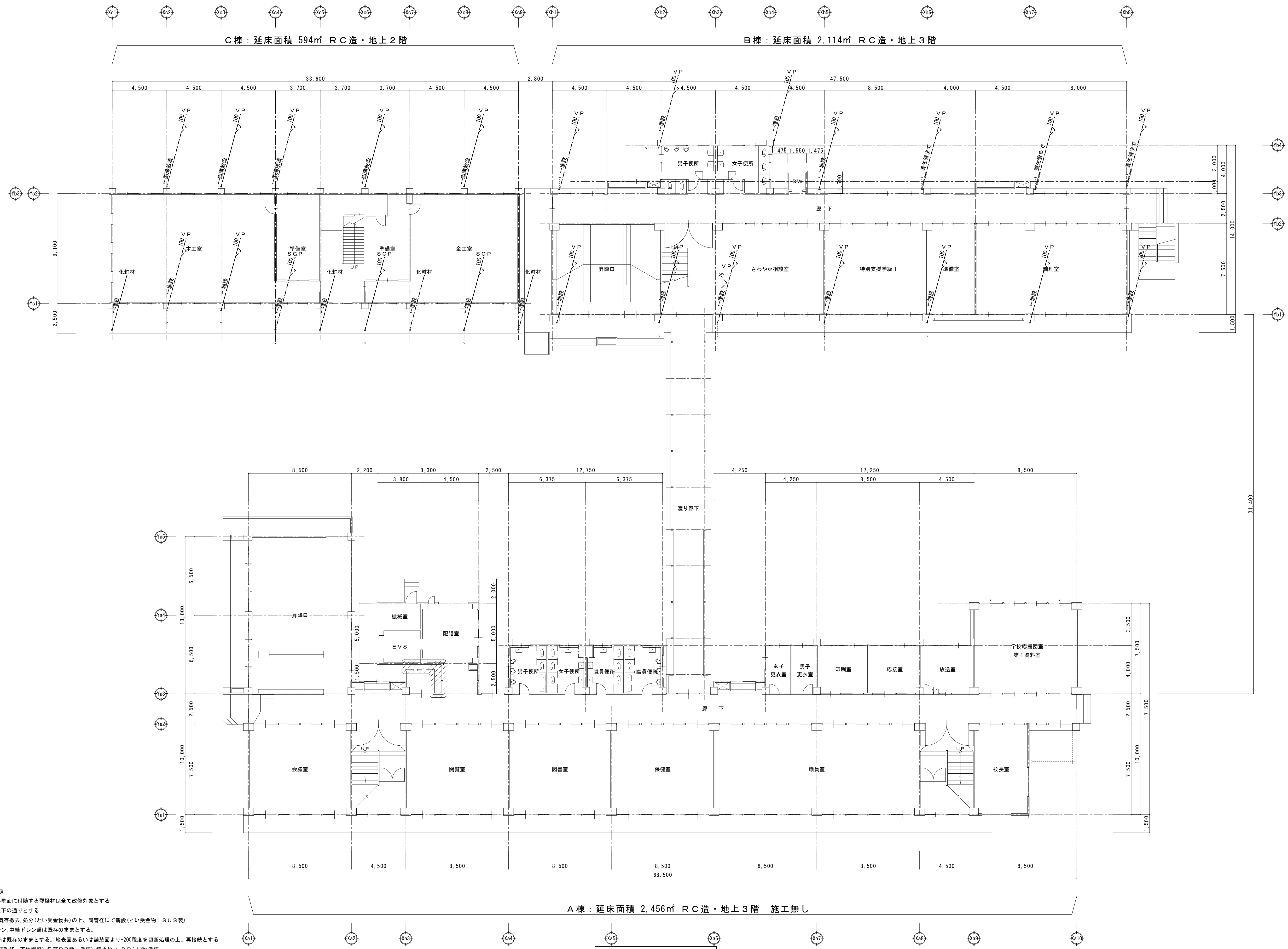
カバー工法改修詳細図 S=1/10

カバー工法改修詳細図 S=1/10

記号/室名/数量	C-1 SW	木工室	数量	C-2 SW	木工室・家庭科室	数量	C-3 SW	木工室・家庭科室	数量	C-4 SW	廊下	数量	C-5 SW	廊下	数量
形状		3,670 x 2,900	【1階】1		3,670 x 2,100	【1階】1 【2階】1		3,670 x 2,100	【1階】1 【2階】1		2,870 x 2,900	【1階】2 【2階】2		2,870 x 2,900	【1階】2 【2階】2
形式	4枚建て引違い掃出し窓 + 欄間引違い連窓			引違い連窓 + 欄間引違い連窓			引違い2段窓 + 欄間引違い連窓			引違い連窓 + 欄間引違い連窓			引違い掃出し窓 + 袖F1X窓 + 欄間引違い連窓		
材質	スチール製			スチール製			スチール製			スチール製			スチール製		
見込	100			100			100			100			100		
ガラス	透明 FL5 / 欄間: 型板 F4			透明 FL5 / 欄間: 型板 F4			透明 FL5 / 欄間: 型板 F4			透明 FL5 / 欄間: 型板 F4			透明 FL5 / 欄間: 型板 F4		
改修内容	1. [撤去・処分] ※既存枠残しにて、カバー工法改修対象 ※ [撤去・処分] 図示の範囲の建具を撤去対象とする			1. [撤去・処分] ※既存枠残しにて、カバー工法改修対象 ※ [撤去・処分] 図示の範囲の建具を撤去対象とする			1. [撤去・処分] ※既存枠残しにて、カバー工法改修対象 ※ [撤去・処分] 図示の範囲の建具を撤去対象とする			1. [撤去・処分] ※既存枠残しにて、カバー工法改修対象 ※ [撤去・処分] 図示の範囲の建具を撤去対象とする			1. [撤去・処分] ※既存枠残しにて、カバー工法改修対象 ※ [撤去・処分] 図示の範囲の建具を撤去対象とする (水切り共)		
記号/室名/数量	C-1 AW		数量	C-2 AW		数量	C-3 AW		数量	C-4 AW		数量	C-5 AW		数量
防火設備	<input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 特定防火設備 <input type="checkbox"/> その他 ()			<input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 特定防火設備 <input type="checkbox"/> その他 ()			<input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 特定防火設備 <input type="checkbox"/> その他 ()			<input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 特定防火設備 <input type="checkbox"/> その他 ()			<input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 特定防火設備 <input type="checkbox"/> その他 ()		
形状		3,550 x 2,760	【1階】1		3,550 x 1,980	【1階】1 【2階】1		3,550 x 1,980	【1階】1 【2階】1		2,750 x 2,760	【1階】2 【2階】2		2,750 x 2,760	【1階】2 【2階】2
形式	4枚建て引違い掃出し窓 + 欄間引違い連窓			引違い連窓 + 欄間引違い連窓			引違い2段窓 + 欄間引違い連窓			引違い連窓 + 欄間引違い連窓			4枚建て引違い掃出し窓 + 欄間引違い連窓		
材質	アルミ製			アルミ製			アルミ製			アルミ製			アルミ製		
見込	70			70			70			70			70		
ガラス	透明 学校用強化 SC-FL4 / 欄間: 型板 学校用強化 SC-F4			透明 学校用強化 SC-FL4 / 欄間: 型板 学校用強化 SC-F4			透明 学校用強化 SC-FL4 / 欄間: 型板 学校用強化 SC-F4			透明 学校用強化 SC-FL4 / 欄間: 型板 学校用強化 SC-F4			透明 学校用強化 SC-FL4 / 欄間: 型板 学校用強化 SC-F4		
金物・備考	1. [新設] カバー工法改修 付属金物一式、クレセント錠、アルミ製水切り 注記) ・カバー工法枠は現しとする (既存組立はそのままとする) ・外部水切りはカバー材にて新設とする			1. [新設] カバー工法改修 付属金物一式、クレセント錠、アルミ製水切り 注記) ・カバー工法枠は現しとする (既存組立はそのままとする) ・外部水切りはカバー材にて新設とする			1. [新設] カバー工法改修 付属金物一式、クレセント錠、アルミ製水切り 注記) ・カバー工法枠は現しとする (既存組立はそのままとする) ・外部水切りはカバー材にて新設とする			1. [新設] カバー工法改修 付属金物一式、クレセント錠、アルミ製水切り 注記) ・カバー工法枠は現しとする (既存組立はそのままとする) ・外部水切りはカバー材にて新設とする			1. [新設] カバー工法改修 付属金物一式、クレセント錠、アルミ製水切り 注記) ・カバー工法枠は現しとする (既存組立はそのままとする) ・外部水切りはカバー材にて新設とする		

記号/室名/数量	C-6 SW	金工室・家庭科室・美術室	数量	【1階】1 【2階】2	C-7 SW	金工室・美術室	数量	【1階】1 【2階】1	C-8 SW	金工室・美術室	数量	【1階】1 【2階】1	C-9 SW	木工室・金工室・家庭科室・美術室	数量	【1階】4 【2階】4	C-10 SW	準備室	数量	【1階】2 【2階】3
形状																				
形式	引違い2段窓 + 欄間引違い連窓				引違い2段窓 + 欄間引違い連窓				引違い連窓 + 欄間引違い連窓				引違い連窓 + 欄間引違い連窓				引違い連窓 + 欄間引違い連窓			
材質	スチール製				スチール製				スチール製				スチール製				スチール製			
見込	100				100				100				100				100			
ガラス	透明 FL5 / 欄間: 型板 F4				透明 FL5 / 欄間: 型板 F4				透明 FL5 / 欄間: 型板 F4				透明 FL5 / 欄間: 型板 F4				透明 FL5 / 欄間: 型板 F4			
改修内容	1. 撤去処分※既存枠種にして、カバー工法改修対象 ※ 図示の範囲の建具を撤去対象とする				1. 撤去処分※既存枠種、建具周囲ハツリ撤去 ※ 図示の範囲の建具を撤去対象とする				1. 撤去処分※既存枠種にして、カバー工法改修対象 ※ 図示の範囲の建具を撤去対象とする				1. 撤去処分※既存枠種にして、カバー工法改修対象 ※ 図示の範囲の建具を撤去対象とする				1. 撤去処分※既存枠種にして、カバー工法改修対象 ※ 図示の範囲の建具を撤去対象とする			
記号/室名/数量	C-6 AW		数量	【1階】1 【2階】2	C-7 AW		数量	【1階】1 【2階】1	C-8 AW		数量	【1階】1 【2階】1	C-9 AW		数量	【1階】4 【2階】4	C-10 AW		数量	【1階】2 【2階】3
形状	<input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 特定防火設備 <input type="checkbox"/> その他() 				<input checked="" type="checkbox"/> 防火設備 (E B認定品) <input type="checkbox"/> 特定防火設備 <input type="checkbox"/> その他() 				<input checked="" type="checkbox"/> 防火設備 (E B認定品) <input type="checkbox"/> 特定防火設備 <input type="checkbox"/> その他() 				<input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 特定防火設備 <input type="checkbox"/> その他() 				<input type="checkbox"/> 防火設備 <input type="checkbox"/> 特定防火設備 <input type="checkbox"/> その他() 			
形式	引違い2段窓 + 欄間引違い連窓				引違い2段窓 + 欄間引違い連窓				引違い連窓 + 欄間引違い連窓				引違い連窓 + 欄間引違い連窓				引違い連窓 + 欄間引違い連窓			
材質	アルミ製				アルミ製				アルミ製				アルミ製				アルミ製			
見込	70				70				70				70				70			
ガラス	透明 学校用強化 SC-FL4 / 欄間: 型板 学校用強化 SC-F4				複層ガラス(日射遮蔽) 屋外側/low-E5 + A6 + 屋内側/PW6.8				複層ガラス(日射遮蔽) 屋外側/low-E5 + A6 + 屋内側/PW6.8				透明 学校用強化 SC-FL4 / 欄間: 型板 学校用強化 SC-F4				透明 学校用強化 SC-FL4 / 欄間: 型板 学校用強化 SC-F4			
金物・備考	1. [新設]カバー工法改修 付属金物一式、クレセント錠、アルミ製水切り 注記) ・カバー工法枠は現しとする(既存網柵はそのままとする) ・外部水切りはカバー材にて新設とする				1. [新設]在来工法 付属金物一式、クレセント錠、ロックワール充填耐火連結材、アルミ製水切り、アルミ製網柵 注記) ・建具周囲防水モルタル詰め				1. [新設]カバー工法改修 付属金物一式、クレセント錠、ロックワール充填耐火連結材、アルミ製水切り 注記) ・カバー工法枠は現しとする(既存網柵はそのままとする) ・外部水切りはカバー材にて新設とする				1. [新設]カバー工法改修 付属金物一式、クレセント錠、アルミ製水切り 注記) ・カバー工法枠は現しとする(既存網柵はそのままとする) ・外部水切りはカバー材にて新設とする				1. [新設]カバー工法改修 付属金物一式、クレセント錠、アルミ製水切り 注記) ・カバー工法枠は現しとする(既存網柵はそのままとする) ・外部水切りはカバー材にて新設とする			

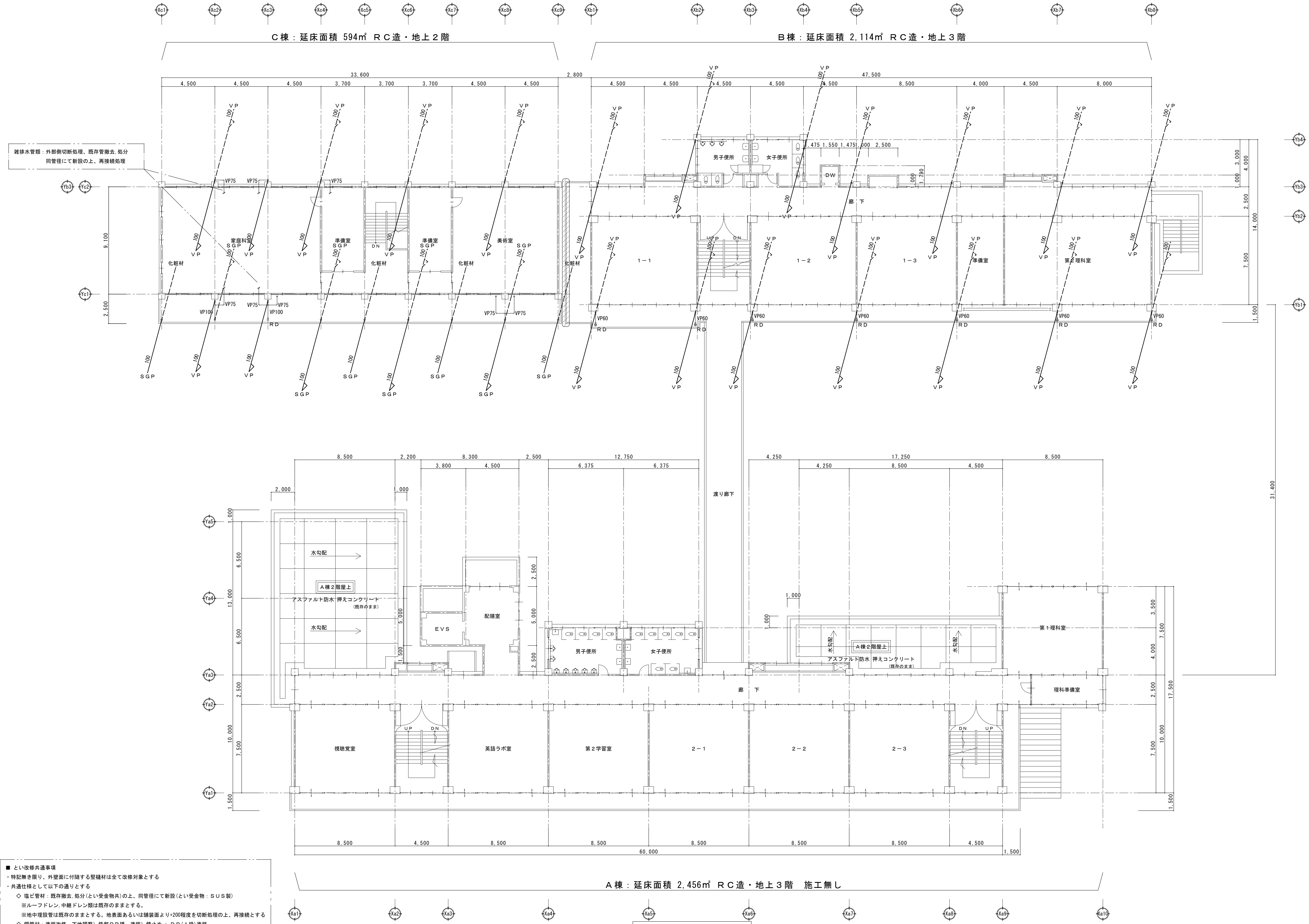
記号/室名/数量	C-1 WW	木工室・家庭科室	数量	【1階】3 【2階】3
形状				
形式	FI X窓			
材質	木製			
見込	40			
ガラス	型板 F4			
改修内容	1. 建具調整) 点検調整、及び清掃 2. 防水改修) 建具周囲、シーリング打替え 3. 塗装改修) 下部調整) 木部 RB種 塗装) 木部SOP塗装			



- とい改修共通事項
- ・特記なき限り、外壁面に付随する整修材は全て改修対象とする
 - ・共通仕様として以下の通りとする
 - ◇ 塩ビ管材：既存撤去、短分(とい受金物共)の上、同管径にて新設(とい受金物：SUS製)
 - ※ルーフトレン、中継ドレン類は既存のままとする。
 - ※地中埋設管は既存のままとする。地表面あるいは舗装面より+200程度を切断処理の上、再接続とする
 - ◇ 鋼管材：塗装改修 下地調整) 鉄部R/B種 塗装) 錆止め・DP(1級)塗装

1階全体平面図 S=1/150

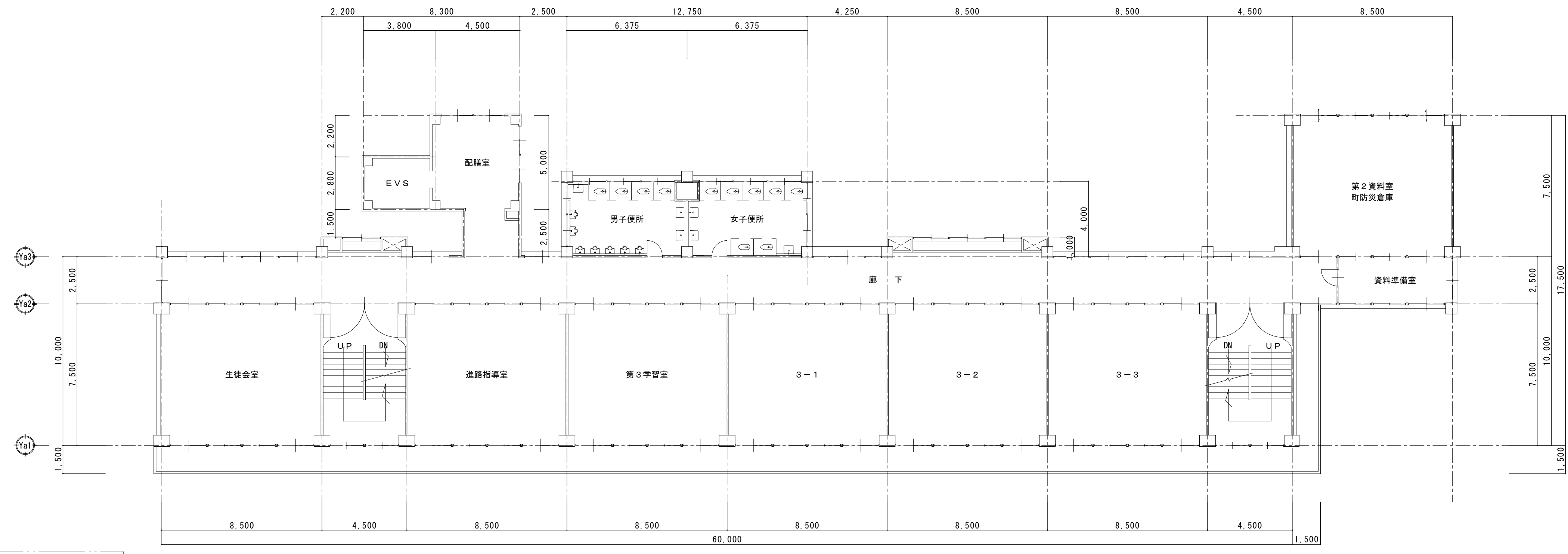
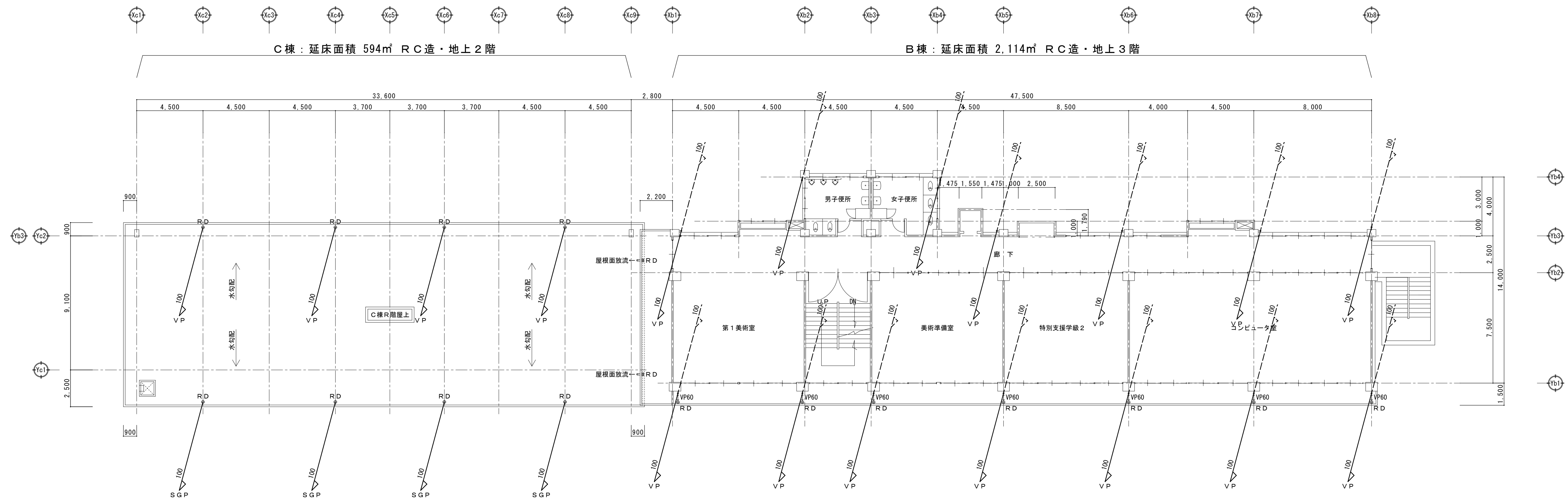
百間中学校B・C棟外壁改修工事		1階全体平面図(雨水排水)	
SCALE A1 1/150		宮代町教育推進課	A-44



- とい改修共通事項
- ・特記無き限り、外壁面に付随する整地材は全て改修対象とする
 - ・共通仕様として以下の通りとする
 - ◇ 塩ビ管材：既存撤去、処分(とい受金物共)の上、同管径にて新設(とい受金物：SUS製)
 - ※ルーフトレン、中継ドレン類は既存のままとする。
 - ※地中埋設管は既存のままとする。地表面あるいは舗装面より+200程度を切断処理の上、再接続とする
 - ◇ 鋼管材：塗装改修 下地調整) 鉄部R種 塗装) 錆止め + DP(1級)塗装

A棟：延床面積 2,456㎡ RC造・地上3階 施工無し

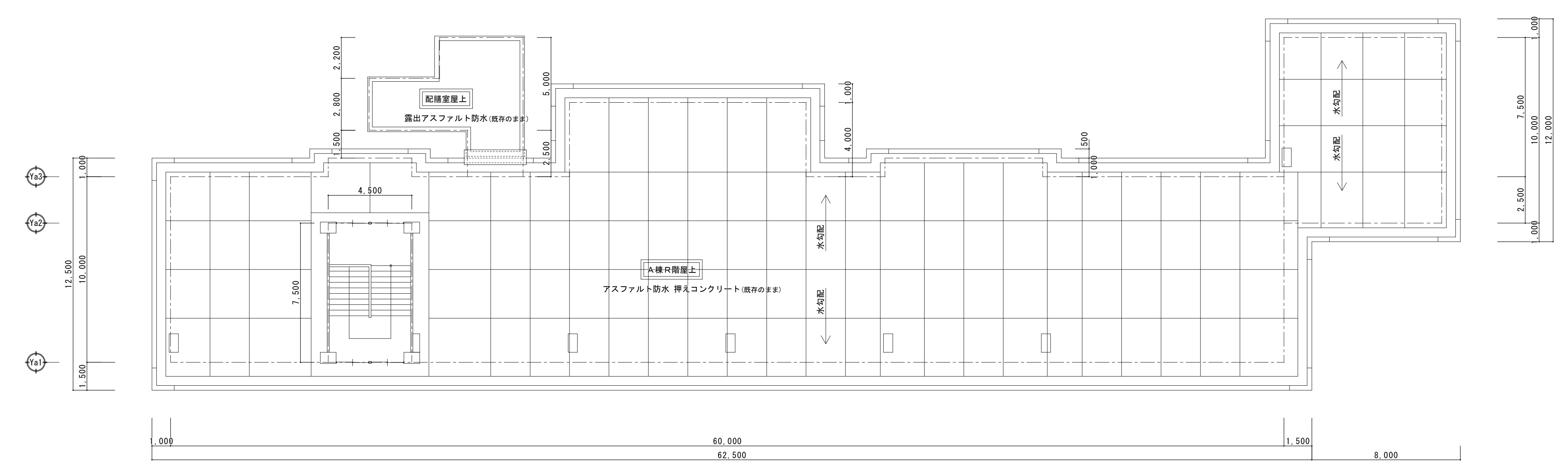
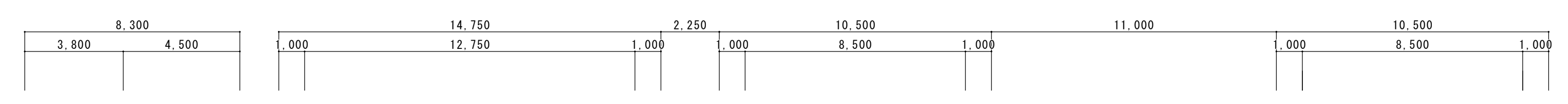
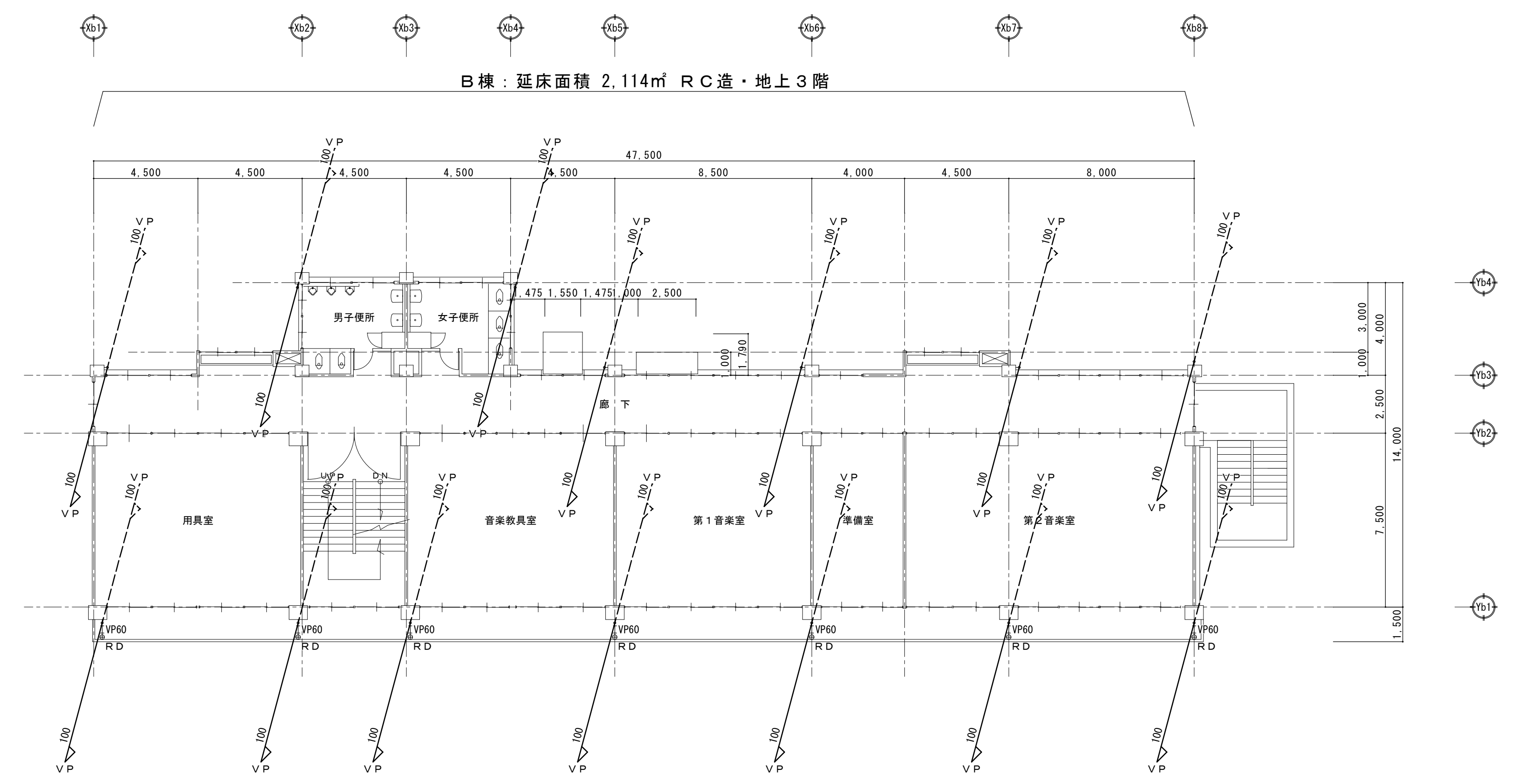
2階全体平面図 S=1/150



- とい改修共通事項
- ・特記無き限り、外壁面に付随する整種材は全て改修対象とする
 - ・共通仕様として以下の通りとする
 - ◇ 塩ビ管材：既存撤去、短分(とい受金物共)の上、同管径にて新設(とい受金物：SUS製)
 - ※ルーフトレン、中継ドレン類は既存のままとする。
 - ※地中埋設管は既存のままとする。地表面あるいは舗装面より+200程度を切断処理の上、再接続とする
 - ◇ 鋼管材：塗装改修 下地調整) 鉄部R/B種 塗装) 錆止め + DP (1級) 塗装

A棟：延床面積 2,456㎡ RC造・地上3階 施工無し

3階全体平面図 S=1/150



A棟：延床面積 2,456㎡ RC造・地上3階 施工無し

4階全体平面図 S=1/150

- とい改修共通事項
- ・ 特記なき限り、外壁面に付随する壁種材は全て改修対象とする
- ・ 共通仕様として以下の通りとする
- ◇ 塩ビ管材：既存撤去、処分(とい受金物共)の上、同管径にて新設(とい受金物：SUS製)
- ※ルーフトレン、中継ドレン類は既存のままとする。
- ※地中埋設管は既存のままとする。地表面あるいは舗装面より+200程度を切断処理の上、再接続とする
- ◇ 鋼管材：塗装改修 下部調整) 鉄部RB種 塗装) 錆止め + DP(1級)塗装

